

## 所沢小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

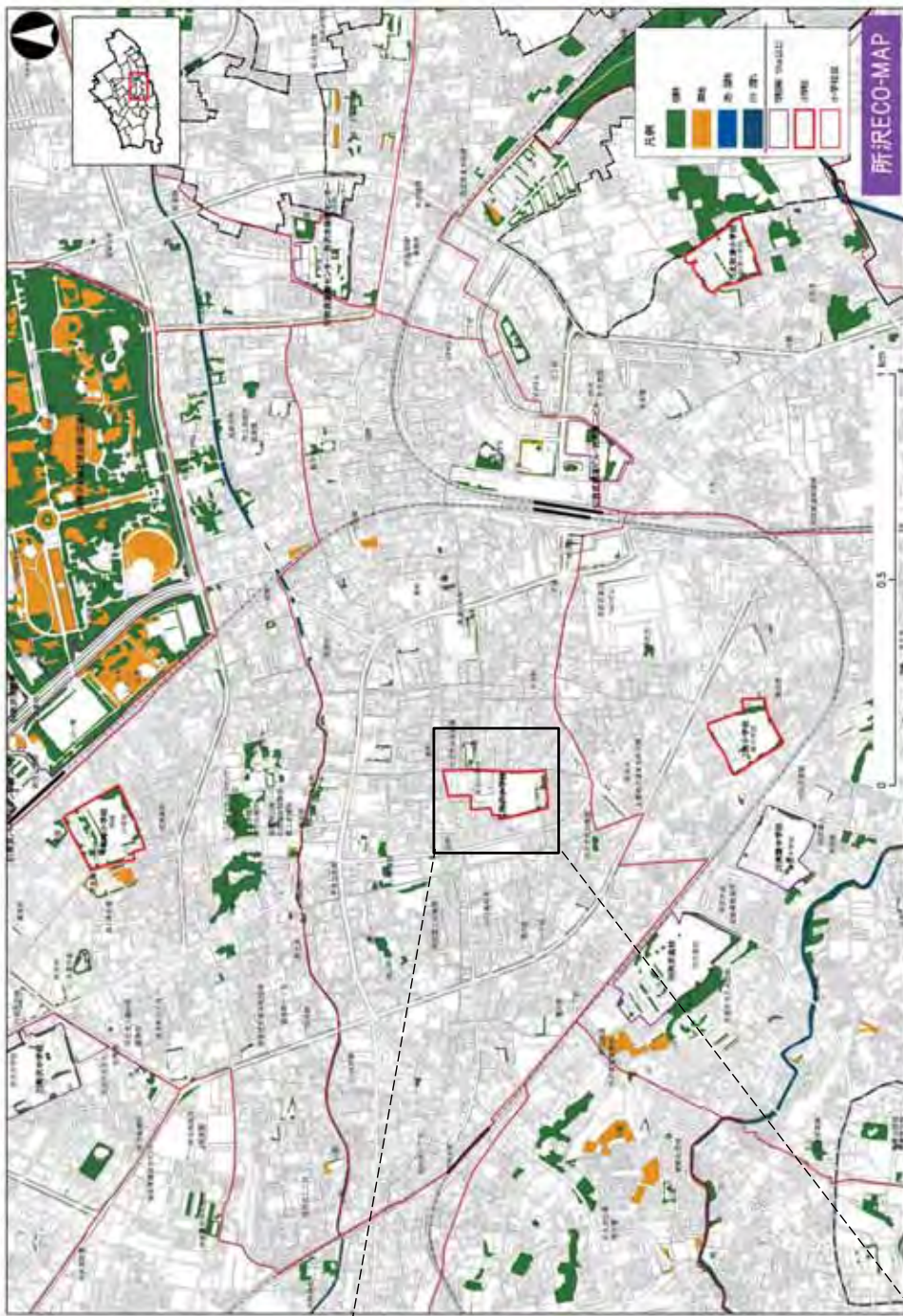
- ①校舎と体育館の間の岩石園に樹木が生育しています
- ②ケヤキやイチヨウなどの風格のある大木がみられます

#### 草地

- ③プールの脇に小さな草池が見られます

#### 水辺

- ④樹木園の中にコンクリートの小さな池があります
- ⑤校舎の前に小さな池（ビオトープ）があります



①



②



③



④



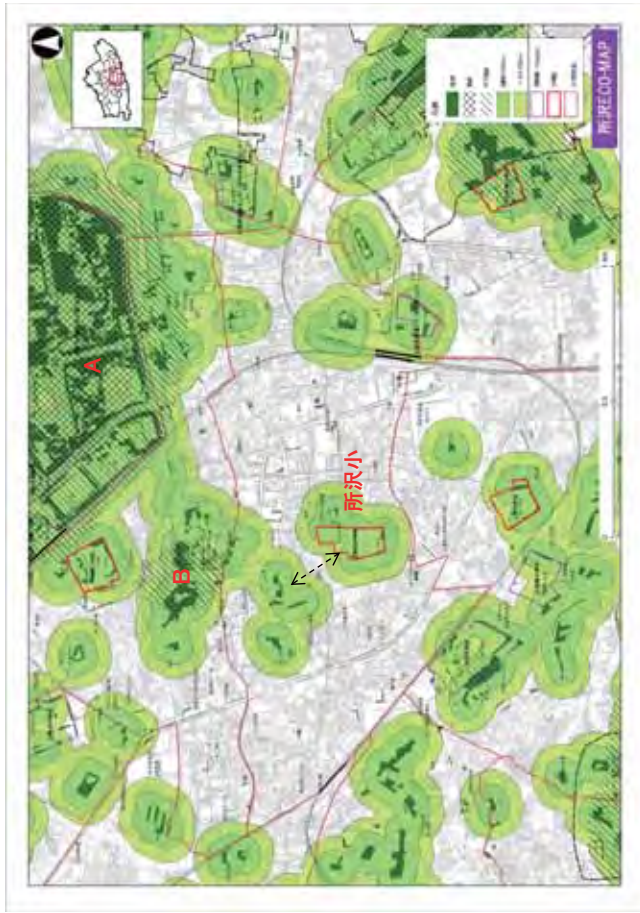
⑤



■周辺の自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に樹木が少ないですが、所沢航空記念公園 (A) から、神社などの樹林 (B) を伝って野鳥などがやってくる場所が位置しています。

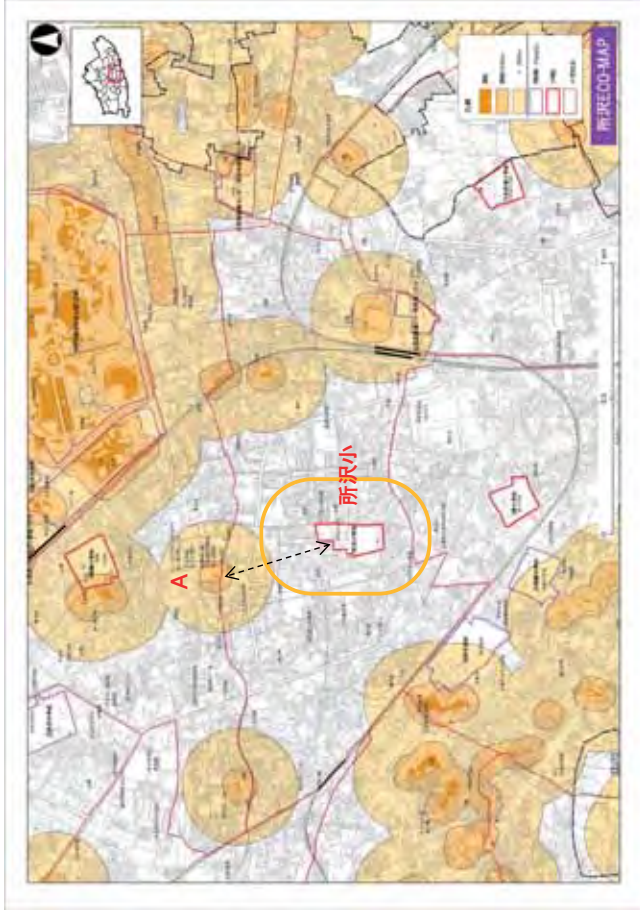


■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	探せばいるかも	探せばいるかも
<b>鳥類</b> キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ツグミ メジロ カワラヒワ	<b>鳥類</b> カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	<b>鳥類</b> カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ
<b>昆虫類</b> アオシジメ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ シンシロゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン ナミテントウ ジョロウグモ	<b>昆虫類</b> アオダイショウ アカシジメ ミズイロオナガシジメ コマダラチョウ ヒケラン カブトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトタマムシ ニホンミツバチ ナナフシ	<b>昆虫類</b> アオダイショウ アカシジメ ミズイロオナガシジメ コマダラチョウ ヒケラン カブトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトタマムシ ニホンミツバチ ナナフシ
<b>哺乳類</b> カシ カシノコ モリス ヒバ シマヘビ アオダイショウ ヤマガタシ ヒガンシキリギリス チョウセンカマキリ ニホンミツバチ	<b>哺乳類</b> カシ カシノコ モリス ヒバ シマヘビ アオダイショウ ヤマガタシ ヒガンシキリギリス チョウセンカマキリ ニホンミツバチ	<b>哺乳類</b> カシ カシノコ モリス ヒバ シマヘビ アオダイショウ ヤマガタシ ヒガンシキリギリス チョウセンカマキリ ニホンミツバチ
<b>両生類</b> アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>両生類</b> アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>両生類</b> アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ
<b>爬虫類</b> カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>爬虫類</b> カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>爬虫類</b> カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ

草地のつながり

- 周辺に草地が少ない状況ですが、所沢小から半径 200mの円を描くと、北にある草地 (A) から 200mの円に重なり、チョウなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。

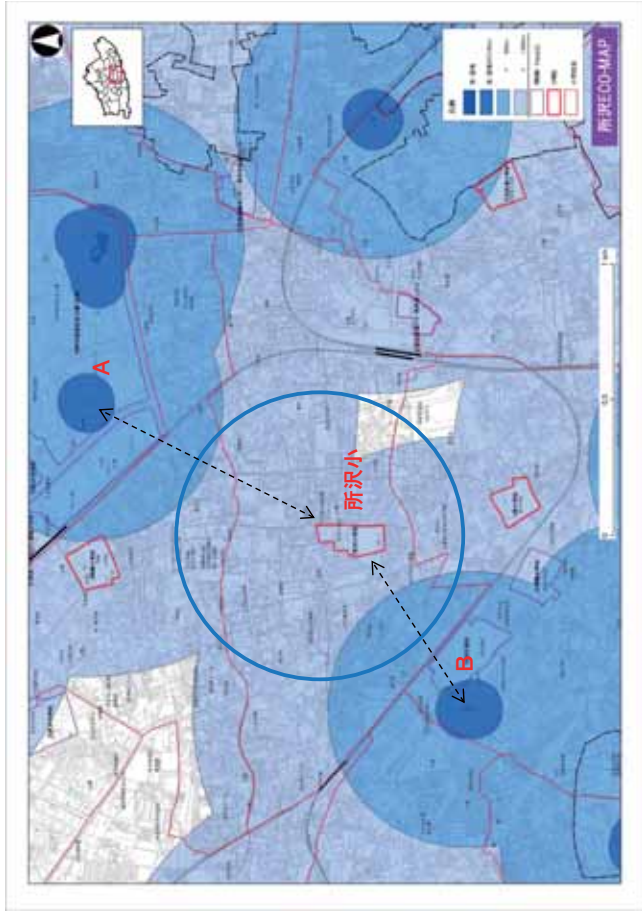


■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	探せばいるかも	探せばいるかも
<b>哺乳類</b> アスマモグラ ヲソドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>哺乳類</b> アスマモグラ ヲソドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>哺乳類</b> アスマモグラ ヲソドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ
<b>鳥類</b> カシ カシノコ モリス ヒバ シマヘビ アオダイショウ ヤマガタシ ヒガンシキリギリス チョウセンカマキリ ニホンミツバチ	<b>鳥類</b> カシ カシノコ モリス ヒバ シマヘビ アオダイショウ ヤマガタシ ヒガンシキリギリス チョウセンカマキリ ニホンミツバチ	<b>鳥類</b> カシ カシノコ モリス ヒバ シマヘビ アオダイショウ ヤマガタシ ヒガンシキリギリス チョウセンカマキリ ニホンミツバチ
<b>両生類</b> アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>両生類</b> アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>両生類</b> アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ
<b>爬虫類</b> カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>爬虫類</b> カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	<b>爬虫類</b> カサマシ アマガエル ホシガエル キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギリス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ

水辺のつながり（池・湿地）

- 所沢小から半径 500m の円を描くと、航空記念公園の池（A）や調節池（B）から 500m の円と重なり、イトトンボやシオカラトンボなどと呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、所沢小に池をつくれば、水辺のつながりが充実する場所に位置しています。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも

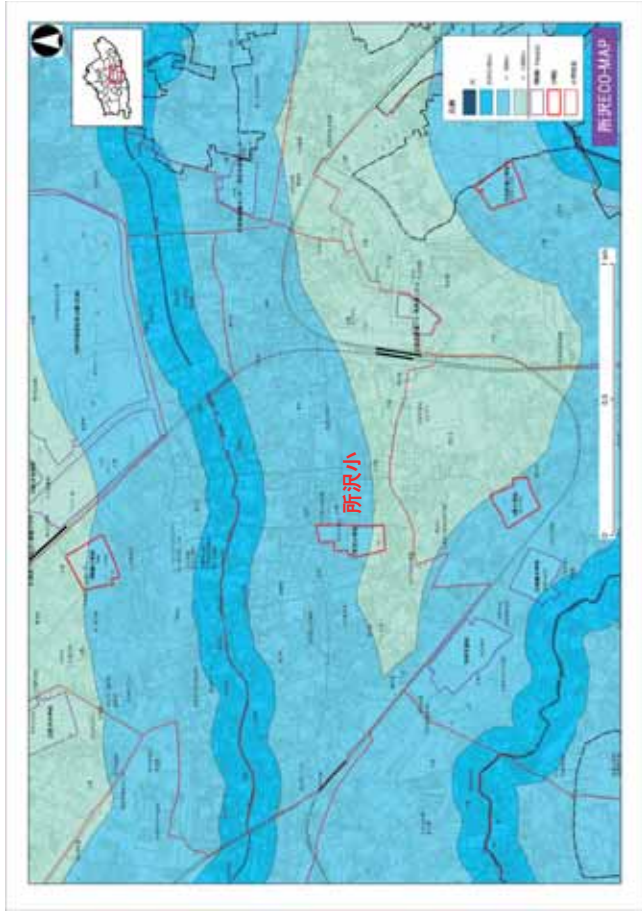
鳥類	イタチ	備考
カサキ	カワセミ	
ハクセキレイ	キセキレイ	
アジアカラスカシ	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アジアカラスカシ	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
アジアカラスカシ	オニヤンマ	池に生息
	ハシロトンボ	流れに生息
	オニヤンマ	流れ（渓流）に生息

★★ なかなか見られない

鳥類	備考
カルガモ	
コサキ	
ハクセキレイ	
アジアカラスカシ	水辺と草地を移動
アジアカラスカシ	池に生息
アジアカラスカシ	"
アジアカラスカシ	"
アジアカラスカシ	"
アジアカラスカシ	"
アジアカラスカシ	"
アジアカラスカシ	"

水辺のつながり（川・流れ）

- 東川から 500m 以内にあり、環境の良い池や築つくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。





## 所沢小に生きものを呼ぶ方法

### 1. 校舎前への雑木林づくり

- 校舎前のスペースの樹木を整理し、雑木林に見られるクヌギ・コナラ等の高木や、ガマズミ、ミツバツツジ、イボタノキなどの低木を植栽し、鳥や昆虫などがやってくるようになります。夏には日よけになり、冬には落葉して日当たりがよくなります。
- どんぐりを拾ってきて、苗木を育てるところから、子供たちの参加ではじめれば、愛着を持つことにつながります。



種から苗木を育てる



苗木を植える

### 2. 実のなる木の植栽

- 校舎と体育館の間にある、岩石園に、鳥などの餌となる実をなる木を植えます。この場所は、日当たりが悪いので、比較的に日陰に強い常緑の低木を選定します。

### 3. フェンスへのツル植物の育成

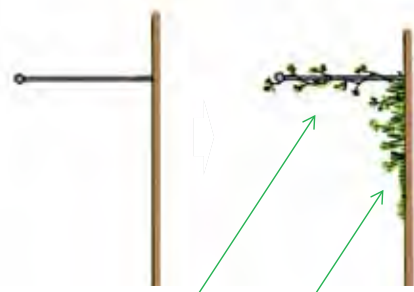
- プールや外周のフェンスの下に、ツル植物が生育するスペースをつくり、チョウなどがやってくるようになります。



キタテハ



ベニシジミ

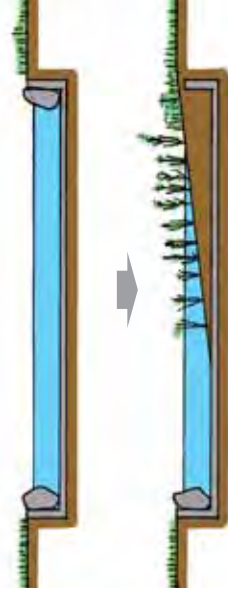


### 水辺のつながり



### 4. ピオトープの改善

- ピオトープに生育している外来種のオオカナダモなどを除去し、所沢に昔から生育していた生きもののすみかとしてします。
- 可能であればコンクリートの岸辺の一部をなだらかな土の岸辺にし、水辺の植物が生息しやすくし、さらに多くの生きものを呼びます。



### 5. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しずつ抜いて深さ20〜30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 6. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 林のつながり



### 草地のつながり





## 南小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

①②敷地の南と西には、シダレヤナギ、イチヨウ、シラカシ、マテハシイ、ソメイヨシノ等が見られます。

#### 草地

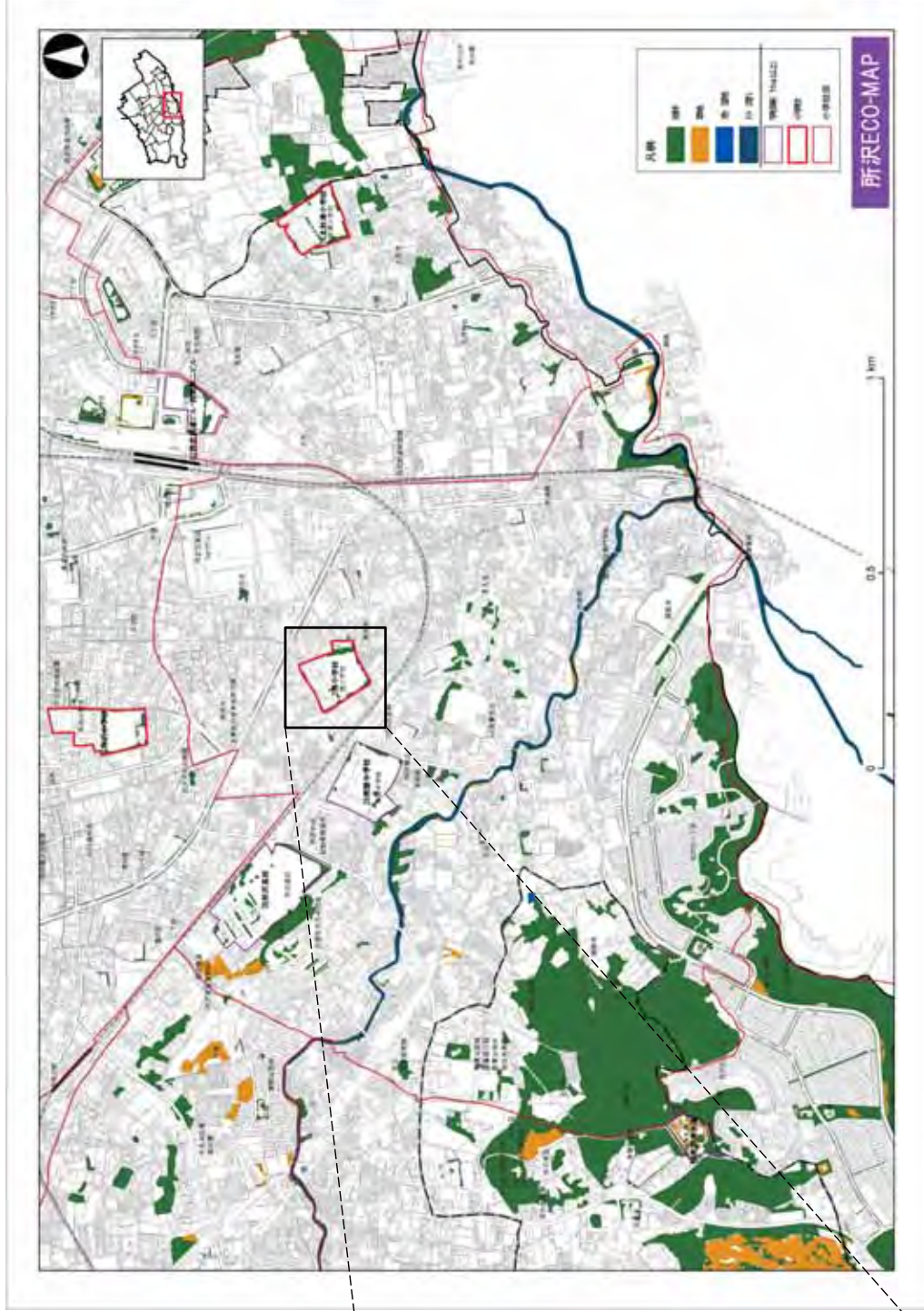
③プールの裏に草地があります。

④プール裏のフェンスにはツル植物が見られます。

⑤校舎の前では野菜が栽培されています。

#### 水辺

○敷地内に水辺はありません。



①



②



③



④



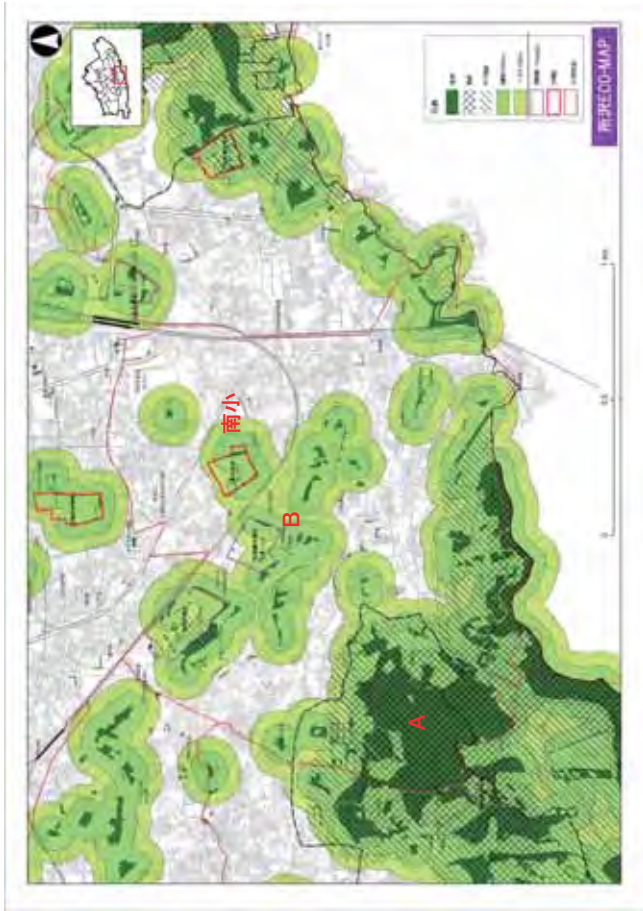
⑤



■周辺自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に樹木が少ないですが、狭山丘陵の林（A）から、斜面林（B）を伝ってやって野鳥などがやってくるやすい場所に位置しています。

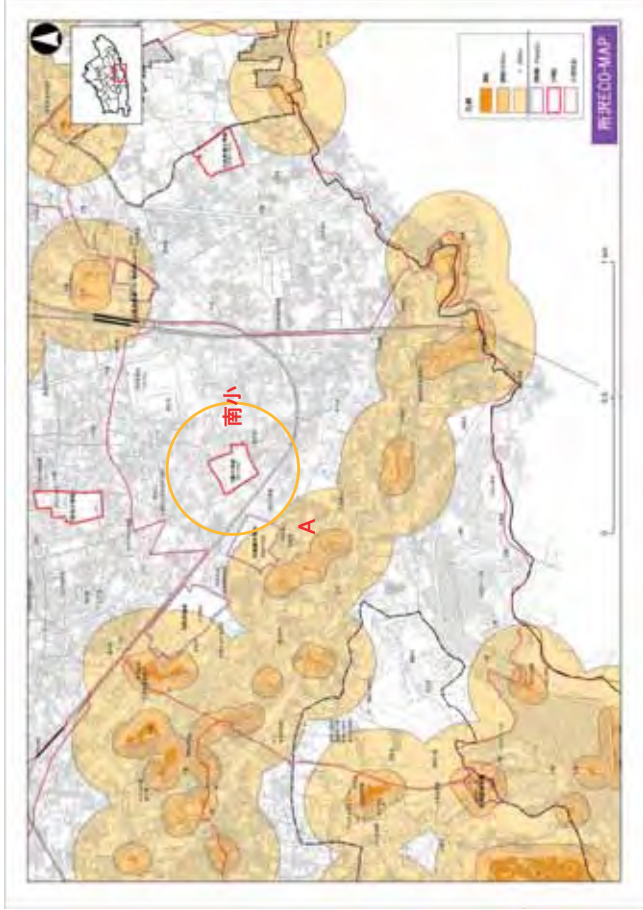


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	哺乳類	鳥類	哺乳類
キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワラヒワ	アカハ アオジシアガハ キタキチヨウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	枯れ木に穴をあけて虫をとり ヤブを好み 幼虫はミカンの中間の葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	森の中のヤブを好み 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハナラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 周辺には草地が少ないですが、南川から半径 200mの円を描くと、南西に点在する草地（A）から 200mの円に重なり、チョウなどがやってくるやすい場所に位置していることがわかります。

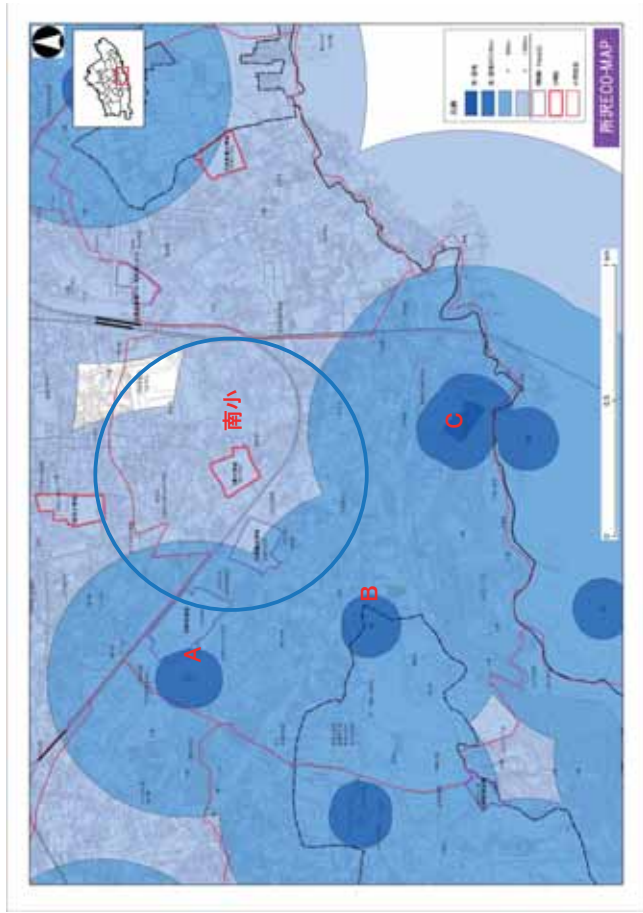


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	哺乳類	鳥類	哺乳類
ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ	キタキチヨウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ トンブハツタ エンマコオロキ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	ウサギ キジ モズ ヒバリ シマヘビ アオダイショウ ヤマガシ ヒヨクシ ヒヨクシ ニホミツバチ

水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、半径 500m の円を描くと南側の調節池（A）（B）（C）から 500m の円とつながり、イトトンボをはじめとするトンボ類がやってきやすい場所に位置していることがわかります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも

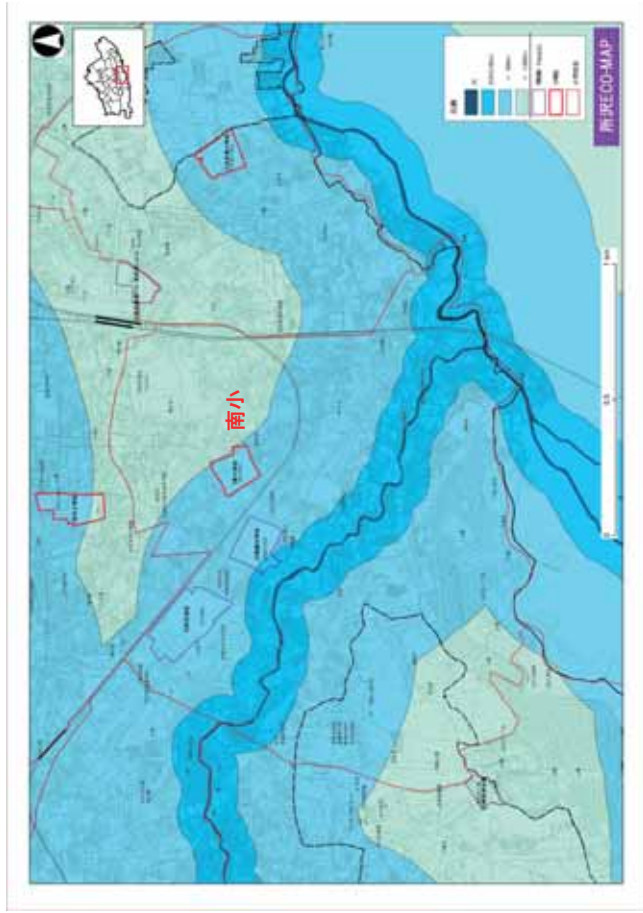
鳥類	備考
カルガモ コサキ ハクセキレイ	
水生類 アジアカサギ アジアカサギ	水辺と草地を移動
昆虫類 ゲンヤンマ シオガトンボ ウスハキトンボ コシアキトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	池に生息 " " " " " "

★★ なかなか見られない

鳥類	備考
イタチ カワセミ キセキレイ	
水生類 ヤマカガシ アズマヒキガエル	水辺や草地に生息 水辺と草地、樹林地を移動
昆虫類 チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ	池に生息 流れ（溪流）に生息

水辺のつながり（川・流れ）

- 柳瀬川から 500m 以内にあり、環境の良い池があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。

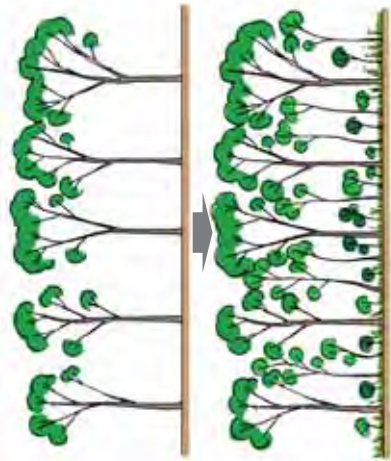




## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ、アユミ等の美なる低木を植栽し、鳥や昆虫などがやってくるようにします。



ツグミ



ジヨウヒタキ

### 林のつながり



### 水辺のつながり

### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20～30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ



### 5. 樹木への名札かけ

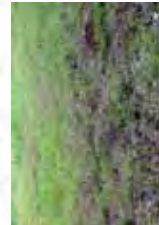
- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 草地のつながり

### 2. プールの裏の草地の育成

- プールの裏にある草地は、場所によって草刈の回数を変えて、異なる草丈の草地を育成し、様々な生きものがやってくるようになります。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5～6月・8月・10～11月



ヤマトシジミ



草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5～6月・10～11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10～11月



ジャノメチヨウ

### 3. フェンスへのツル植物の育成

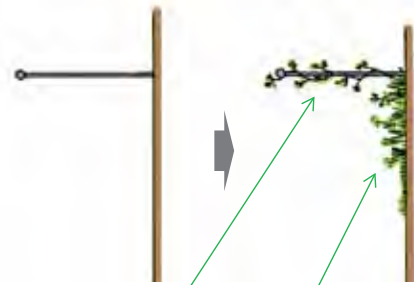
- 外周のフェンスの下に、ツル植物がはえるスペースをつくり、チヨウなどがやってくるようにします。周辺住民からの理解を得るために、説明板等を設置するとよいでしょう。



キタテハ



ベニシジミ





## 北小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

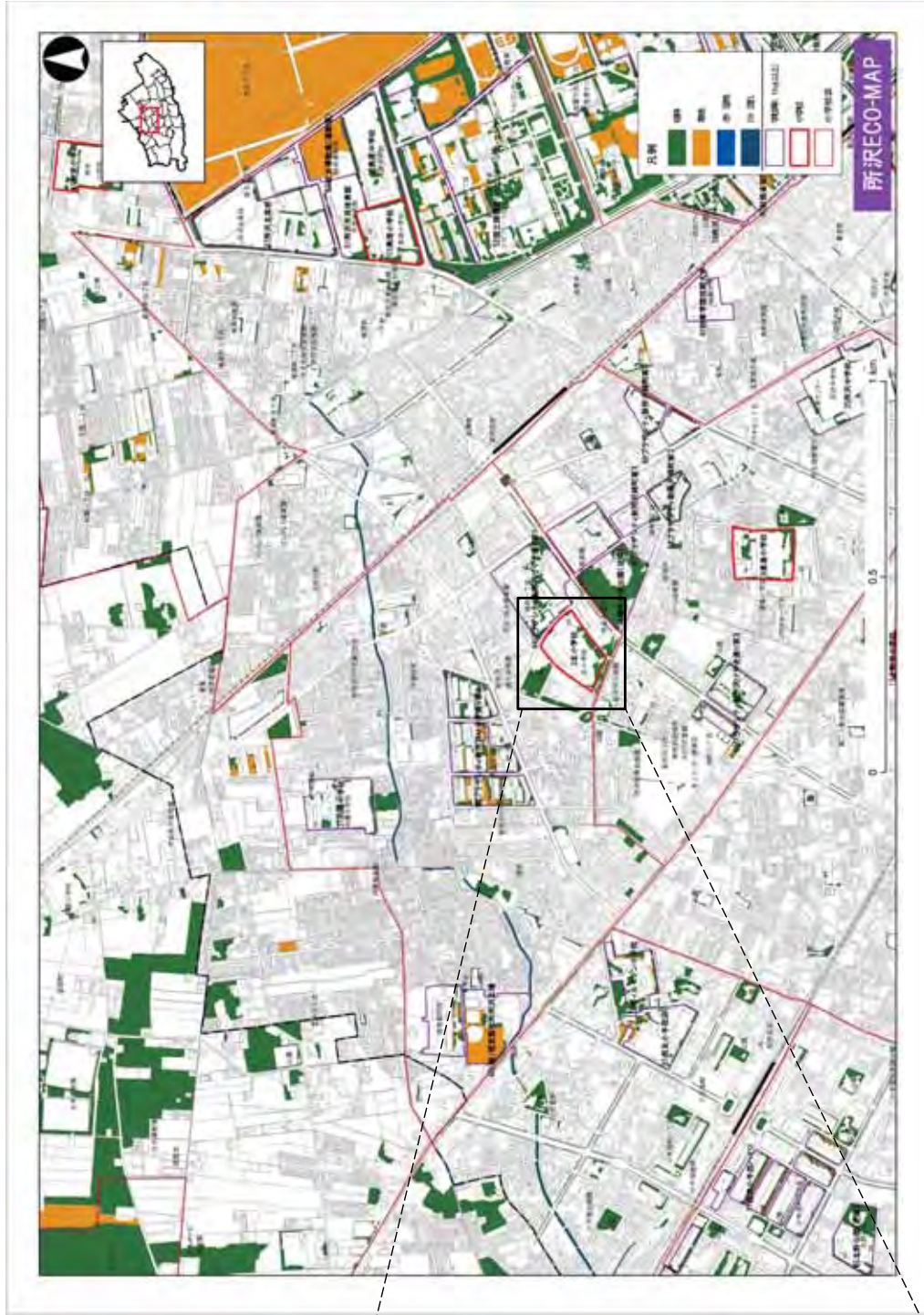
- ①敷地の南側にはソメイヨシノの大木が見られます
- ②敷地の南側に見られるアスマネササとコナラは、雑木林の雰囲気を残しています。

#### 草地

- ③農園の周辺に草地が見られます。

#### 水辺

- ④水車小屋と流れがあり、田園風景をつくっています。
- ⑤正門付近には池があります。



①



②



③



④



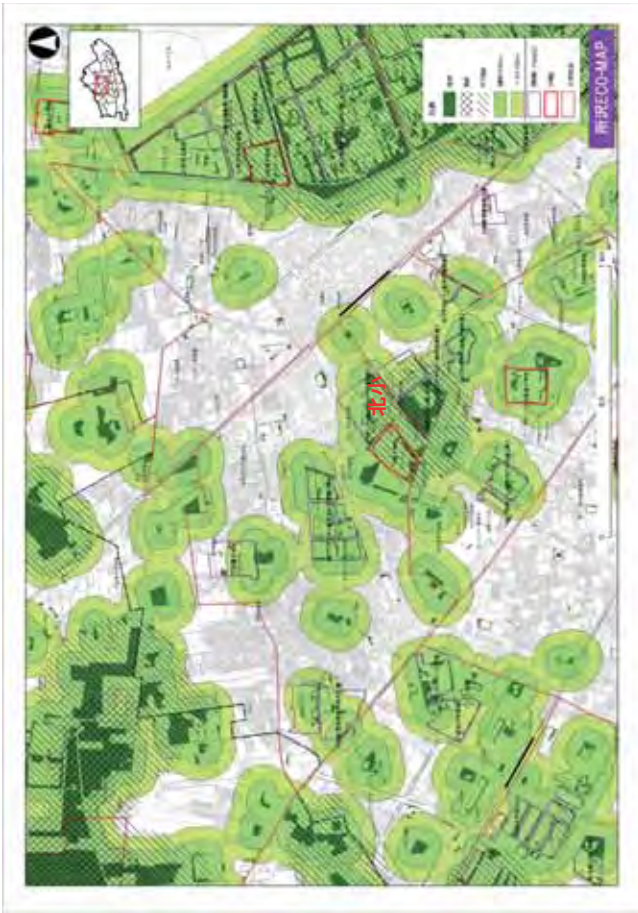
⑤



■周辺の自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に樹木が多く、まちなかの樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になります。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★ なかなか見られない	備考
鳥類 キジバト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワラヒワ	枯れ木に穴をあけて虫をえる ヤブ愛好む	鳥類 カクゴウ ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ イニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの仲間の葉を食べる 幼虫はスズメの仲間の草や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する	爬虫類 アオダイショウ ツグミ カブトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトマムシ ニホンミツバチ ナナフシ	多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 北小から半径 200mの円を描くと、集合住宅（A）から 200mの円に重なり、チョウウなどがやってくる可能性のある場所に位置していることがわかります。



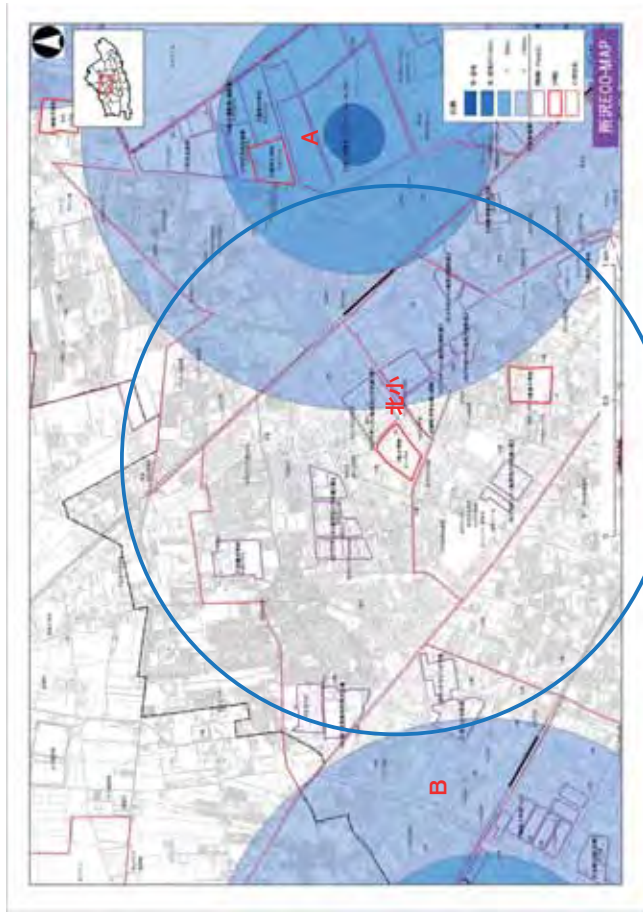
■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★ なかなか見られない	備考
哺乳類 ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ		哺乳類 ウサギ キジ カクゴウ モズ ヒバリ	
爬虫類 カナヘビ		爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ	
両生類 ホトトギス		両生類 ホトトギス	
昆虫類 キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトマムシ キタテハ シヨウリウハツタ トンブハツタ トノサマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラノキの葉を食べる 幼虫はスズメ、ギンギン、ノダノキの葉を食べる 幼虫はカタハミの葉を食べる 幼虫はカナムシの葉を食べる	鳥類 ウサギ キジ カクゴウ モズ ヒバリ	



水辺のつながり (池・湿地)

- 周辺に池や湿地は少ないですが、北小から半径 1000mの円を描くと、リハビリテーションセンターの池 (A) や調節池 (B) から 1000mの円と重なり、シオカラトンボなどがやってきやすい場所に位置していることがわかります。また、北小に池をつくれれば、そこを拠点として、池 (A) から調節池 (B) に行き来しやすくなります。

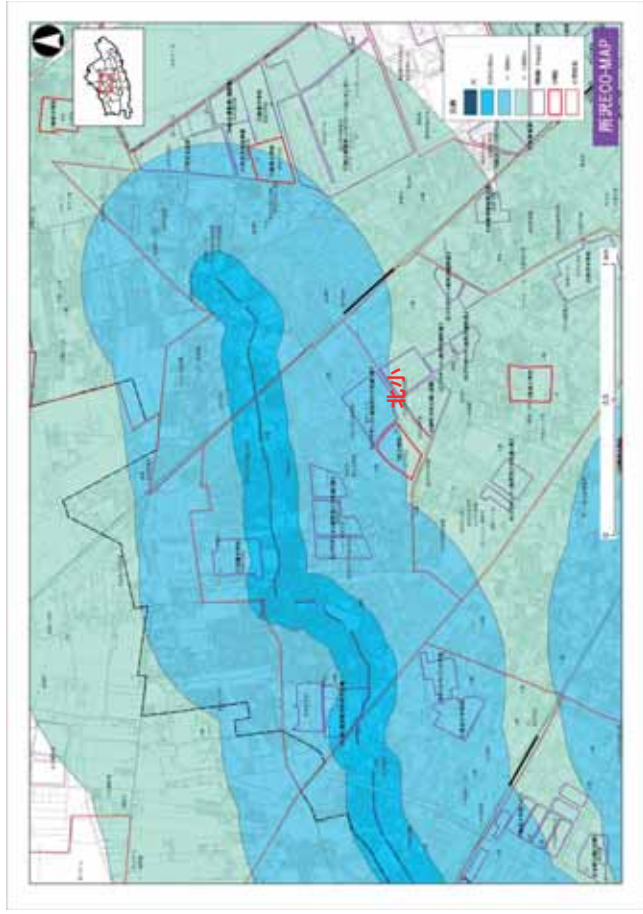


■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カウセミ	
ハクセキレイ		キセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アジアイトトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チョウトンボ	池に生息
シオガトトンボ	"	ハシロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ(渓流)に生息
コシアキトンボ	"		
シヨウジョウトンボ	"		
アキアカホ	"		

水辺のつながり (川・流れ)

- 砂川堀から 1,000m以内であり、池をつくと川からシオカラトンボなどのトンボ類がやってくる可能性ががあります。

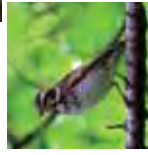
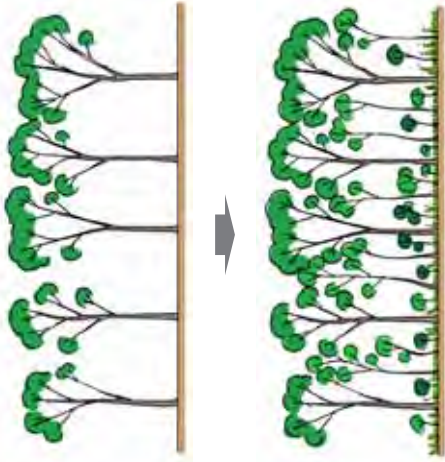




## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる実なる低木を植栽し、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



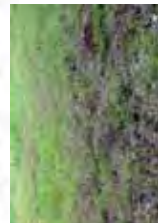
ツグミ



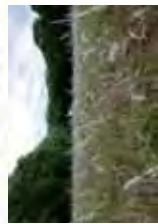
ジウビタキ

### 2. 異なる草丈の草地づくり

- 農園のそばの草地について、部分的に草刈の回数を少なくし、スキなどが生える草地をつくります。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月



ヤマトジミ



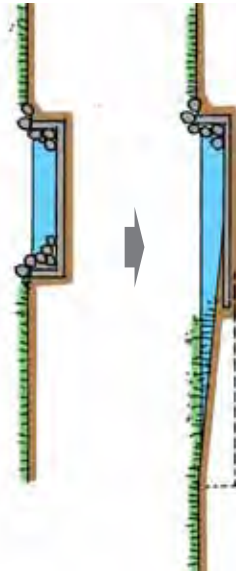
ジャノメチヨウ

### 水辺のつながり



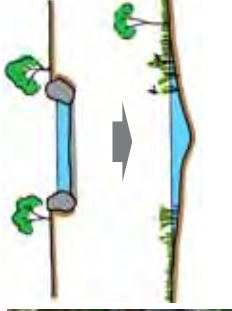
### 3. 流れの改善

- コンクリートで固められた流れの片側をなだらかな土の岸辺に改修し、草地の昆虫やトンボなどが来るようになります。部分的に広げて池のような場所をつくるとさらによい環境になります。



### 4. 池の改善

- コンクリートの岸を土のなだらかな岸辺に改修し、水辺の草が生え、トンボなどがやってくるようになります。



### 5. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ゲンヤンマ

### 6. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 草地のつながり





## 明峰小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

①ソメイヨシノ、マテバシイ、プラタナスなどの大木が多く、植栽スペースも比較的広く確保されています

#### 草地

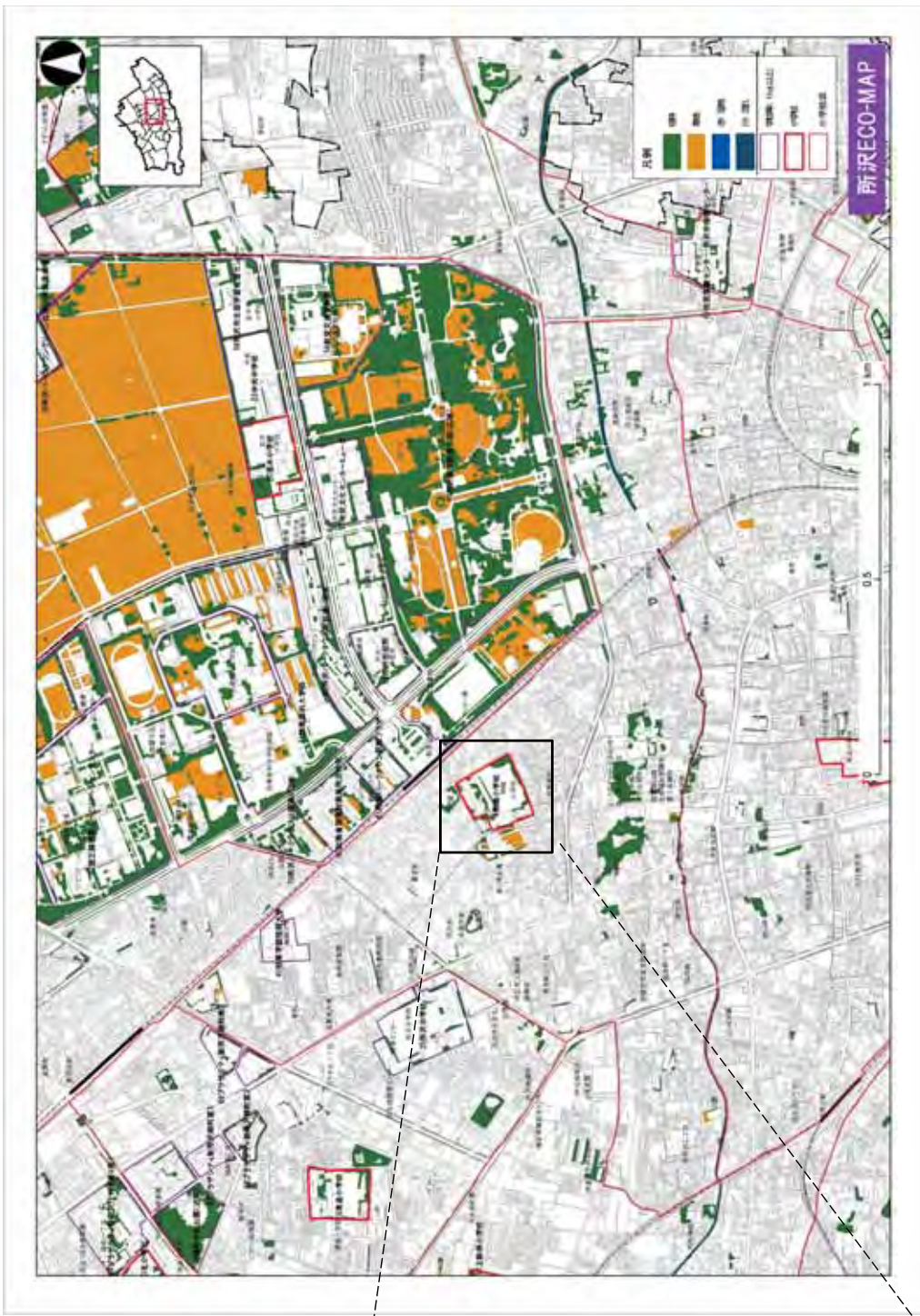
②プールの裏などに草地が見られます

③ツル植物の垣根が見られます

④児童館の間のフェンスにツル植物が見られます

#### 水辺

⑤小さな池の名残が見られます



①



②



③



④

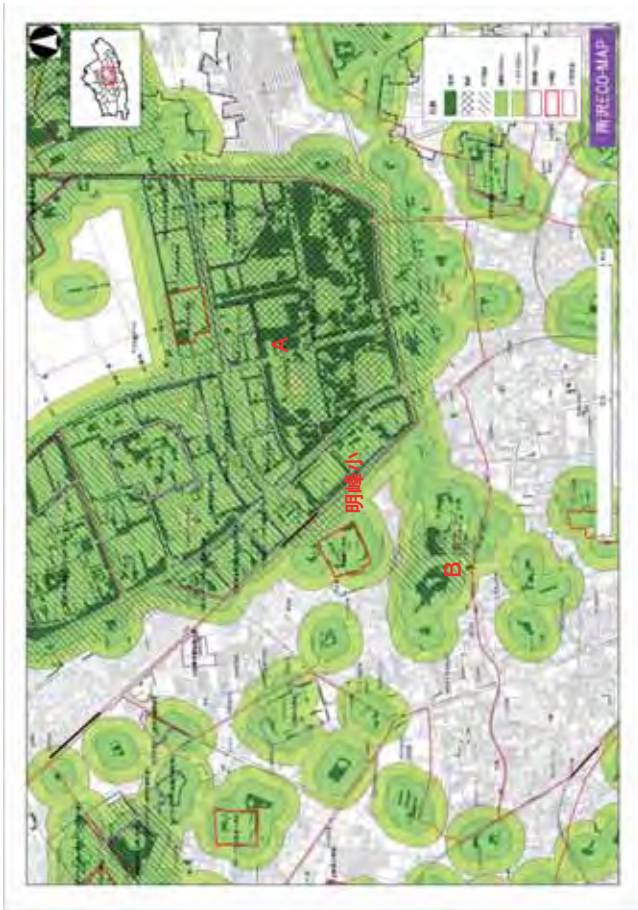


⑤



■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 所沢航空記念公園(A)から小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。また、まちなかの社寺の緑(B)をつなぐ場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

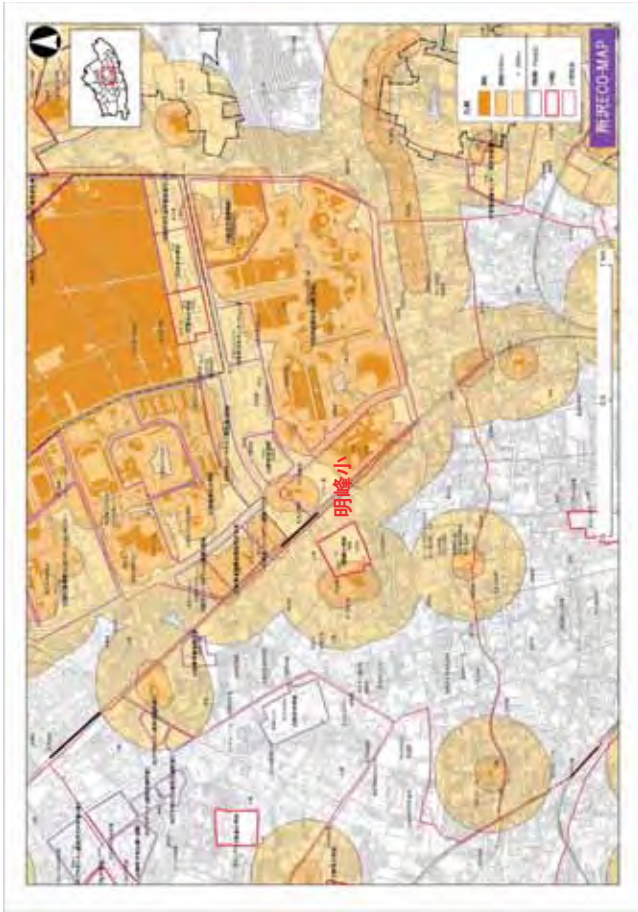
探せばいるかも	備考	探せばいるかも	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワセミ	枯れ木に穴をあけて虫をとり ヤブを好む	鳥類 カクゴウ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
昆虫類 アオスジアゲハ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの中間の葉を食べる 幼虫はスズメノキやアブラノキの葉を食べる 幼虫はマメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する	爬虫類 アオダイショウ アマガエル アサギカエル ミズイロナガシジミ コマダラチョウ ヒゲナシ カブトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトマムシ ニホンミツバチ ナナフシ	多くの生きものが入ることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラノ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

★ 探せばいるかも

★ なかなか見られない

草地のつながり

- 所沢航空記念公園からチョウがやってきやすい場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	探せばいるかも	備考
哺乳類 ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	哺乳類 キジ カクゴウ モズ ヒバリ	鳥類 ウツギ キジ カクゴウ モズ ヒバリ
爬虫類 カナヘビ	カナヘビ	爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ	爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ
両生類 ホトテリガエル	ホトテリガエル	両生類 ホトテリガエル	両生類 ホトテリガエル
昆虫類 キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトマムシ キタテハ シヨウリウハハツタ オムシバ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ カナヘビ ホトテリガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトマムシ キタテハ シヨウリウハハツタ オムシバ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	哺乳類 ウツギ キジ カクゴウ モズ ヒバリ	鳥類 ウツギ キジ カクゴウ モズ ヒバリ

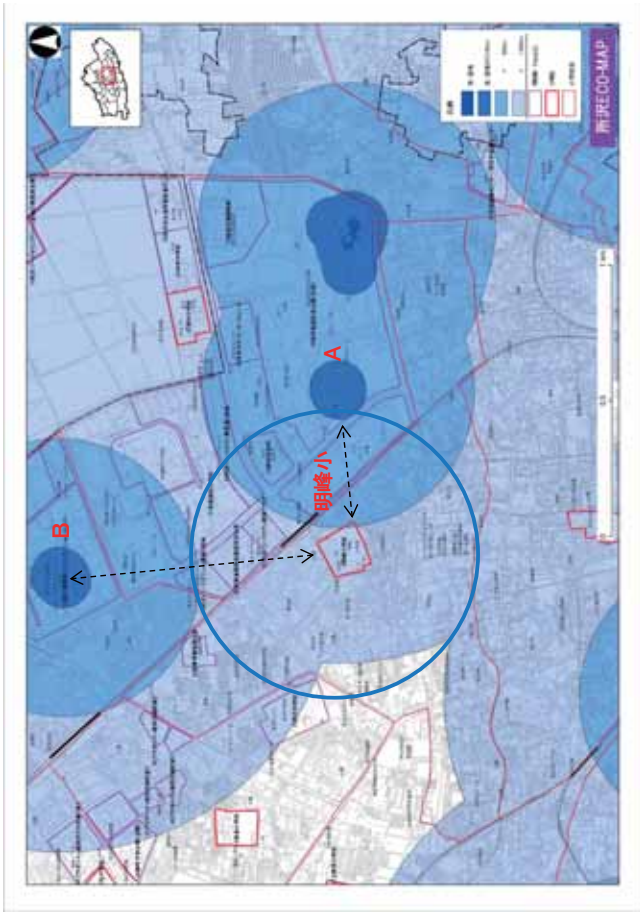
★ 探せばいるかも

★ なかなか見られない



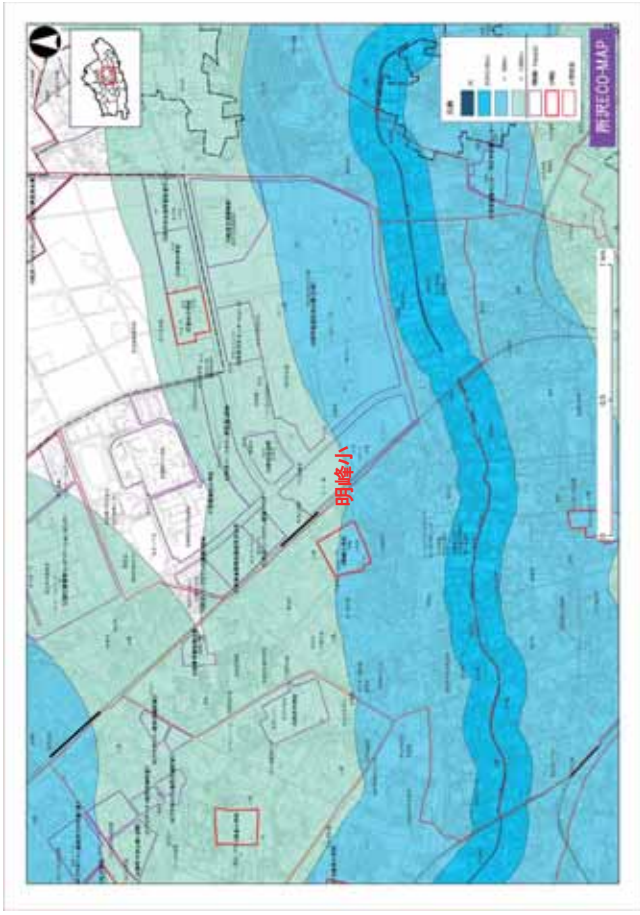
水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、明峰小から半径 500mの円を描くと、航空記念公園の池（A）や調節池（B）から 500mの円と重なり、イトトンボやシオカラトンボなどがやがややすい場所に位置していることがわかります。また、明峰小に池をつくれれば、そこを拠点として、池（A）から（B）にトンボなどが行き来しやすくなります。



水辺のつながり（川・流れ）

- 東川から 500m以内であり、環境の良い池や巣づくりに適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

鳥類	備考	備考
カルガモ コサキ ハウセキレイ		
水生類 ニホニアマガエル	水辺と草地を移動	
昆虫類 アジアイトトンボ	池に生息	
ギンヤンマ	"	
シオガトンボ	"	
ウスハキトンボ	"	
シシアキトンボ	"	
シヨウジョウトンボ	"	
アキアカホ	"	
鳥類 イタチ カワセミ キセキレイ		
爬虫類 ヤマカガシ	水辺や草地に生息	
両生類 アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動	
昆虫類 チョウトンボ	池に生息	
ハシロトンボ	流れに生息	
オニヤンマ	流れ（渾流）に生息	

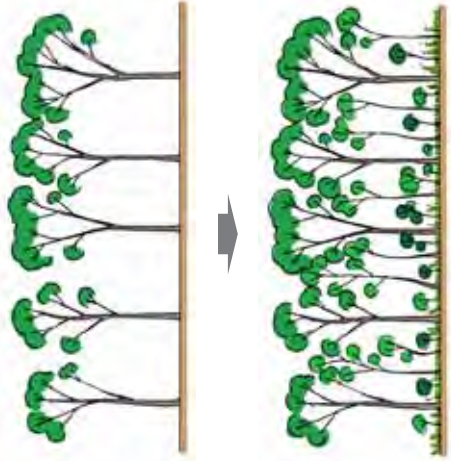
★ ★ なかなか見られない



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる、実のなる低木を植栽し、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



ツグミ

ジョウビタキ

### 林のつながり



### 水辺のつながり



### 4. 池の再生

- フェンスに囲まれ、放置された池について、トンボ等の生きものがみやすく、子供たちが安全に自然と触れ合うことができるように再生します。



### 5. プールのヤゴの救出

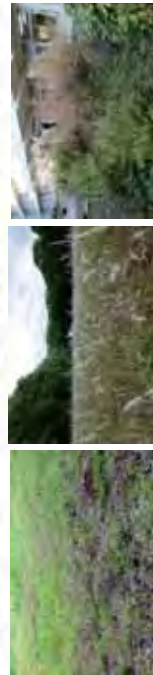
- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しずつ抜いて深さ20〜30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 2. 異なる草丈の草地づくり

- プールの周辺等、校庭のどこどころに見られる草地は、チョウやバッタなどの生きものの生息場所になることから大切にし、一部分は意図的に草刈の回数を少なくし、ススキなどが生える草地やチガヤなどが生える草地をつくります。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5〜6月・8月・10〜11月

草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5〜6月・10〜11月

草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10〜11月



ヤマトジミ



ジャノメチヨウ



### 3. 児童館との間にあるフェンスのツル植物の維持

- 児童館との境界にあるフェンスには、ツル植物が生育しています。これらは、チョウが花の蜜を吸いに来たり、野鳥が実や昆虫をとる場にもなっていることから、とってしまわずに、そのまま維持してください。また、校内にあるツル植物の垣根のように新たにツル植物を増やしてください。



キタテハ



ベニシジミ



## 松井小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

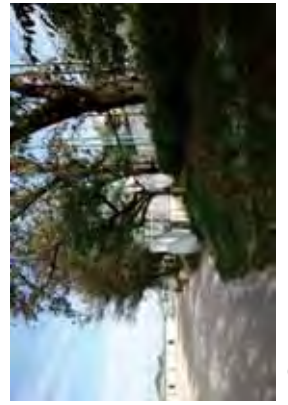
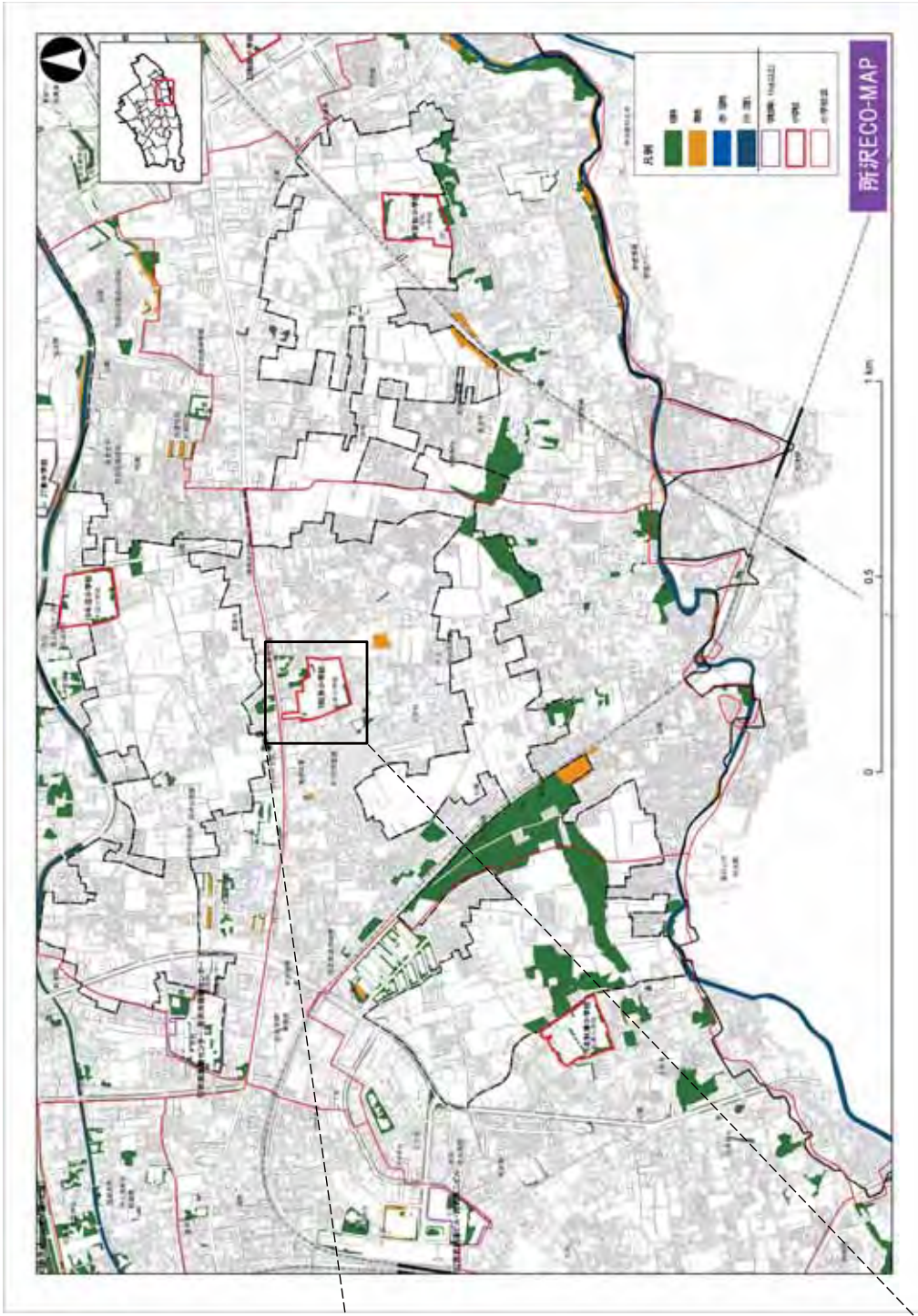
- ①校門周辺の樹木には名札が付けられています
- ②校庭の南側には風格のあるソメイヨシノなどがあります
- ③学校ファームにはカキ、ミカンなどの果樹があります

#### 草地

- ③南側の斜面には連続した草地があります
- ④学校ファームの周辺にも草地が見られます

#### 水辺

- 水辺はありません

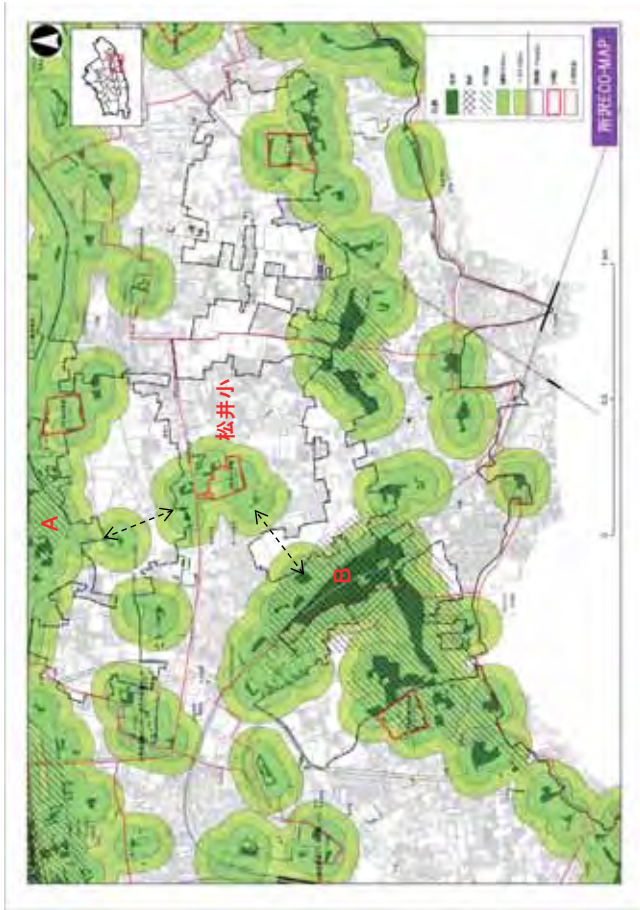




■周辺自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に樹木が少ないですが、北側の林のまとまり (A) や南側の樹林のまとまり (B) から野鳥などがやってくる場所が位置しています。

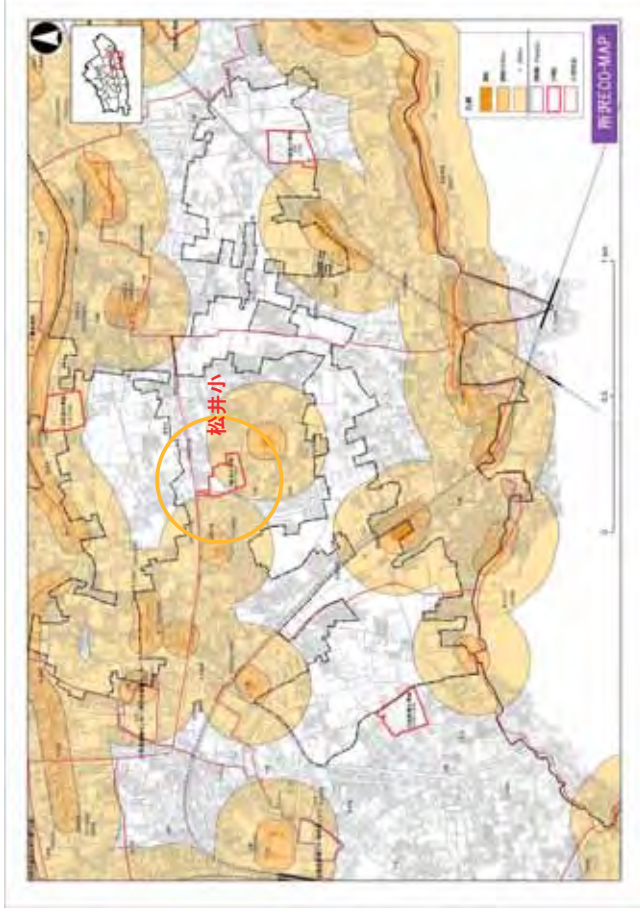


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
哺乳類	鳥類	哺乳類	鳥類
キジバト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワビロ	枯れ木に穴をあけて虫をえる ヤブ愛好む	カキゴウ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシホウエン ハラヒロガマキリ カナブン シロウグモ	幼虫はミカンの仲間の葉を食べる 幼虫はスズメキやアブラノキの葉を食べる 幼虫はマメの仲間の草や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する	アオダイショウ アマガエル アゲハ シジミ コナラ ヒケラン カブトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトムシ 二ホンミツハチ ナナフシ	多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラノキ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 周辺に草地が少ない状況ですが、ところざら松井小から半径 200mの円を描くと、近くにある草地から 200mの円に重なり、チョウなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。



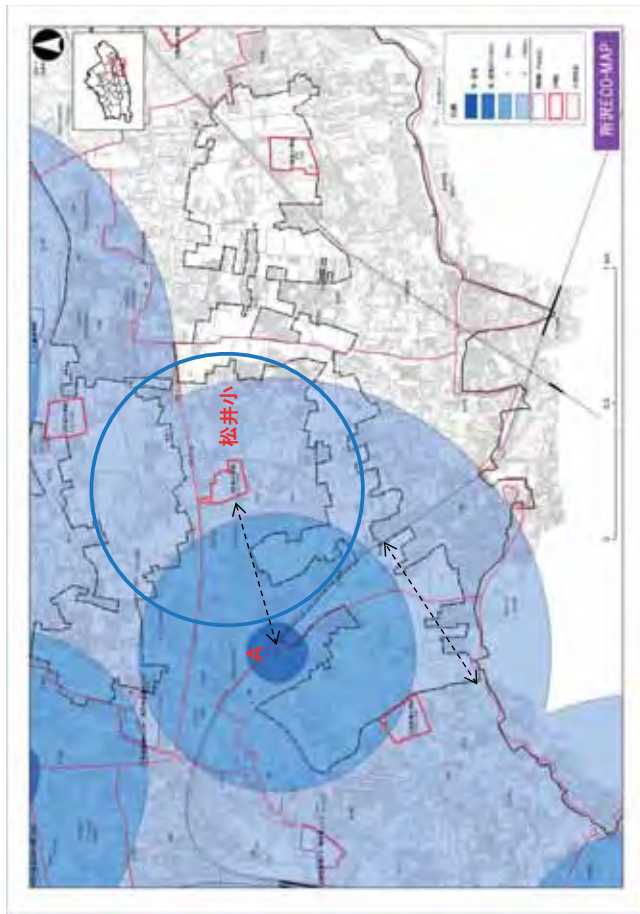
■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
哺乳類	鳥類	哺乳類	鳥類
アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワビロ		アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワビロ	
カサネ ホナマダガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オノハラハツタ ノヤマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラノキの葉を食べる 幼虫はスズメ、ギンギン、ノダイトウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナメグサの葉を食べる	ウサギ カウゴウ モズ ヒバリ シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ ヒガシキリギリス ニホミツハチ	



水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、松井小から半径 500mの円を描くと、調節池（A）から 500mの円と重なり、イトトンボやシオカトラトンボなどがやっやきやすい場所に位置していることがわかります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも

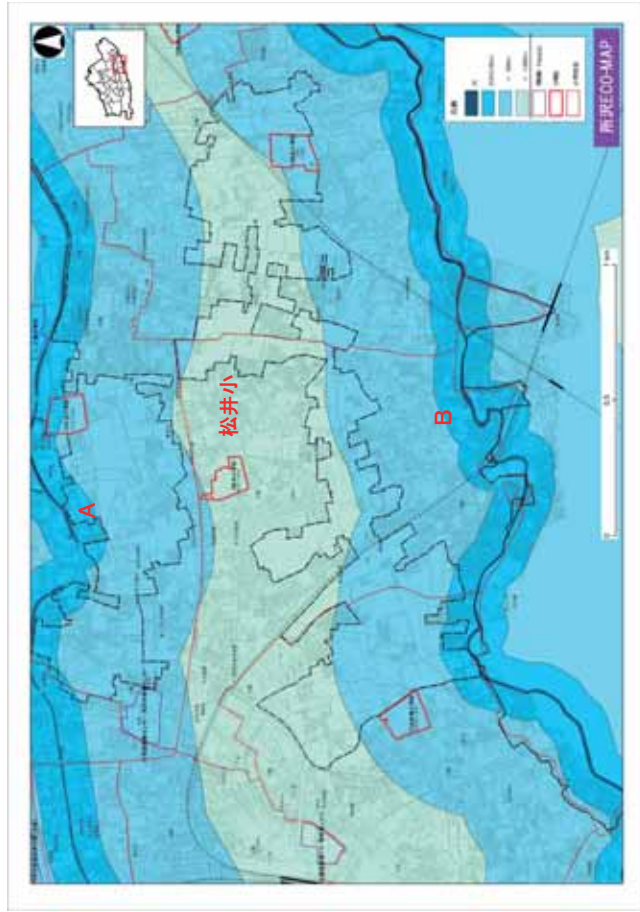
鳥類	イタチ	備考
カルガモ	カウセミ	
コサキ	キセキレイ	
ハクセキレイ	ヤマカガシ	
アジアカラスビネ	アズマヒキガエル	水辺や草地に生息
アジアカラスビネ	オニヤンマ	池に生息
シオカトラトンボ		流れに生息
ウスハキトンボ		流れ(涇流)に生息
コシアキトンボ		
シヨウジョウトンボ		
アキアカホ		

★★ なかなか見られない

鳥類	備考
アジアカラスビネ	水辺や草地を移動
池に生息	
"	
"	
"	
"	
"	

水辺のつながり（川・流れ）

- 東川から 1000m以内であり、東川（A）や柳瀬川（B）からシオカトラトンボなどが飛んでくる可能性があります。

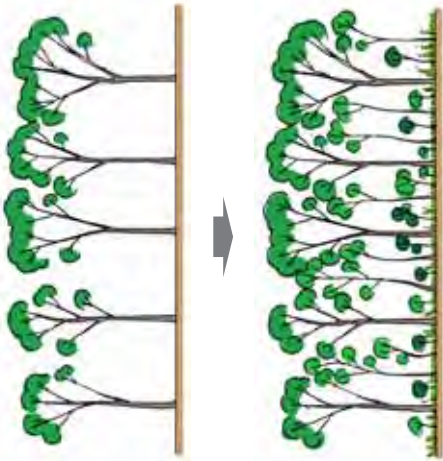




## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる、実のなる低木を植栽し、鳥や昆虫などかやってくるようになります。



ツグミ



ジヨウビタキ

### 2. 学校ファームの果樹の育成

- 学校ファームに植えられているミカンの葉はチョウの幼虫の食糧になります。また、果実は鳥の餌になることから、大切にしましょう。



アカハ

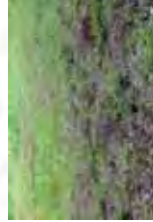


### 草地のつながり

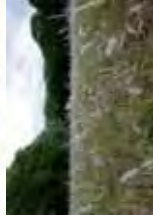


### 3. 異なる草丈の草地づくり

- 校庭の南側にある斜面の草地は、チョウやバタなどの生きものの生息場所になることから大切にし、一部分は意図的に草刈の回数や頻度を少なくし、ススキなどが生える草地やチガヤなどが生える草地をつくりまします。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年 3回程度  
5~6月・8月・10~11月



草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年 2回程度  
5~6月・10~11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年 1回程度  
10~11月



ヤマトシジミ



ジャンメチヨウ

### 水辺のつながり

### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ



## 柳瀬小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

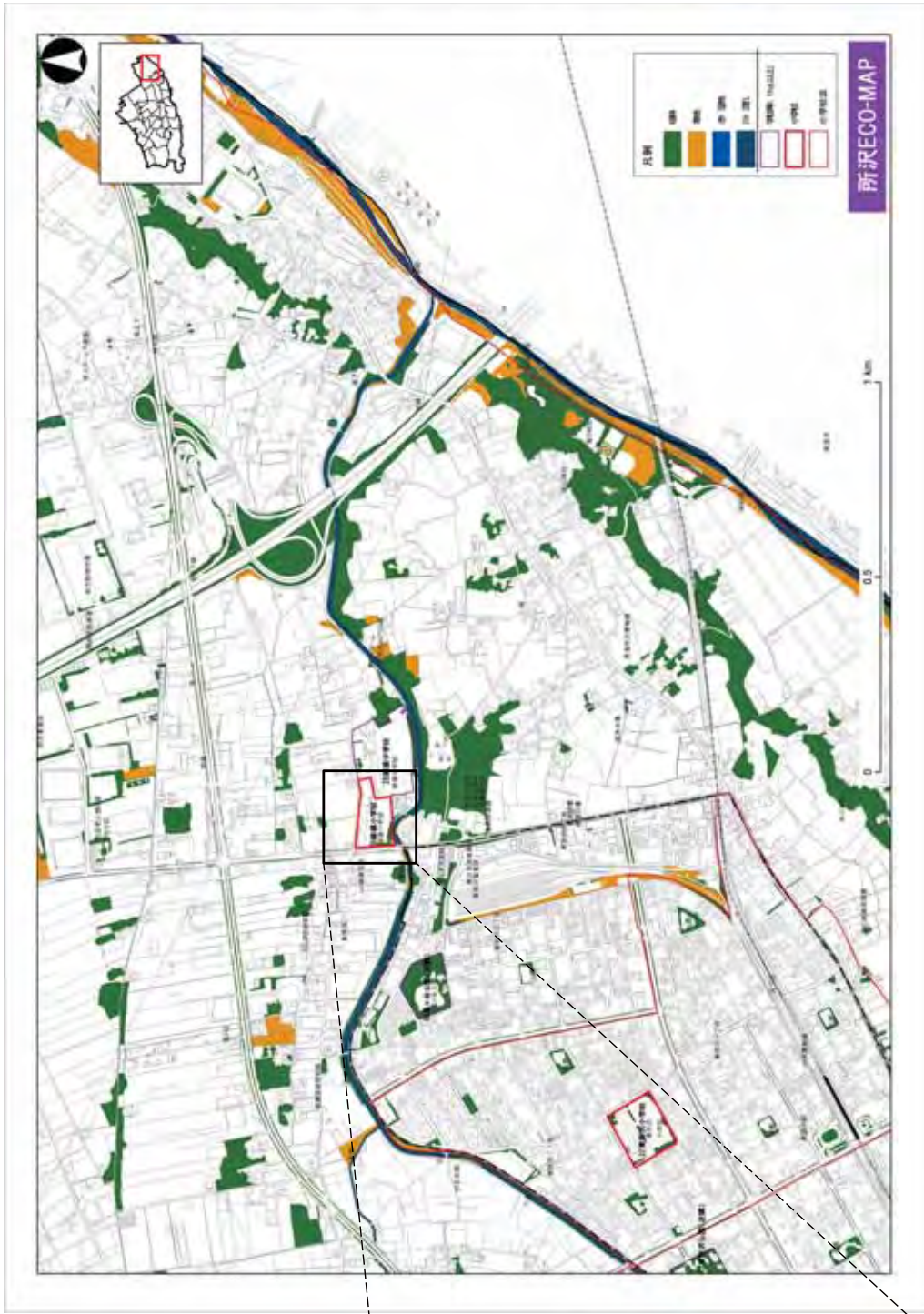
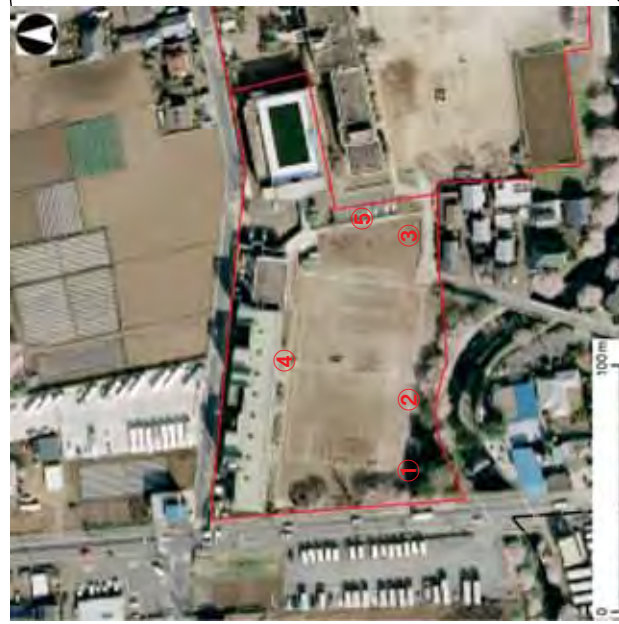
- ①イチョウやソメイヨシノ等の風格のある大木が生育しています
- ②樹木の下には草などは少ない状況です

#### 草地

- ③校庭の芝生化に取の組んでおり、草地在り、草が広く見られます
- ④校舎の前にも草地が見られます
- ⑤校内や外周のフェンスには、アオツツラフジ、エビツルなどのツル植物が見られます

#### 水辺

- 水辺はありません



①



②



③



④



⑤



■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 周辺に樹木が多く、まちなかの樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になります。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。

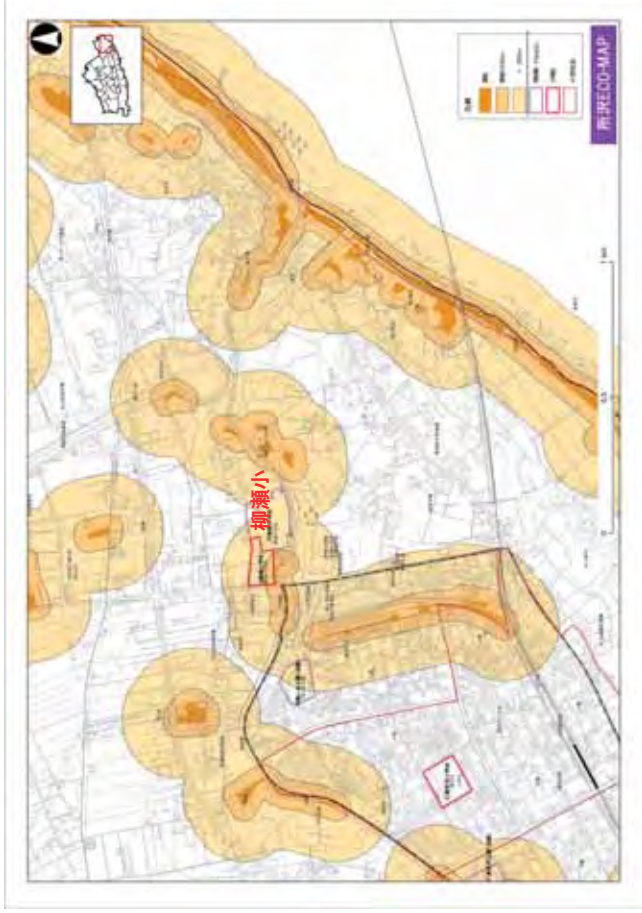


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★ なかなか見られない	
鳥類	哺乳類	鳥類	哺乳類
キジバト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワセミ	アカシヤブハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	枯れ木に穴をあけて虫をとり ヤブ愛好む	森の中のヤブを好む 多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハナ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 敷地から50m以内に東川の草地があり、バッタ類などの昆虫や草地のチョウがやってきやすい場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★ なかなか見られない	
鳥類	哺乳類	鳥類	哺乳類
ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	ウサギ キジ モズ ヒバリ
爬虫類 カサヘビ	カサヘビ	カサヘビ	シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ
両生類 ホトトギス	ホトトギス	ホトトギス	ホトトギス
昆虫類 キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トノサマバッタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ	キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トノサマバッタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ	キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オンブバッタ トノサマバッタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ	シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ ヒガシキリギリス チヨウセンカマキリ ニホヒミツバチ



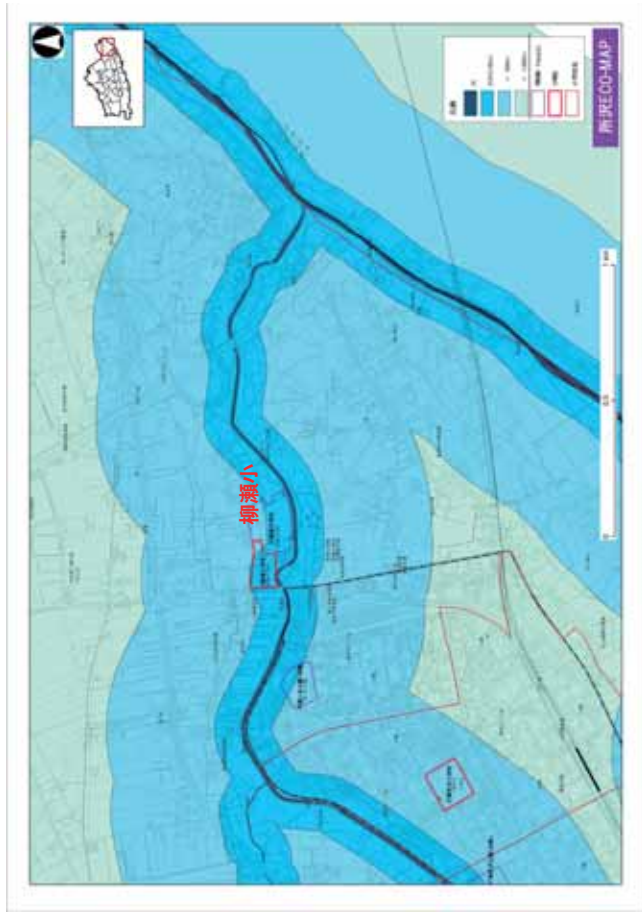
水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地が少ないですが、滝の城址公園の池（A）からシオカトラトンボなどがやってくる可能性が  
ある場所に位置していることがわかります。



水辺のつながり（川・流れ）

- 東川に接しており、流れをつくればハグロトンボなどのトンボがやってくる可能性が  
あります。また、環  
境の良い池や巣づくりに適した土の崖があれば、カワセミを呼べる可能性も  
あります。



■学校に呼びたい生きもの

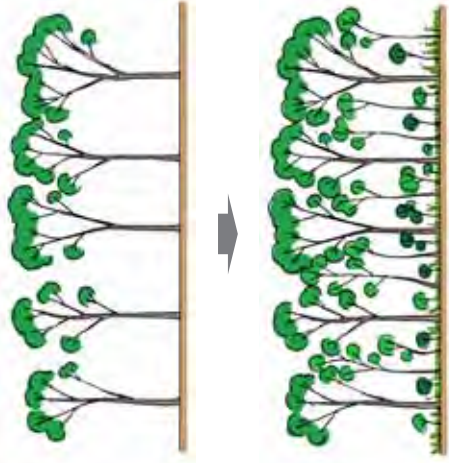
★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない		★★★ 呼びたい生きもの	
鳥類	備考	鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ		カワセミ	
コサキ		カワセミ		キセキレイ	
ハクセキレイ		キセキレイ		ヤマカガシ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動	アマガエル	水辺や草地に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
アジアイトトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動	オニヤンマ	池に生息
ゲンヤンマ	池に生息	オニヤンマ	池に生息		
シオガフトンボ	池に生息				
ウスハキトンボ	池に生息				
コシアキトンボ	池に生息				
シヨウジョウトンボ	池に生息				
アキアカネ	池に生息				



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる、実のなる低木を植栽し、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



ツグミ



ジョウビタキ

### 林のつながり



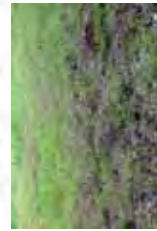
### 水辺のつながり



### 草地のつながり

### 2. 異なる草丈の草地づくり

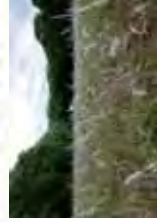
- 柳類の小校庭には、草丈が多いことが特徴です。一部分は意図的に草刈の回数を少なくし、草丈の高いススキなどが生える草地にすると、草地の生きものを呼ぶことができます。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



ヤマドリシジミ



草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月



ジャノメチヨウ

### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 3. フェンスのツル植物の育成

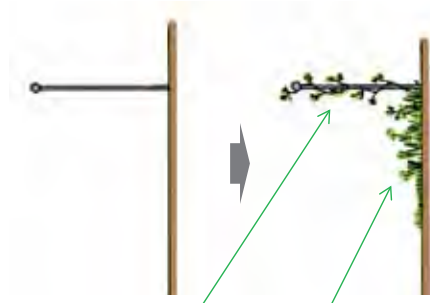
- 現在も、フェンスにツル植物が見られますが、これらチヨウが花の蜜を吸いに来たり、野鳥が実や昆虫をとる場にもなっていることから、計画的に残して育成してください。



キタテハ



ベニシジミ





## 小手指小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

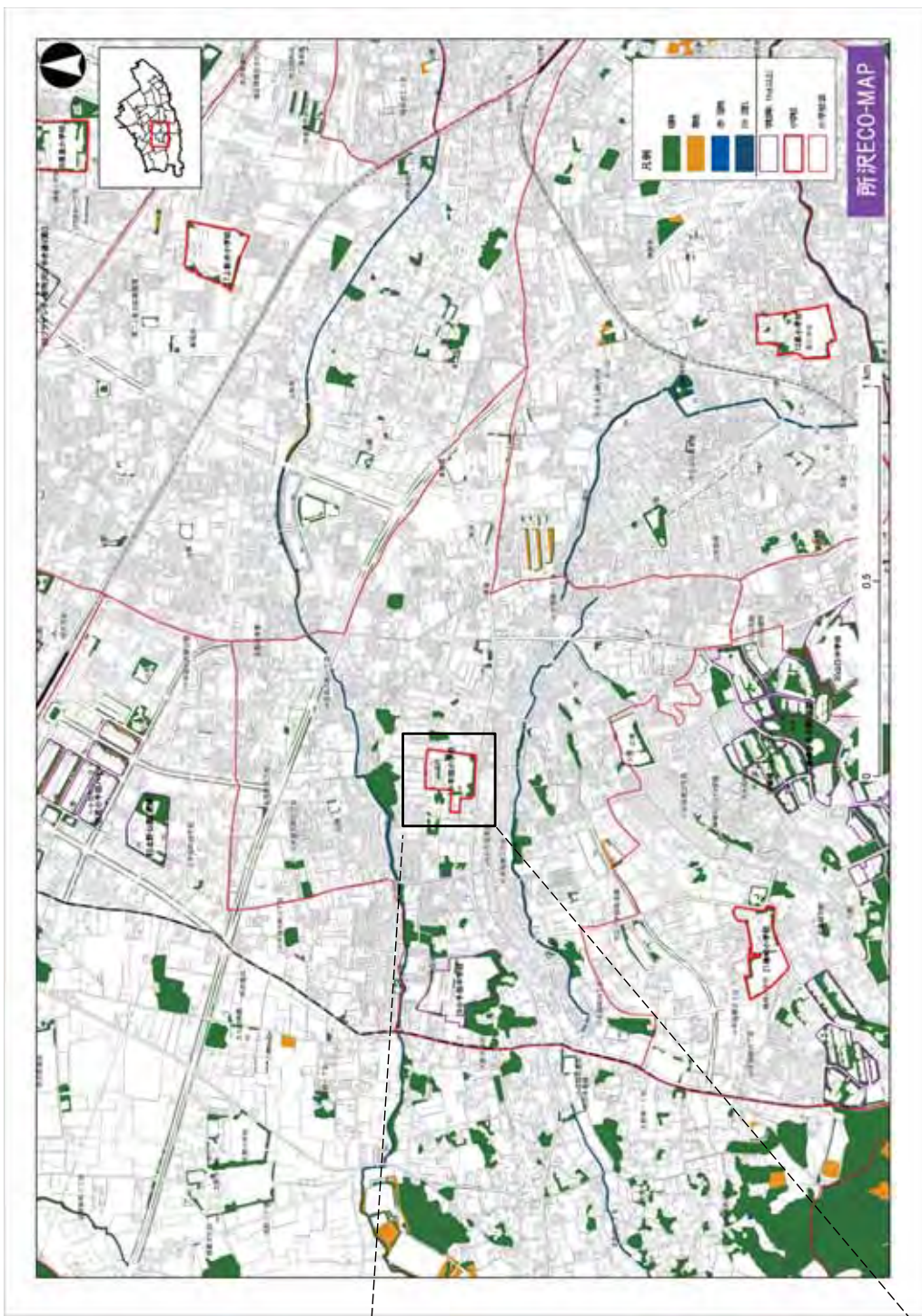
- ①敷地の南側には大イチョウをはじめ風格ある木が見られます
- ②プール周辺には高木だけでなく低木も生育しています。
- ③タイサンボクなどの常緑樹がやや密に生育している場所があります

#### 草地

- ④プールの裏に草地が見られます

#### 水辺

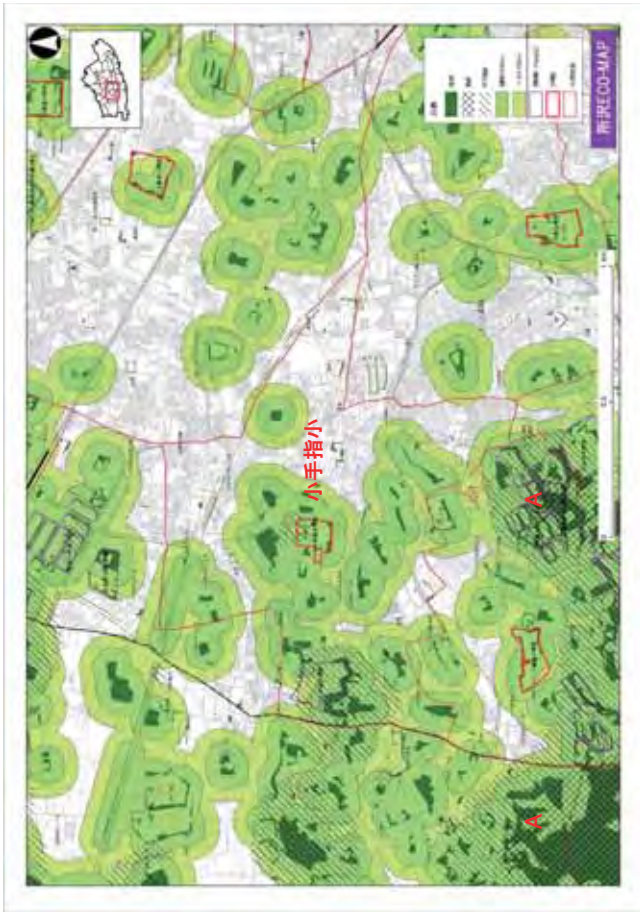
- ⑤体育館の南に小さな池があります





■ 周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 周辺に樹木が多く、樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になっています。
- 狭山丘陵（A）から飛び石状の樹林を伝って、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。

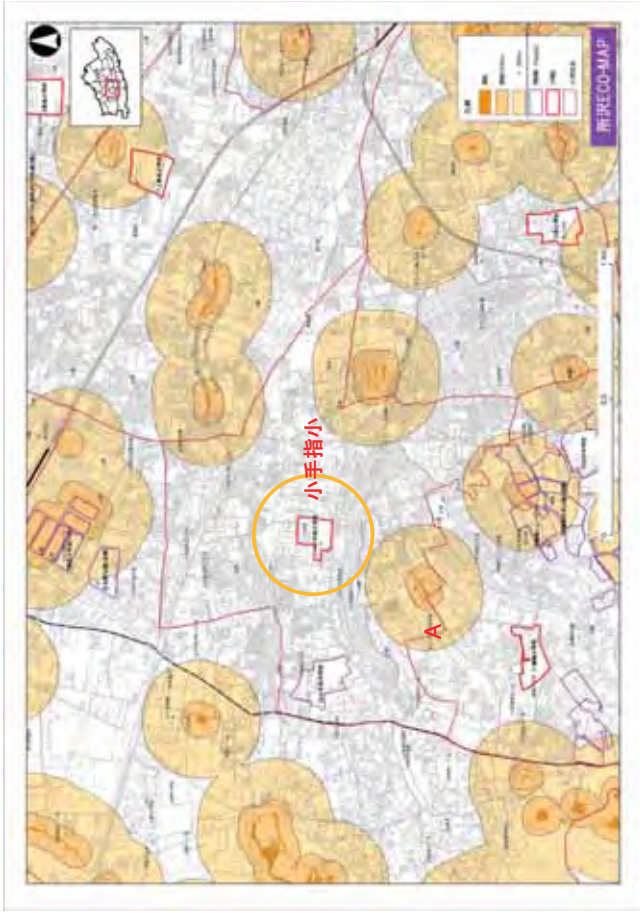


■ 学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	探せばいるかも	探せばいるかも	探せばいるかも
哺乳類 コウモリ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ ジョウビタキ カワラヒワ	枯れ木に穴をあけて虫をとり ヤブを好む	哺乳類 タヌキ カコウ ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
鳥類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラビロカマキリ カナブン ジョロウグモ	幼虫はミカンの中の葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉を食べる 幼虫はマメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する	爬虫類 アオダイショウ アマガエル アサギガエル ミズイロナガシジミ コマダラヤブ ヒグラシ カクトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトマムシ ナナフシ	多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ、クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ、クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ、クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハナ科植物、クヌギ、コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 小手指小から半径 200mの円を描くと、南にある草地（A）から 200mの円と接しますが、周辺に草地が少くない状況であり草地のつながりはやや弱い状況です。しかしながら、庭や農地のあぜ道などの小規模な草地を伝えてチョウなどややくる可能性は十分にあります。



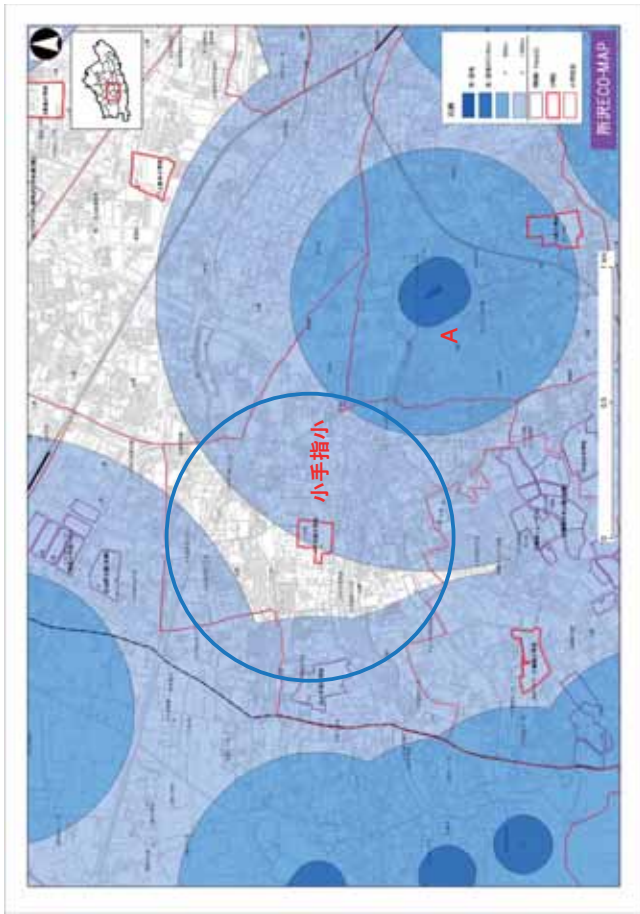
■ 学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	探せばいるかも	探せばいるかも
哺乳類 ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ	哺乳類 ウサギ キジ モズ ヒバリ
爬虫類 カナヘビ	カナヘビ	爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ
両生類 ホトトギス キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨリウハバタ オトノハバタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ	ホトトギス キタキョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨリウハバタ オトノハバタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ	両生類 アオダイショウ ヤマカガシ ニホヒシシハチ



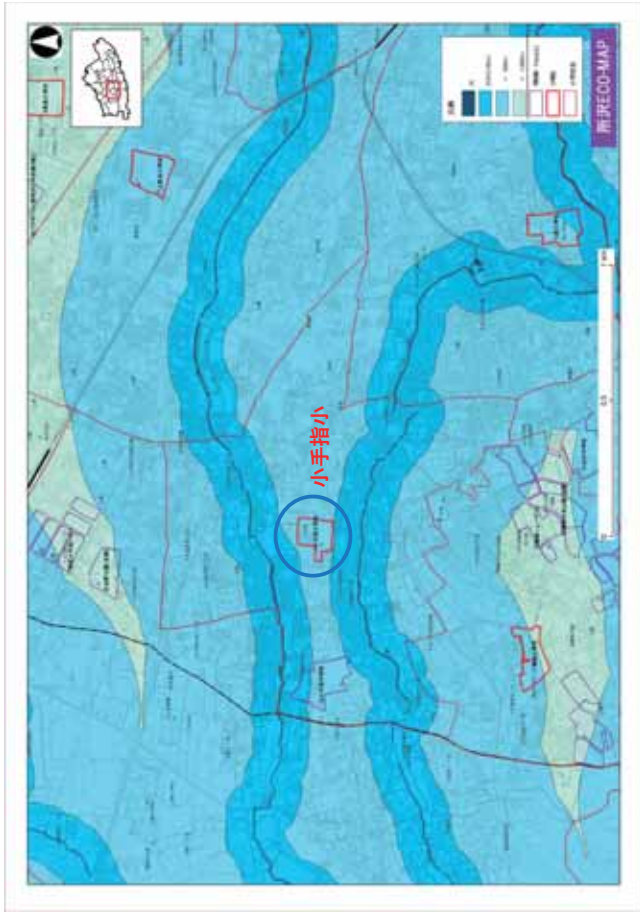
水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、小手指小から半径500mの円を描くと、調節池（A）から500mの円と重なり、イトトンボやシオカトラトンボなどがやっつきやすい場所に位置していることがわかります。



水辺のつながり（川・流れ）

- 小手指小から半径100mの円を描くと、環境の良い東川から100mの範囲と接することから、流れなどをつくればハグロトンボなどのイトトンボがやってくる可能性があります。また、東川から500m以内にあり、環境の良い池や巣づくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カワセミ	
ハウセキレイ		キセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アジアイトトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チヨウトンボ	池に生息
シオガフトンボ	"	ハグロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ(深流)に生息
コシアキトンボ	"		
シヨウジョウトンボ	"		
アキアカホ	"		



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 雑木林への転換

- 池の近くの樹木が植わっている場所の樹木を整理し、クヌギやコナラ等を植え、雑木林とすることで多くの生きものを呼び出すことができます。



種から苗木を育てる



苗木を植える

### 2. 低木の植栽

- プールの脇などの高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる、実のなる低木を植栽し、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



### 林のつながり

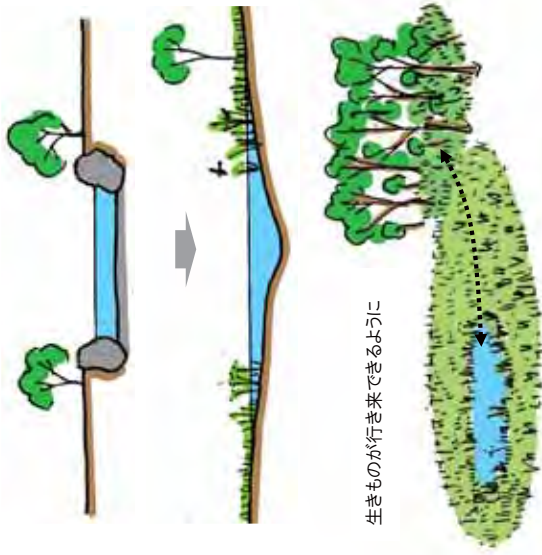


### 水辺のつながり



### 4. 池の改修

- 体育館の南にある池の給水設備などを活用して、浅くならからな岸辺のある池に改修することで、トンボなどがやってくると思えられます。また、林や草地と一体的にすることで、ヒキガエルなども住みやすくなります。

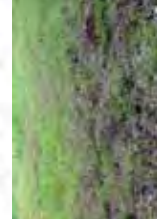


生きものが行き来できるように

### 草地のつながり

### 3. 異なる草丈の草地づくり

- プールの裏の草地は、チョウやバッタなどの生きものの生息場所になることから大切に、一部分は意図的に草刈の回数を少なくし、草丈の高いススキなどが生える草地をつくります。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



ヤマトシジミ



草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月



ジャノメチョウ



### 5. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 6. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。





## 山口小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

- ①敷地北側にスズカケノキ、スギ等の生育する樹林があります
- ②全般的に樹木が多く見られます

#### 草地

- ③段になった斜面に草地があります
- ④広い農園があります

#### 水辺

- ⑤校舎の前の林の中に池があります



①



②



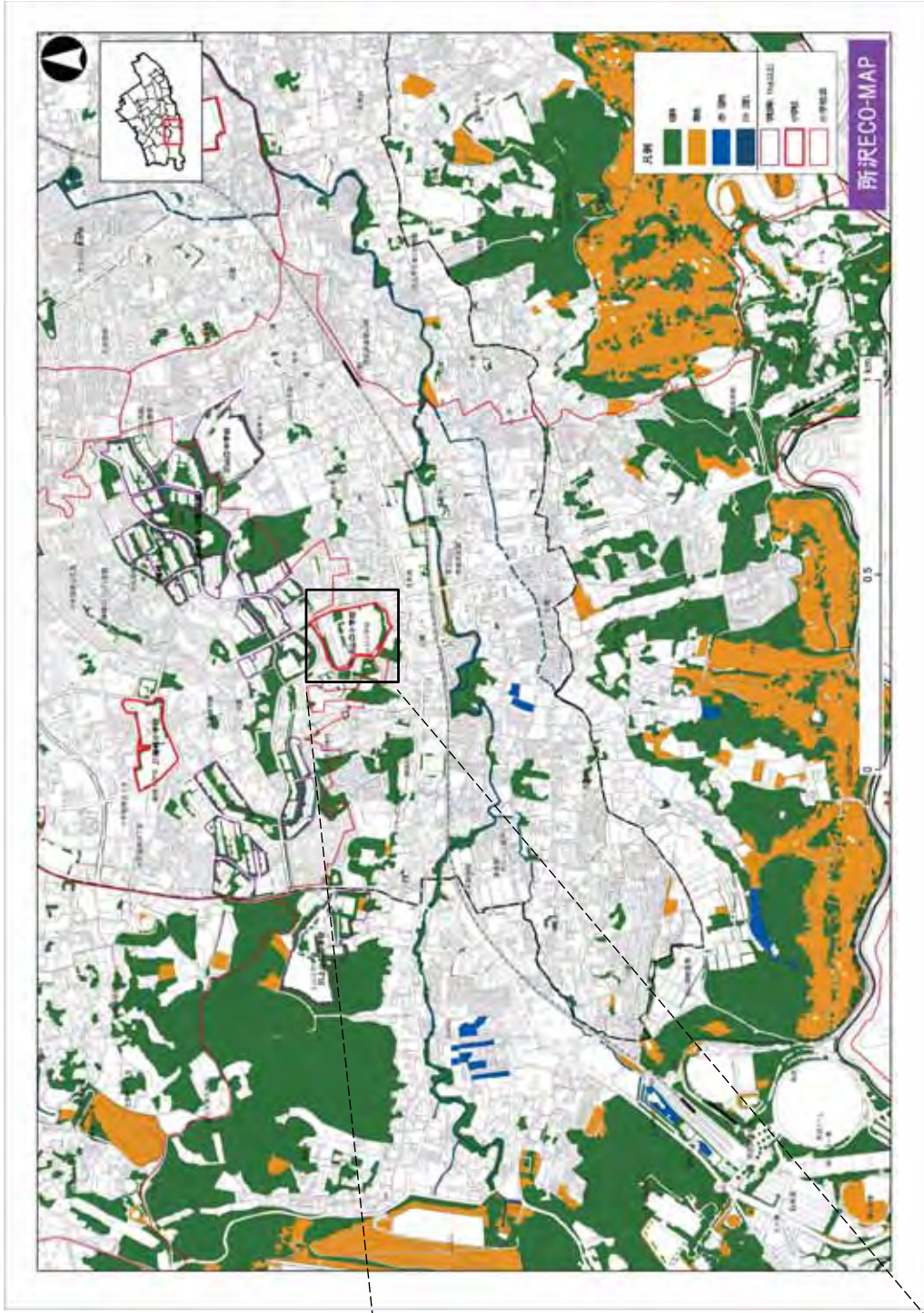
③



④



⑤





■ 周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 周辺に樹木が多く、樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がむむ可能性が高い場所）になっています。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。

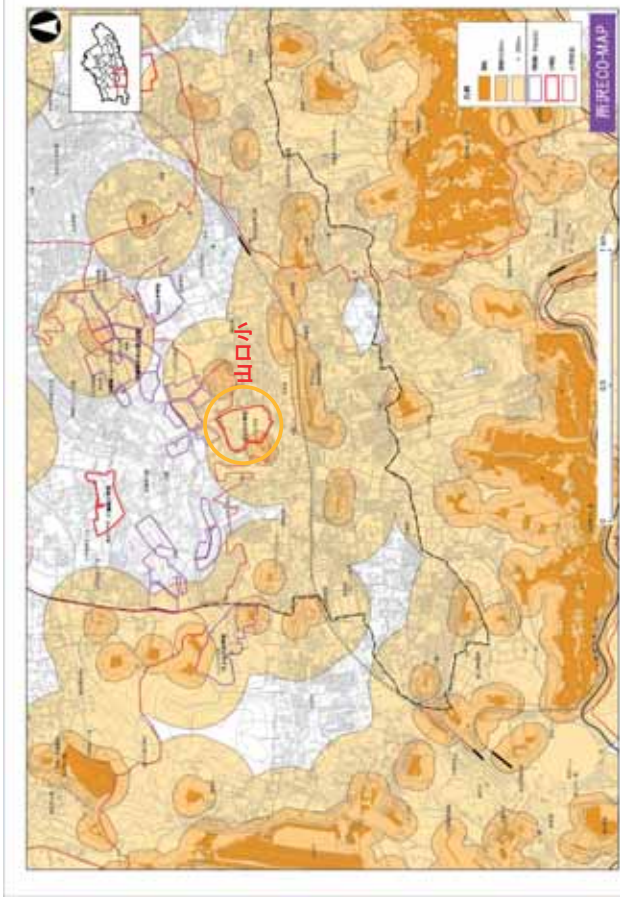


■ 学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★ なかなか見られない	備考
鳥類 キジハト コウライ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワセミ	枯れ木に穴をあけて虫をとる  ヤブを好む	哺乳類 タヌキ カコウ ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクツクホウソウ ハラビロカマキリ カナブン シロウグモ	幼虫はミカンの中の葉を食べる 幼虫はクヌギやタブノキの葉を食べる 幼虫はマメの中間の草や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する	爬虫類 アオダイショウ アサギ カサガ ヤマカガ エナガ イカル アオジ	多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ、クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ、クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ、クヌギなどの樹液に集まる " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハナフシ

■ 草地のつながり

- 山口小の外周から半径 50mの円を描くと周辺の草地から 50mの円に重なり、周辺からバッタ類やチョウ類などがやってきてやすい場所に位置していることがわかります。



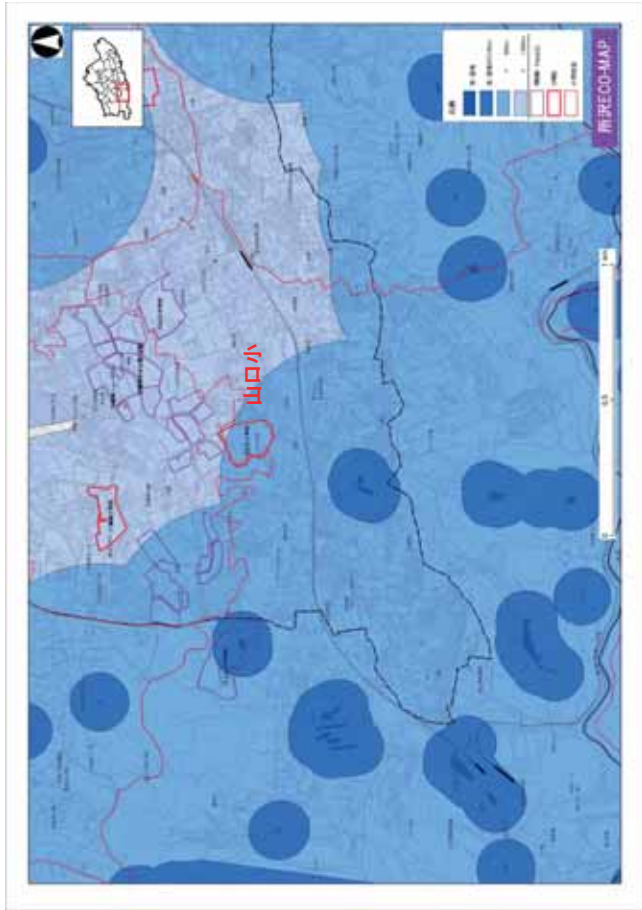
■ 学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★ なかなか見られない	備考
哺乳類 ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	アスマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	哺乳類 ウサギ キジ カコウ モズ ヒバリ	
爬虫類 カナヘビ	カナヘビ	爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ	
両生類 ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オムシ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オムシ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	両生類 ヒガシキリギリス チヨウセンカマキリ ニホヒミツバチ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラムシ、葉を食べる 幼虫はスイバ、ギンギン、ノダイオウを食べる 幼虫はカタバミを食べる 幼虫はカナムグラの葉を食べる



水辺のつながり（池・湿地）

- 南側の池から 500m の距離にあり、イトトンボやシオカラトンボなどがやっつきやすい場所に位置していることがわかります。

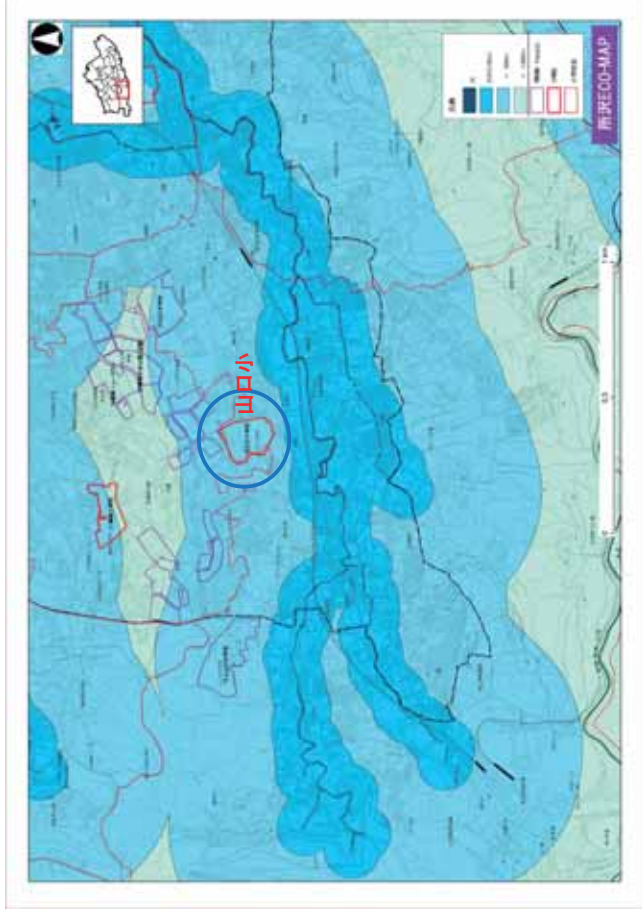


■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
鳥類 カルガモ コサキ ハクセキレイ		イタチ カワセミ キセキレイ	
両生類 ニホシヤマガエル	水辺と草地を移動	ヤマガガシ	水辺や草地に生息
昆虫類 アジアカイトトンボ	池に生息	アスマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
シオガフシトンボ	〃	チヨウトンボ	池に生息
ウスハキトンボ	〃	イトトンボ	流れに生息
コシアキトンボ	〃	オニヤンマ	流れ(渓流)に生息
シヨウジョウトンボ	〃		
アキアカホ			

水辺のつながり（川・流れ）

- 山口小から半径 100m の円を描くと、環境の良い柳瀬川から 100m の範囲と接することから、流れなどをつくれればイトトンボなどのイトトンボがやってくる可能性ががあります。また、柳瀬川から 500m 以内にあり、環境の良い池や巣づくりに適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。

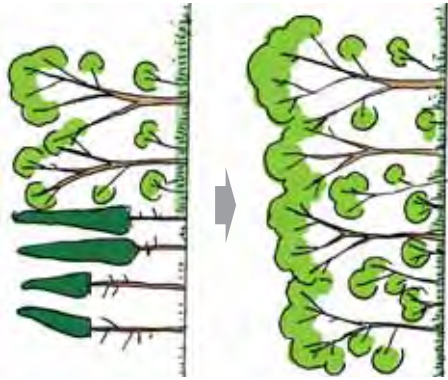




## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 北側の林の環境整備

- 北側にある林のヒノキや常緑の低木を整理して明るい林にするとともに、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる実のなる低木を植栽し、鳥や昆虫などがやってくるようにします。これによって、子どもたちが生きものと触れ合う場所にすることができま。



林のつながり

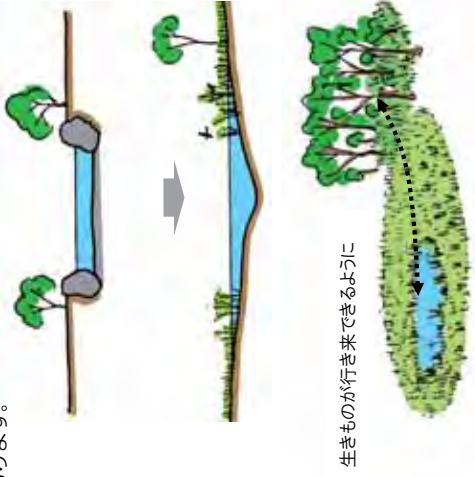


水辺のつながり



### 3. 池の改修

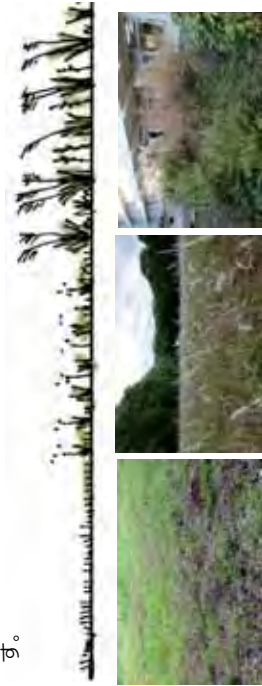
- 校庭の北西角にある池には、外来種のホテイアオイなどが生育し、ロープ柵で囲われています。
- 浅くならかな岸辺のある池に改修し、周辺を草地や林とするこによってトンボやヒキガエルが住みやすくなります。また、斜面を利用して土の崖をつくることで、カワセミを呼べる可能性もあります。



生きものが行き来できるように

### 2. 異なる草丈の草地づくり

- 校庭と校舎の間にある斜面は、草刈り等の頻度を減らすことにより、野草の生育を促し、チョウやハタタなどの生きものを呼びま。

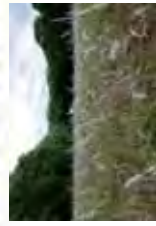


草丈の低い草地  
スミレ・カタハミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



ヤマトシジミ

草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月



ジャノメチヨウ



### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。





## 清進小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

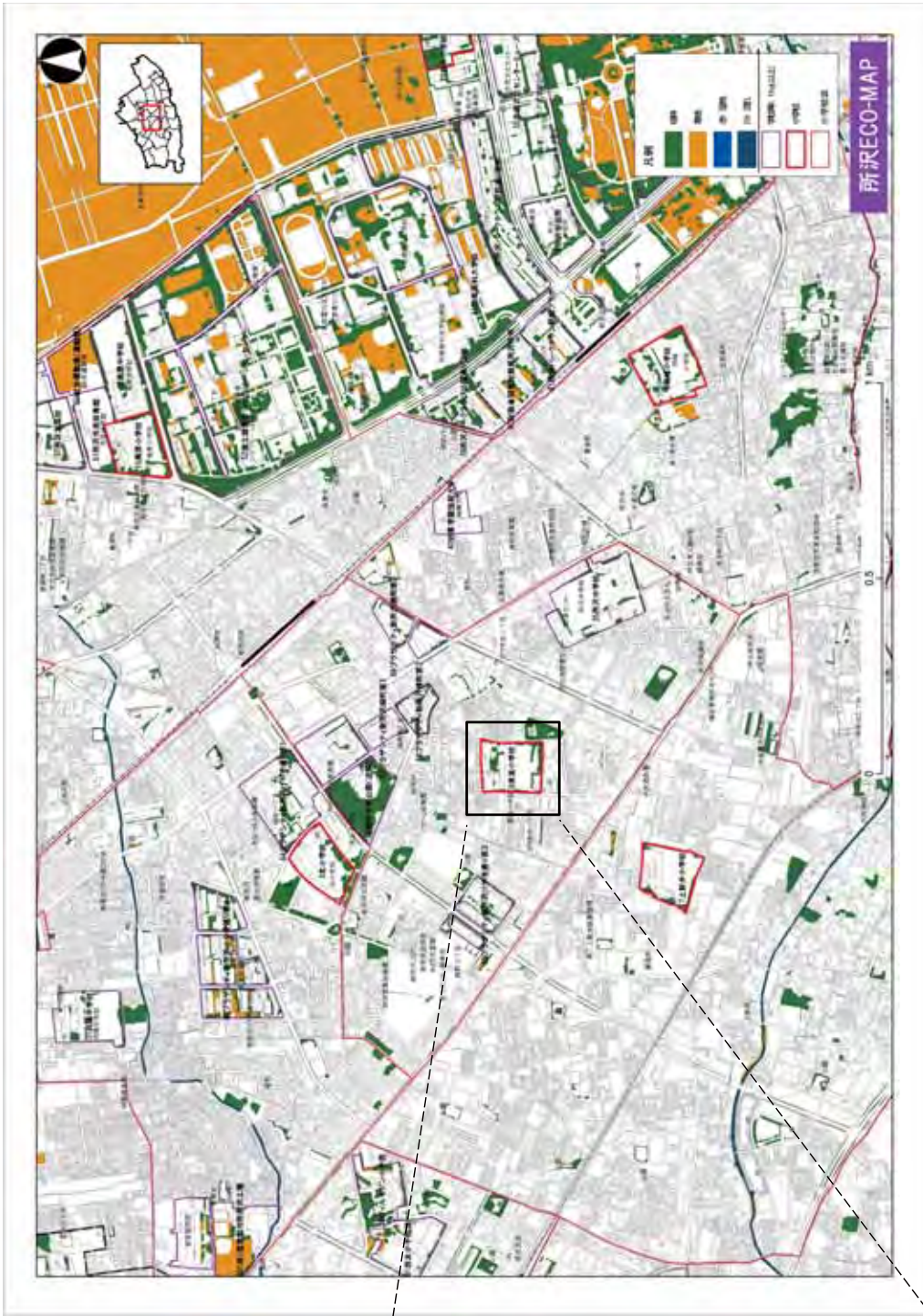
- ①高木の根元に、低木が植えられています
- ②ソメイヨシノやケヤキが林になっています
- ③ピオトープにさまざまな樹木が生育しています。

#### 草地

- ④敷地の南側に広い草地があります

#### 水辺

- ⑤岸辺が自然な水辺に近いです



①



②



③



④

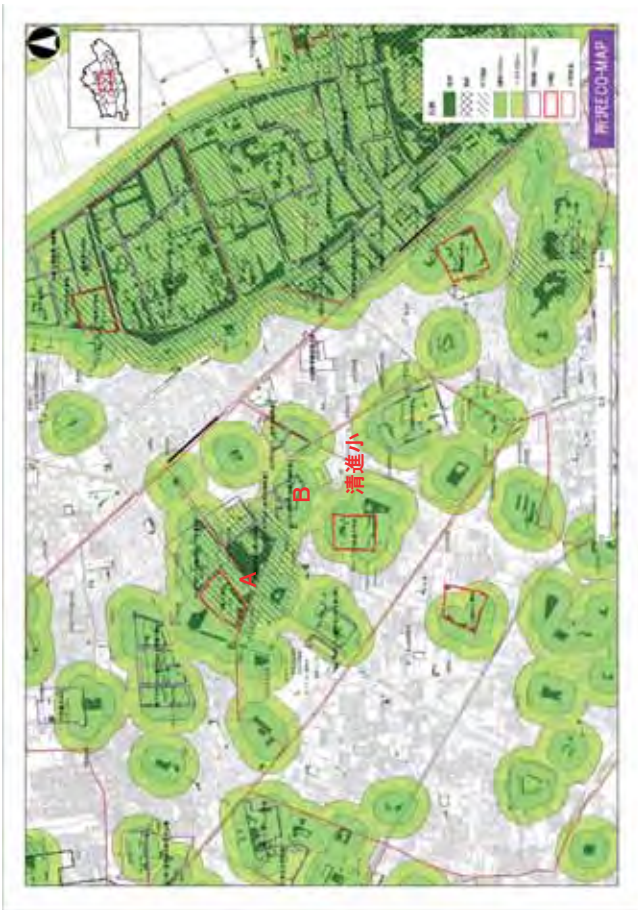


⑤



■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

・まちなかの樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）となっている緑町中央公園の周辺（A）から、集合住宅の林（B）を伝って野鳥などがやってきやすい場所に位置しています。

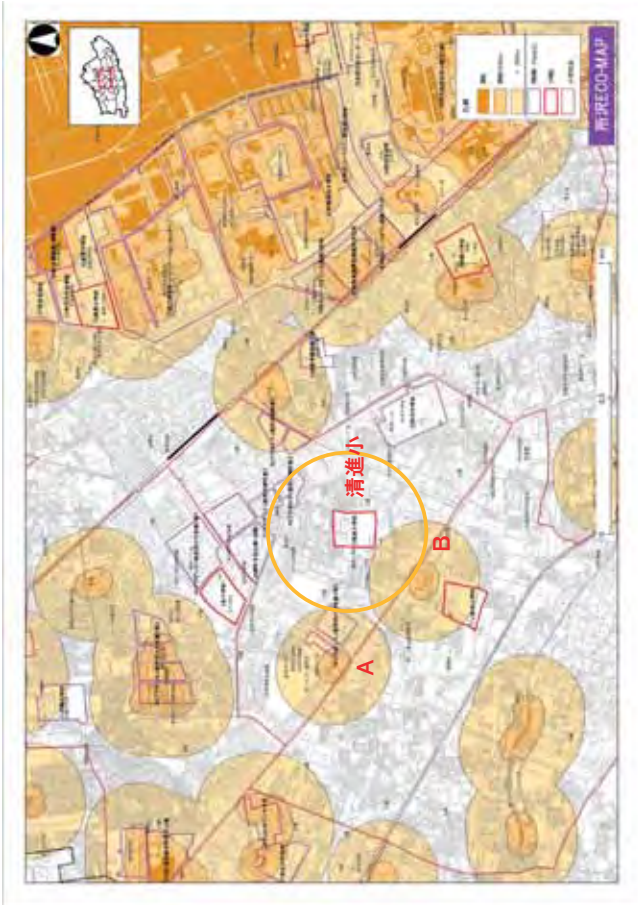


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	哺乳類	鳥類	哺乳類
キジバト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワラヒロ	枯れ木に穴をあけて虫をこる ヤブ愛好む	カキゴウ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ アオダイショウ アマガエル	森の中のヤブを好む 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 幼虫はカマキリを捕まえる コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ 二ホンミミズ ナナフシ
アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの中間の葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉を食べる 幼虫はマメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	アオダイショウ アマガエル アマガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナフハツタ トノサマハツタ エンマコオロキ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	多くの生きものがいいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 幼虫はカマキリを捕まえる コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

・周辺に草地在り少ない状況ですが、清進小の外周から半径 200mの円を描くと、南にある草地（A）や西にある草地（B）から 200mの円に重なり、チョウなどがやってくる可能性のある場所に位置していることがわかります。



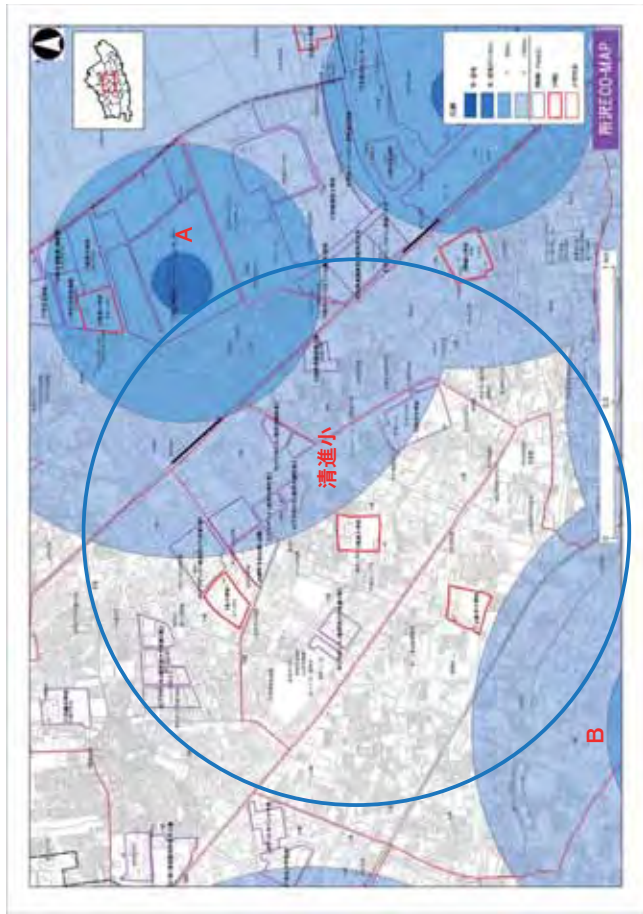
■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	哺乳類	鳥類	哺乳類
ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒロ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒロ	カキゴウ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ アオダイショウ アマガエル	森の中のヤブを好む 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 幼虫はカマキリを捕まえる コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ 二ホンミミズ ナナフシ
アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はアブラノ葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉を食べる 幼虫はマメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	アオダイショウ アマガエル アマガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナフハツタ トノサマハツタ エンマコオロキ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	多くの生きものがいいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 幼虫はカマキリを捕まえる コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる



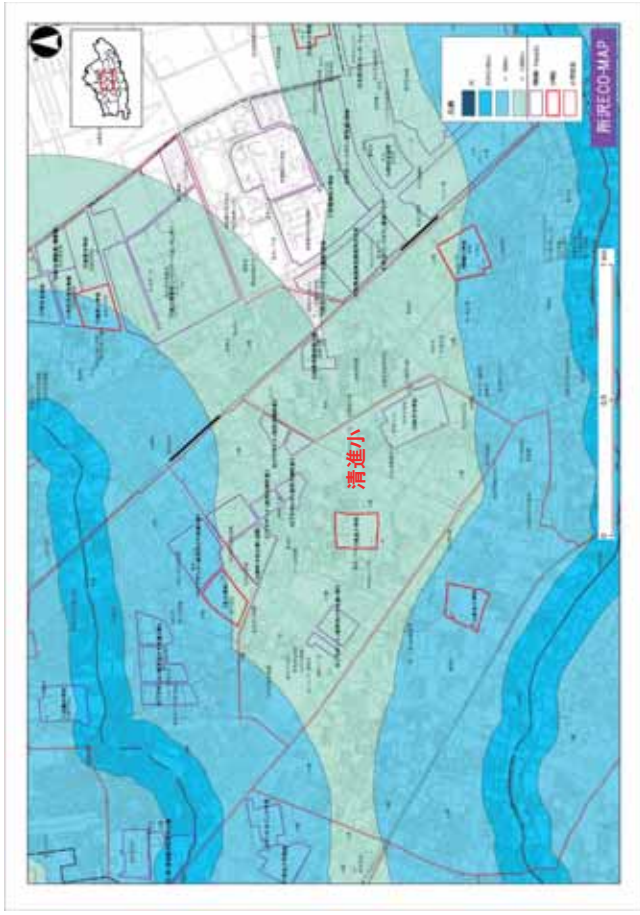
水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、清進小から半径 1000mの円を描くと、リハビリセンターの池（A）や調節池（B）から 1000mの円と重なり、シオカトラトンボなどがやつきやすい場所に位置していることがわかります。



水辺のつながり（川・流れ）

- 砂川堀や東川から 1,000m以内にあり、川からトンボ類がやつきやすい場所に位置しています。



■ 学校に呼びたい生きもの

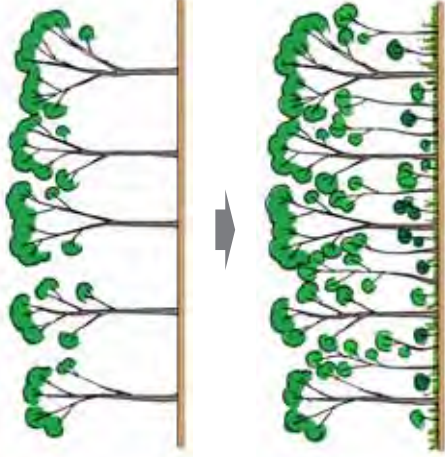
★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カウセミ	
ハウセキレイ		キセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アジアイトトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チョウトンボ	池に生息
シオガフトンボ	"	ハシロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ(渓流)に生息
シロキトンボ	"		
シヨウジョウトンボ	"		
アキアカホ	"		



## 生きものを呼ぶ方法

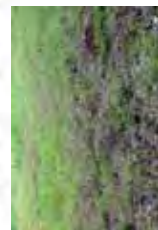
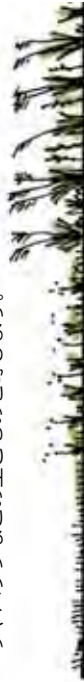
### 1. 校庭南側への低木の植栽

・中庭のピオトープや校庭の南側に樹木が多く、既により林の環境があります。さらに生きものを呼びやすくなるためには、校庭南側の草地（高木の下）に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる実なる低木を植栽することが考えられます。

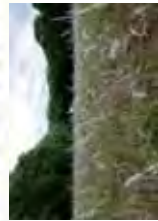


### 2. 異なる草丈の草地づくり

・校庭の南側には広い草地があります。この草地について、場所によって草刈の頻度を変えたり、ススキやチガヤの種をまくなどして、様々な草丈の草地をつくることによって、様々な種類のチョウやバタなどの生きものを呼びびます。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月



ヤマトジミ



ジャンメチヨウ

### 水辺のつながり



### 3. ピオトープの池の維持

・中庭のピオトープにある池をこれまでどおり計画的に管理し、維持していくことが望まれます。井戸を掘って、水量を確保すればさらによい環境になると考えられます。



### 4. プールのヤゴの救出

- ・6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- ・捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

・在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 草地のつながり



## 若松小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

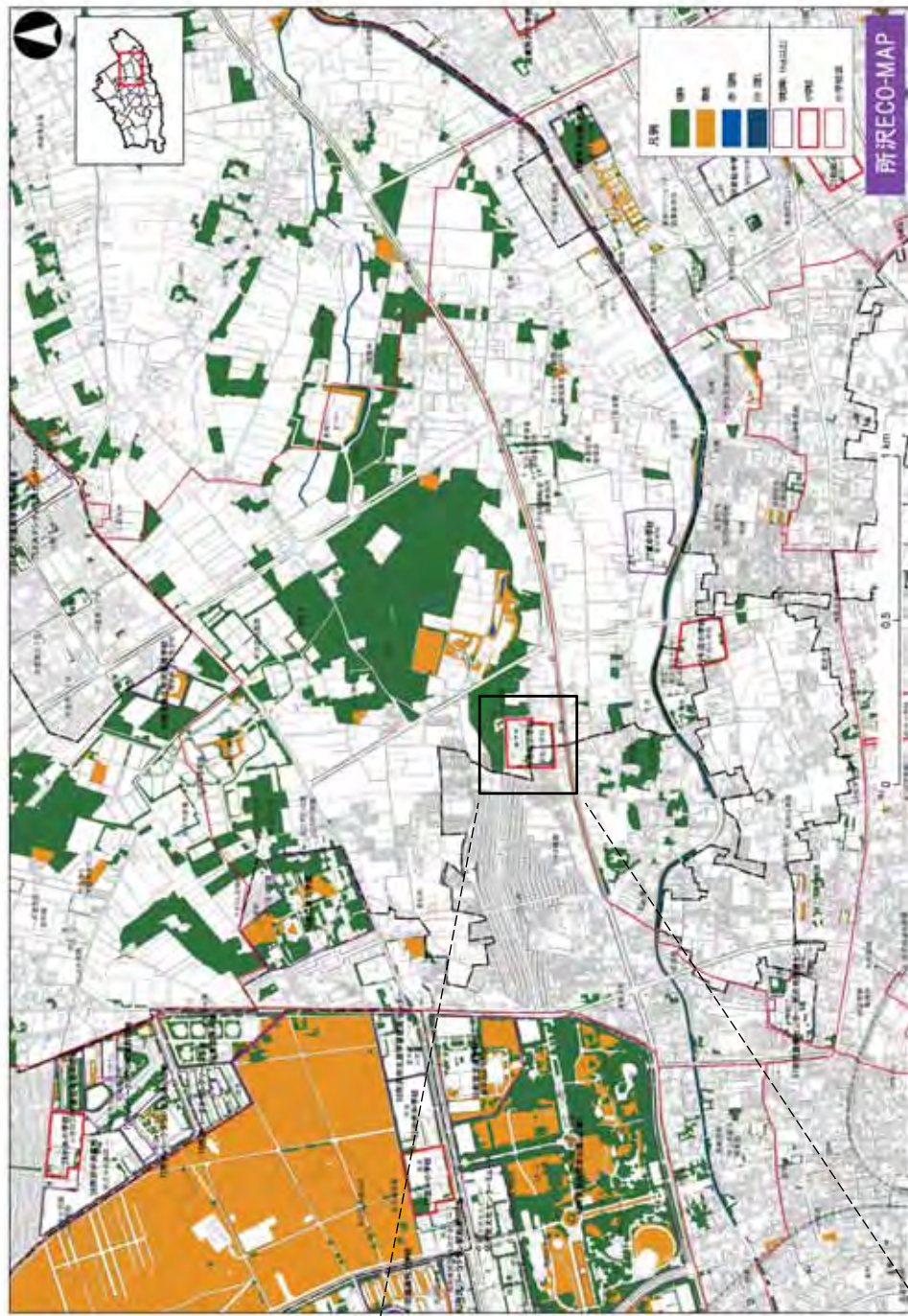
- ①学習林にコナラ等の高木が生育しています
- ②敷地の中の樹木も大きく成長しています

#### 草地

- ③中庭に農地や草地が見られます
- ④敷地外周にもササなどが見られます
- ⑤草地になる場所があります

#### 水辺

- 水辺はありません

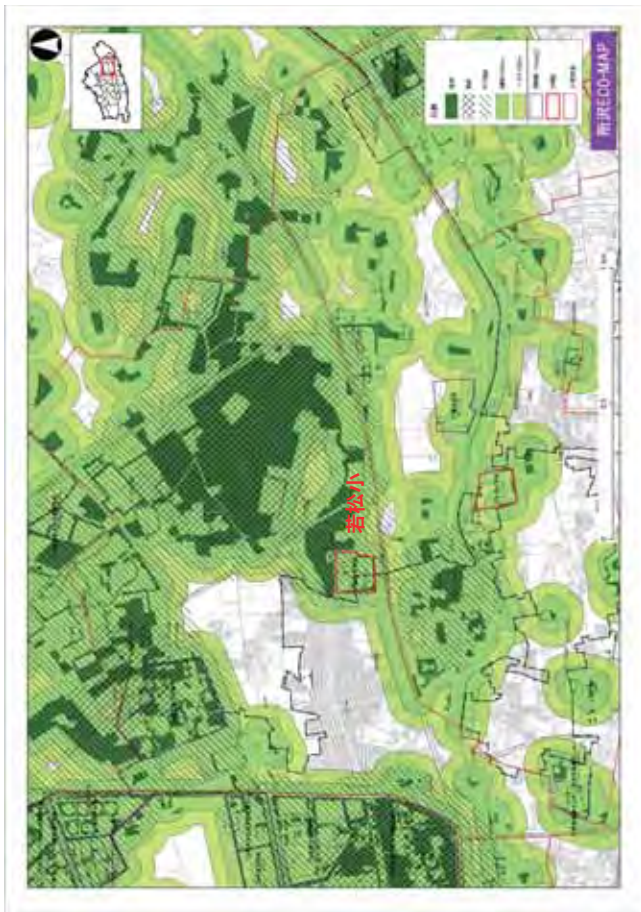




■周辺の自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に樹木が多く、樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になっています。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。

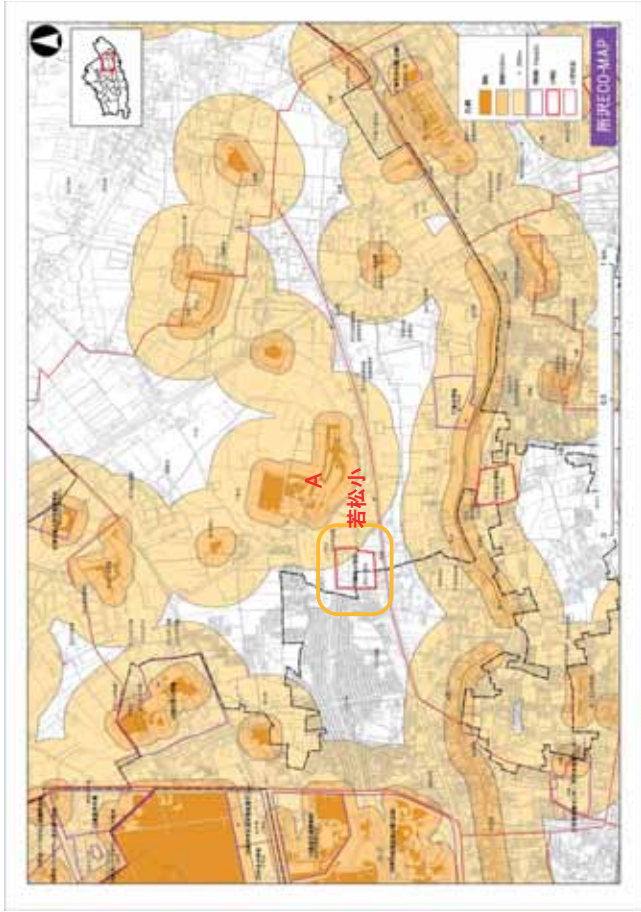


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ツグミ メジロ シヨウビタキ カウレヒワ	枯れ木に穴をあけて虫をえる ヤブ愛好む	鳥類 カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ 鹿虫類 アオダイショウ アサギ	森の中のヤブを好む 多くの生きものが入ることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハナ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる
昆虫類 アゲハ アオシジリアゲハ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシクボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの中間の葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉を食べる 幼虫はマメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	高生類 アズマモギエル アカンジミ ミスイロオナガシジミ コマダラチョウ ヒゲラシ カブトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ハートタムシ ニホンミミハチ ナナフシ	幼虫はアブラムシ等を食べる 幼虫はスズメ、ギンギシ、ノダイオウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナメタラの葉を食べる

草地のつながり

- 若松小の外周から半径 50mの円を描くと、東にある草地（A）から 50mの円に接し、バッタ類やチョウなどがやってくる可能性のある場所に位置していることがわかります。



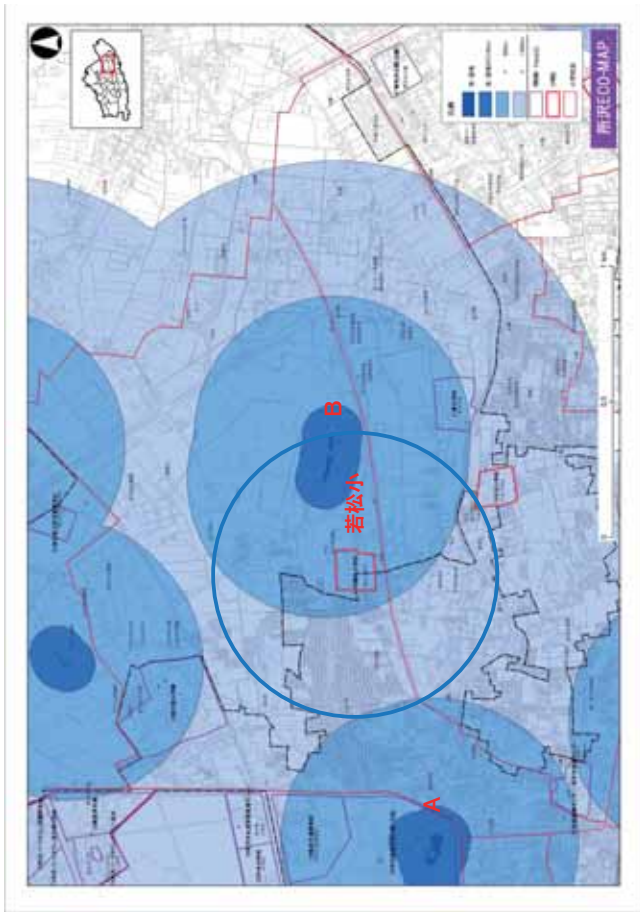
■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
鳥類 アズマモギエル ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カウレヒワ 鹿虫類 カナヘビ 高生類 ホナムギエル 昆虫類 キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハバタ オムシバタ トンヤマハバタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ		鳥類 ウサギ キジ カシ モズ ヒバリ 鹿虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ 昆虫類 ヒョウセンカマキリ ニホンミミハチ	



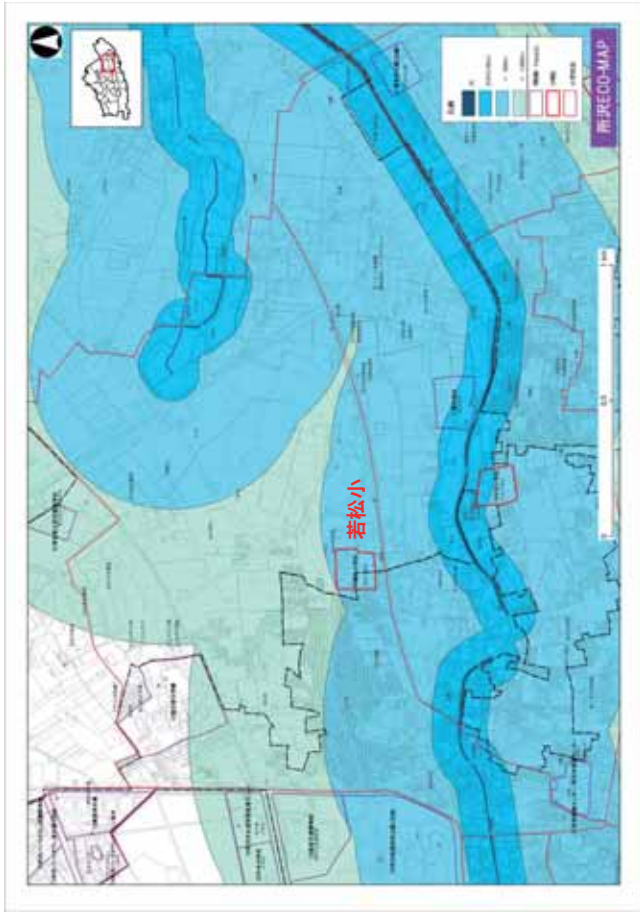
水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、若松小から半径 500m の円を描くと、調整池（A）や航空記念公園の池（B）から 500m の円と重なり、イトトンボやシオカラトンボなどがやがやがややすい場所に位置していることがわかります。また、若松小に池をつくれれば、そこを拠点として、トンボなどが調節池（B）から池（A）に行き来しやすくなります。



水辺のつながり（川・流れ）

- 東川から 500m 以内であり、環境の良い池や巣づくりに適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カワセミ	
ハウセキレイ		キセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アジイトトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チョウトンボ	池に生息
シオガトトンボ	"	ハシロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ(深流)に生息
コシアキトンボ	"		
シヨウジョウトンボ	"		
アキアカネ			



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 学習林における生きものの生息環境の向上

- ・北側にある学習林は、多くの生きものを呼ぶことができる場所として、他の学校にはない素晴らしい場所です。
- ・伐採した枯れ木を積んでおき、カミキリムシやタマムシの幼虫の生息場所をつくったり、落ち葉をためてカブトムシの幼虫が育つ場所をつくることができます

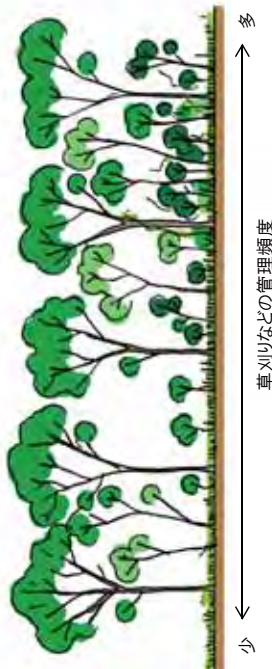


カブトムシ



落ち葉溜め(カブトムシの幼虫)

・林の下草は、場所によって草刈の回数を変えるなどしてブッシュや低い草地など多様な環境をつくります。また、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる実のなる低木を刈残したり、植栽して、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



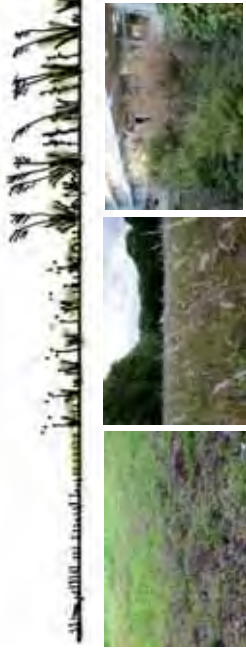
### 林のつながり



### 草地のつながり

### 2. 学習林における生きものの豊かな草地づくり

- ・学習林の西側は、樹木を伐採したため、草地になっています。草刈り等の頻度を場所によって変えることによって、草丈の高い草地から草丈の低い草地まで様々な草地環境を創出し、多様な生きものが生息できるようにします。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



ヤマトシジミ

草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



ジャノメチョウ

草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月



ギンヤンマ

### 3. プールのヤゴの救出

- ・6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- ・捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



### 4. 樹木への名札かけ

- ・在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。





## 伸栄小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

①外周には、マテハシイ、スタジイ、ソメイヨシノなどの高木が育っています

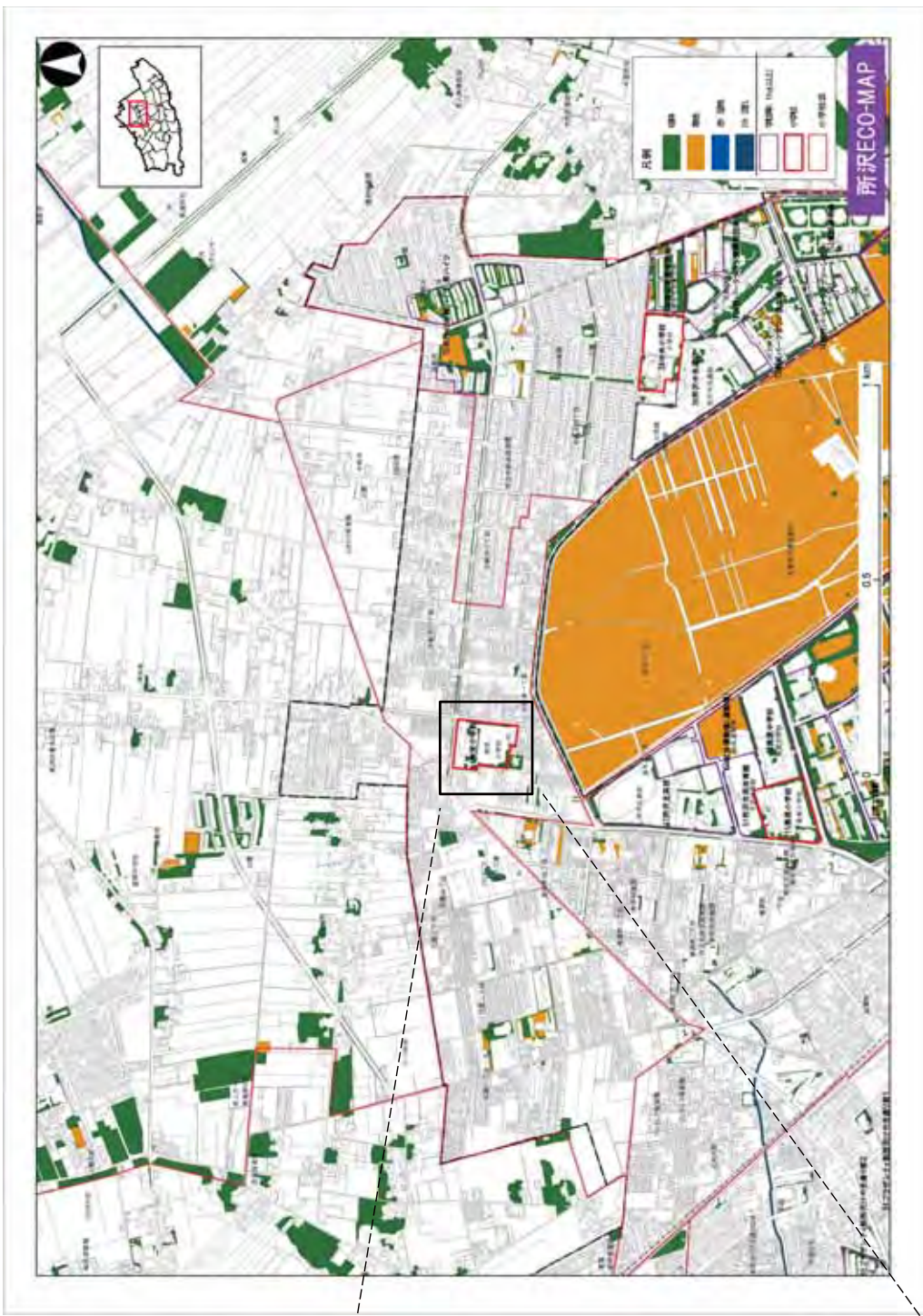
②敷地北側には大木が見られます

#### 草地

③④⑤敷地内に草地在り広く分布していることが本校の大きな特徴です。草地の少ないまちなかの重要な自然になっています

#### 水辺

○水辺はありません



①



②



③



④

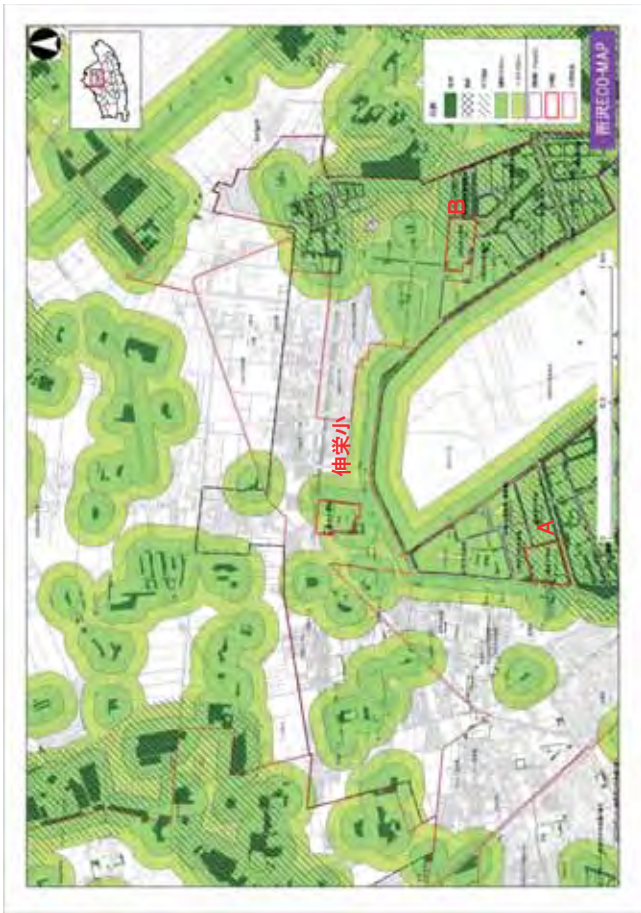


⑤



■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- ・樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）（A）（B）とつながり、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。

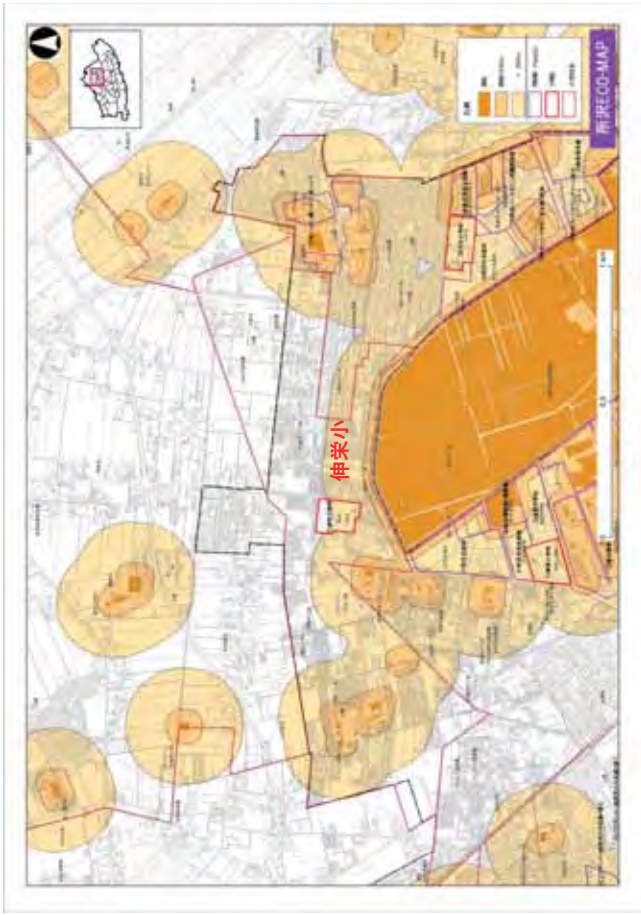


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
鳥類 キジハト コウラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワヒト	枯れ木に穴をあけて虫をとる ヤブを好む	鳥類 カクゴウ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ アオシ	森の中のヤブを好む
昆虫類 アゲハ アオスジアサハ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクツクホウソウ ハラビロカマキリ カナブン ナミテントウ シロロウゴモ	幼虫はミカンの中の葉を食べる 幼虫はスズメの仲間の葉を食べる 幼虫はマメの仲間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	爬虫類 アオダイショウ アマガエル ミズイロナガシジミ ゴマダラチョウ ヒゲナシ カブトムシ コクワガタ コキリクワガタ ヤマトオムシ ニホンミツバチ ナナフシ	多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- ・基地や西側の草地から200m以内の距離にあり、チョウ等がやってきやすい場所に位置しています。



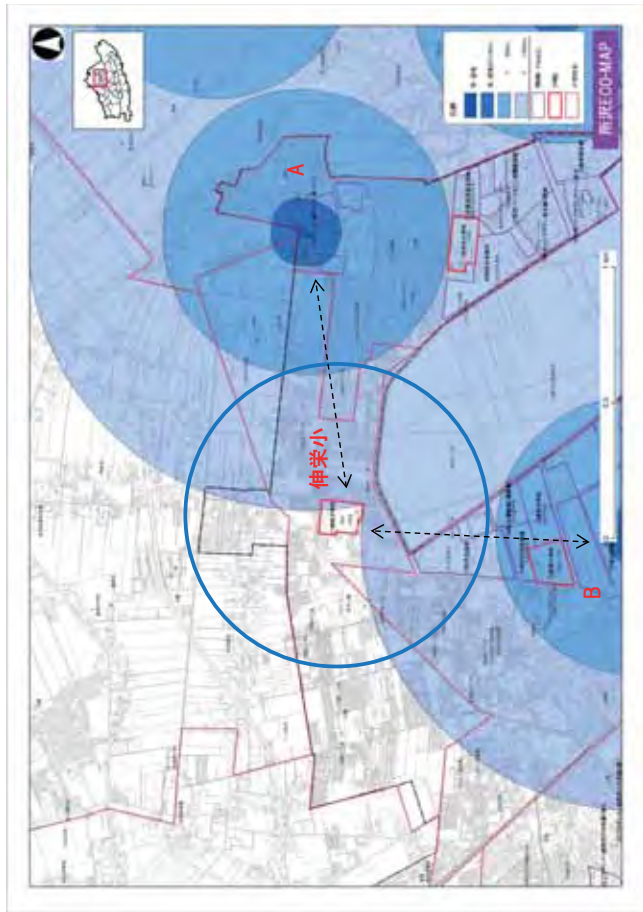
■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
哺乳類 ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワウ		哺乳類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワウ	
爬虫類 カナヘビ		爬虫類 カナヘビ	
両生類 ホトトギス アマガエル		両生類 ホトトギス アマガエル	水辺と草地を移動
昆虫類 キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オムシバ トナヤマコ エンマコオロキ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナフシ クロオアリ	幼虫はアブラムシを食べる 幼虫はスズメバチ、ギンギン、ノダイオウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナムグラの葉を食べる	鳥類 ウサギ キジ モズ ヒバリ シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ ヒヨウセンカマキリ ニホンミツバチ	



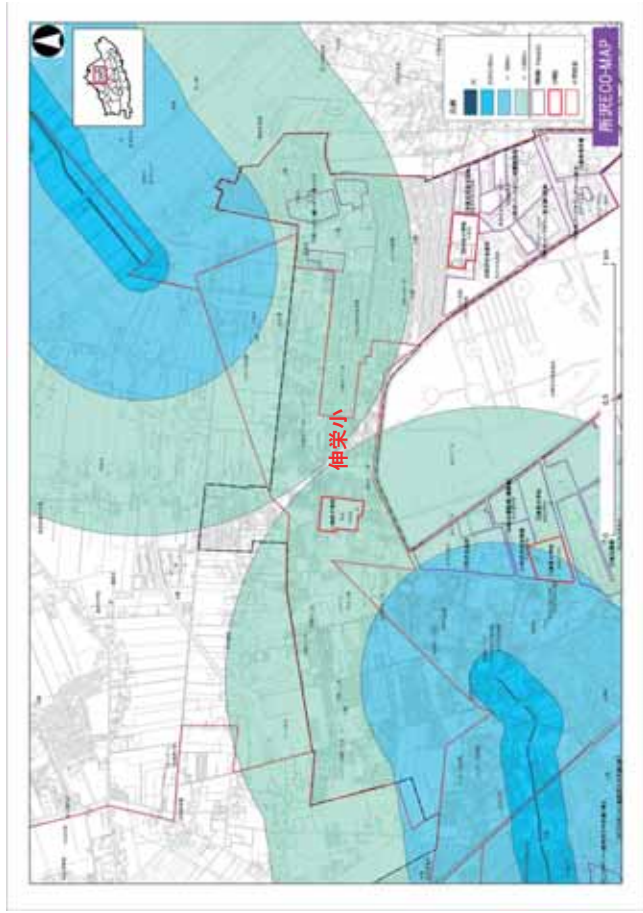
水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、伸栄小から半径 500mの円を描くと、調節池（A）やリハビリセンターの池（B）から 500mの円と近接し、イトトンボやシオカラトンボなどがやっつきやすい場所に位置していることがわかります。また、伸栄小に池をつくれば、そこを拠点として、トンボなどが調節池（A）から池（B）に行き来しやすくなります。



水辺のつながり（川・流れ）

- 砂川堀から 1,000m以内であり、池をつくと川からシオカラトンボなどのトンボ類がやってくる可能性ががあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

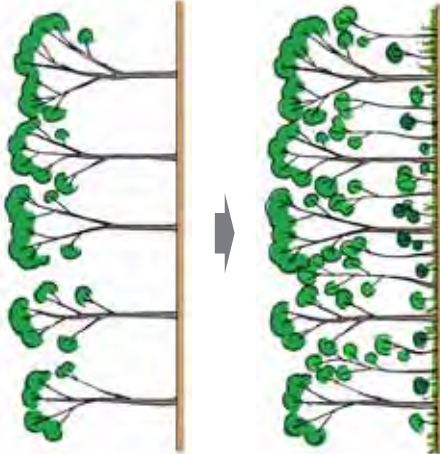
★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カウセミ	
ハウセキレイ		キセキレイ	
アジアカマエル	水辺や草地を移動	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
ニホンアマガエル	池に生息	アズマヒキガエル	水辺や草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チョウトンボ	池に生息
シオガトトンボ	"	ハシロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ(深流)に生息
コシアキトンボ	"		
シヨウジョウトンボ	"		
アキアカホ	"		



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 本校の特徴は草草が多くあることであるため、草草の保全と管理を優先し、次に低木の植栽などを行うことが望まれます。
- 高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の雑木林に見られる、実のなる低木を植栽し、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



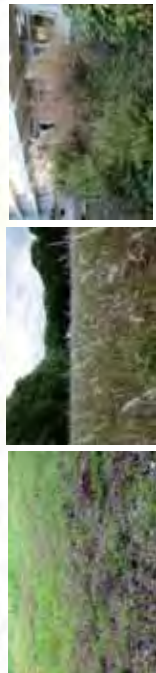
ツグミ

ジョウビタキ

### 草草のつながり

### 2. 草草やツル植物の保全と計画的な管理

- 入口の植え込みや、校庭の周辺、プールの周辺などに草草や、ツル植物が見られることが、本校の自然の特徴であり、優れている点です。
- これらの草草を残すとともに、計画的に場所によって草刈り等の回数を変えることによって、草草の高い草草から草草の低い草草まで、多様な草草をつくり、チョウやバッタなどの生きものを呼びます。



草草の低い草草  
スミレ・カタバミなど  
草草年3回程度  
5~6月・8月・10~11月

草草のやや高い草草  
チガヤなど  
草草年2回程度  
5~6月・10~11月

草草の高い草草  
ススキなど  
草草年1回程度  
10~11月

### 林のつながり



### 水辺のつながり

### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 3. フェンスのツル植物の育成

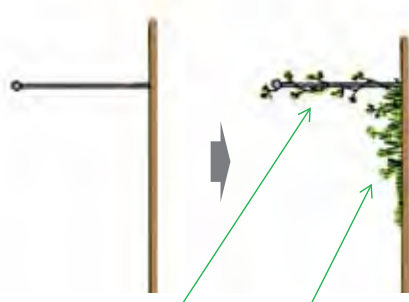
- 現在も、フェンスにツル植物が見られますが、これらチョウや花の蜜を吸いに来たり、野鳥が実や昆虫をとる場にもなっていることから、計画的に残して育成してください。



キタテハ



ベニシジミ





## 若狭小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

①②敷地内に学校林があり、カブトムシの幼虫の隠れ場所づくりに取り組んでいます

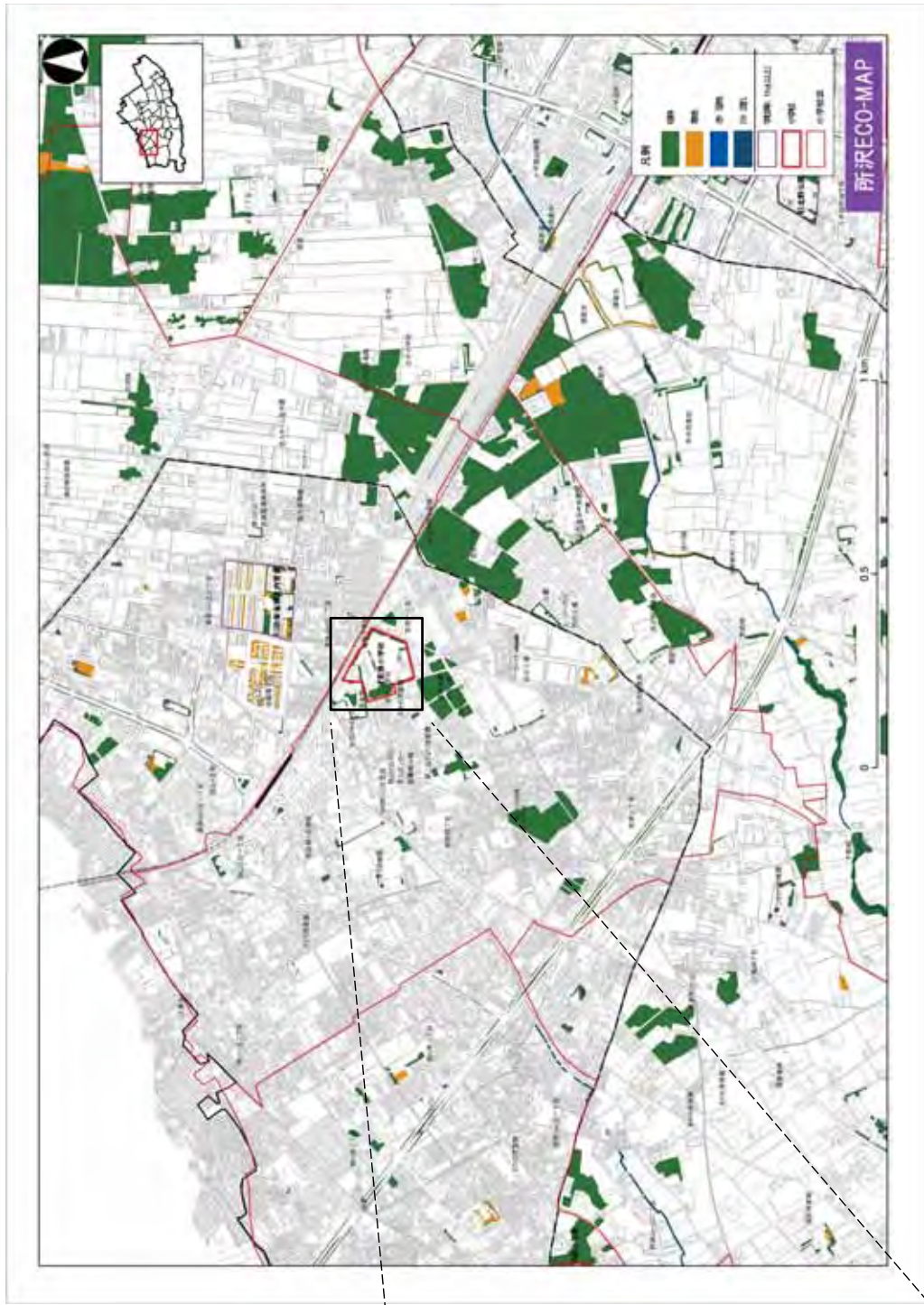
#### 草地

③④元石園を活用して草地のビオトープをつくっています。草地をビオトープとしている点が優れています

⑤学校農園の周辺にも草地があります

#### 水辺

○水辺はありません



①



②



③



④

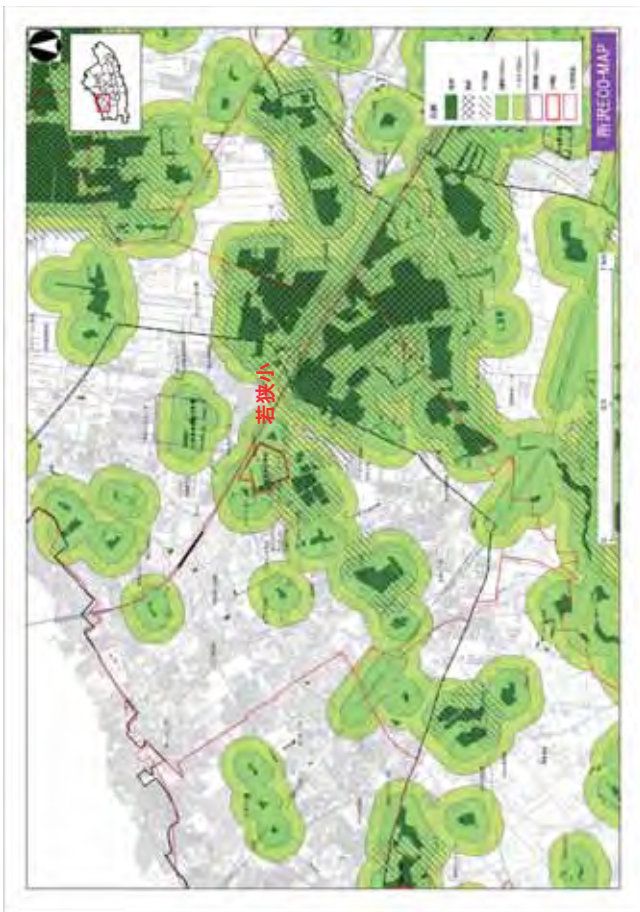


⑤



■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 周辺に樹木が多く、まちなかの樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になっています。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。

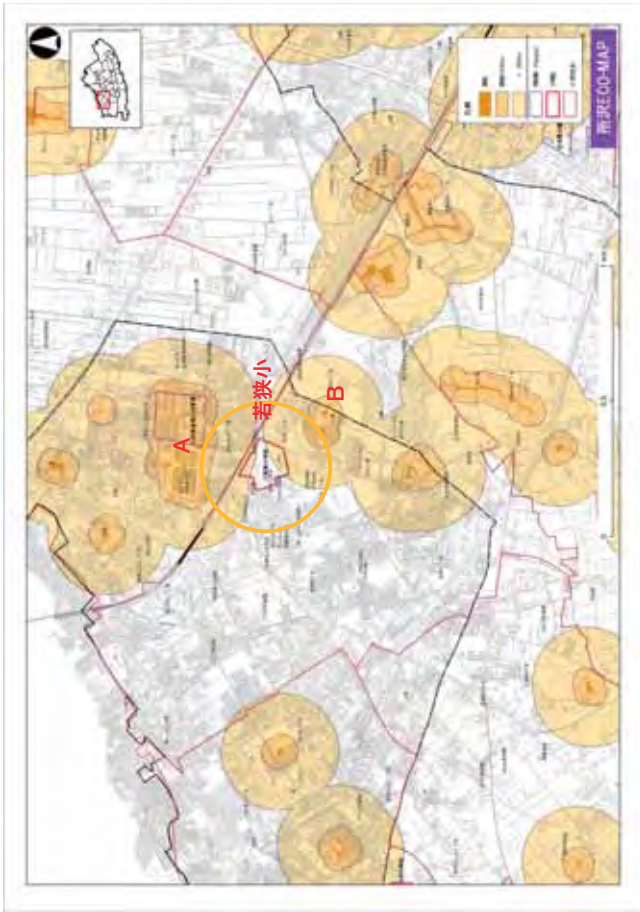


■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★ なかなか見られない	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ツグミ メジロ カワセミ	枯れ木に穴をあけて虫をとり ヤブを好む	鳥類 カシキ カケス ヤマガラス エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ イニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラビロカマキリ カナブン ジョロウグモ	幼虫はミカンの仲間の葉を食べる 幼虫はスズメの仲間の葉を食べる 幼虫はマメの仲間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	爬虫類 アオダイショウ ツグミ シロビタキ カワセミ	多くの生きものが入ることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 若狭小から半径 200mの円を描くと、北にある草地 (A) や南にある草地 (B) から 200mの円に重なり、チョウなどがやってくる可能性のある場所に位置していることがわかります。



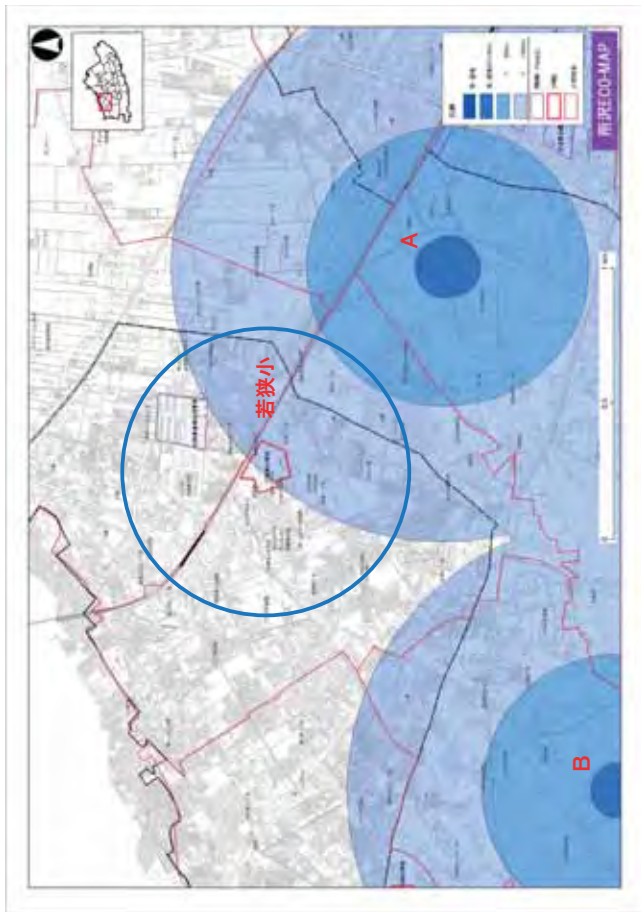
■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★ なかなか見られない	備考
哺乳類 ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	鳥類 キジ カシ モズ ヒバリ	
爬虫類 カサヘビ	カサヘビ	爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ	
両生類 ホトトギス	ホトトギス	両生類 ホトトギス	
昆虫類 キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨリウハバタ オノハラバタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ	キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨリウハバタ オノハラバタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ	鳥類 キジ カシ モズ ヒバリ	備考 水辺と草地を移動 幼虫はアブラノキを食べる 幼虫はスズメ、キジギシ、ノドアゲオウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナムグラの葉を食べる



水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、若狭小から半径 500m の円を描くと、調整池（A）から 500m の円と重なり、イトトンボやシオカラトンボなどがやっつきやすい場所に位置していることがわかります。

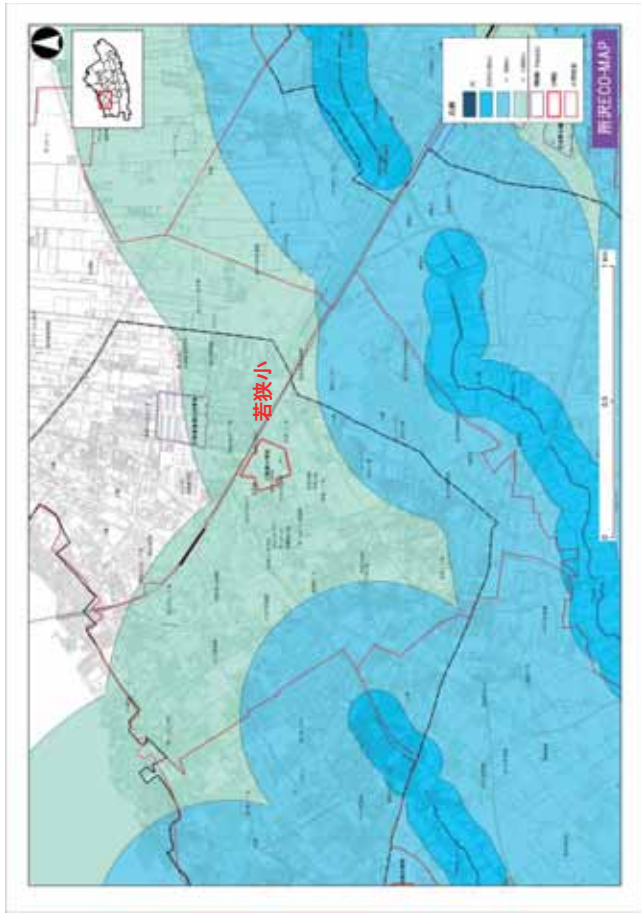


■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カウセミ	
ハウセキレイ		キセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アジアイトトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チョウトンボ	池に生息
シオカラトンボ	"	ハシロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ（渾流）に生息
シシアキトンボ	"		
シヨウジョウトンボ	"		
アキアカホ	"		

水辺のつながり（川・流れ）

- 若狭小がある場所は本来、台地上の水辺が少ない場所ですが、砂川堀から 1,000m 以内にあり、池をつくると川からシオカラトンボなどのトンボ類がやってくる可能性があります。





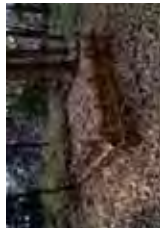
## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 学習林の林内の植物育成

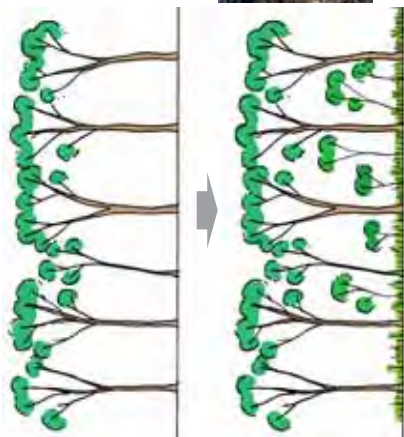
- ・雑木林の下に草や低木が生えるように土を柔らかくし、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の奥の奥の低木を植栽すること、鳥や昆虫などの多くの生きものがすめるようになりま
- す。
- ・また、落ち葉も全て取り除くのではなく、そのまま残して土壌にすることで、生きものやすみやすい環境にすることができま
- す。
- ・現在も落ち葉をためてカブトムシの幼虫が育つ場所をつくっていま
- すが、これを継続することが望まれます。



カブトムシ



落ち葉溜め(カブトムシの幼虫)



### 林のつながり

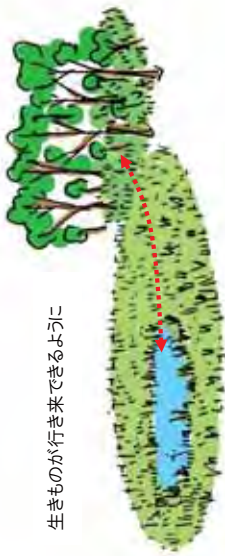


### 水辺のつながり



### 3. 草地・林とつながる池の創出

- ・本校が立地する環境は本来水辺の少ない台地なので、池をつくる優先順位は低いと考えられます。池をつくる場合には、草地のピオトープや学習林と連続する場所につくり、アズマヒキガエル、アマカエル等の水辺と草地、林を行き来する生きものも生育できるようにすることが望まれます。



生きものが行き来できるように

### 4. プールのヤゴの救出

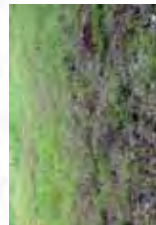
- ・6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ 20～30cm 程度にし、ヤゴを捕まえます。
- ・捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



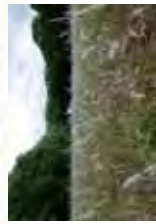
モンヤンマ

### 2. ピオトープの草地の管理

- ・既に草地型のピオトープがあり、見られる生きものを示すなど、これをうまく活用しています。場所によって草刈の頻度を変えて、草丈の高い草地や低い草地とするなど、多様な草地環境を創出することが望まれます。
- ・また、林の中の草地とつながることも効果的と考えられます。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5～6月・8月・10～11月



草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5～6月・10～11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10～11月

### 5. 樹木への名札かけ

- ・在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。





## 泉小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

①敷地の西に雑木林に見られる木が植えられて、小さな林になっています。

#### 草地

②③校舎の前には、アズマネザサやススキ草地在り作られています

#### 水辺

④⑤校舎の前には小さな水田や、池があります。かつては、水辺のビオトープがつくられていました



①



②



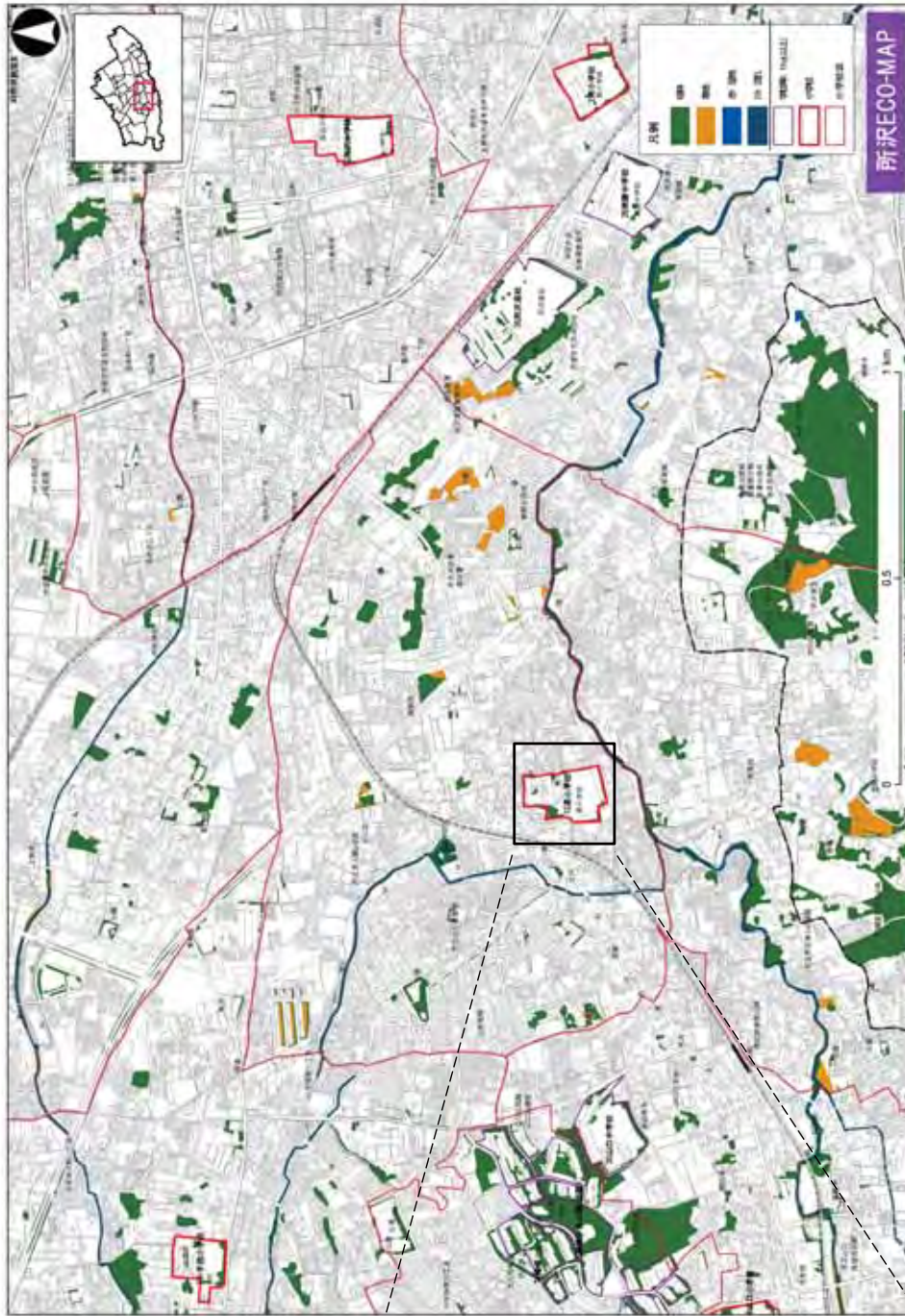
③



④



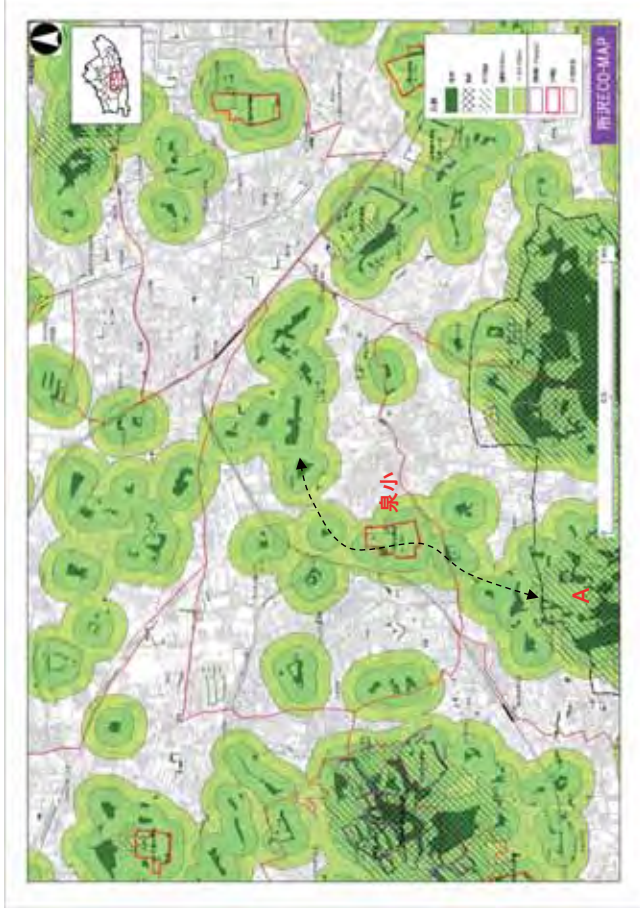
⑤





■ 周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- ・狭山丘陵 (A) から樹林を伝って小鳥などがやってきやすい場所に位置しています。また、狭山丘陵からまちなかに向かう林のつながり (図中矢印) の一部を担っています。

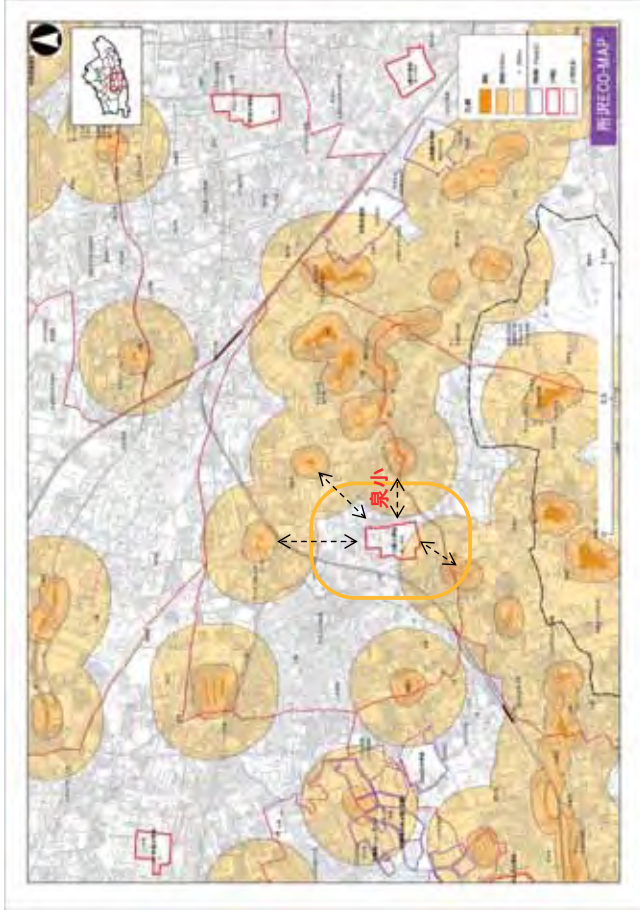


■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワラヒワ	枯れ木に穴をあけて虫を食る  ヤブ愛好む	ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ	森の中のヤブを好む  多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が重要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ
アオスジアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの中の葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する  " " " コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ
哺乳類		哺乳類	
鳥類		鳥類	
爬虫類		爬虫類	
両生類		両生類	
昆虫類		昆虫類	

草地のつながり

- ・泉小から200mの範囲を描くと、周辺の草地から200mの円に重なり、チョウなどがやってくる可能性がある場所位置していることがわかります。また、草地のつながりを高める場所に位置しています (図中矢印)。



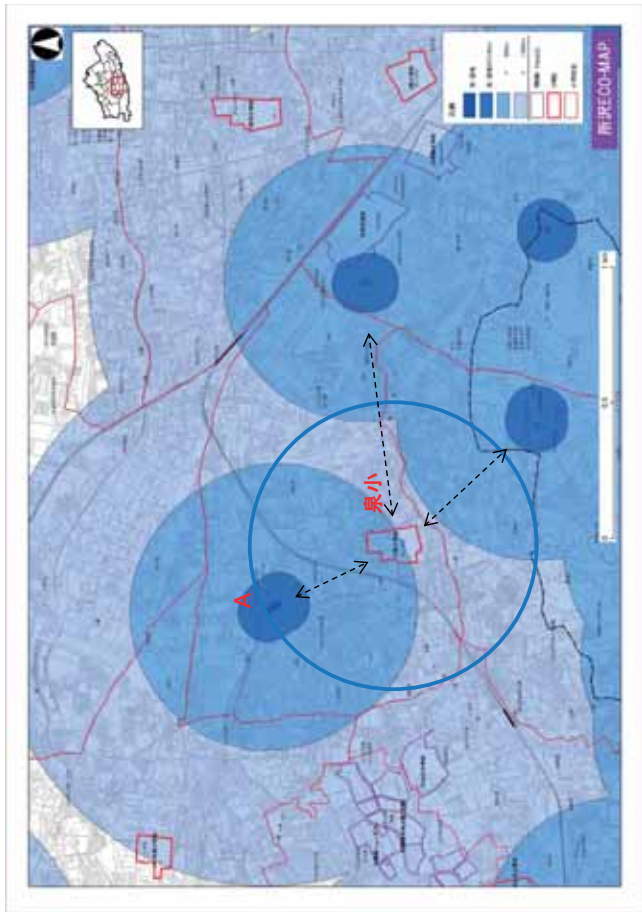
■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ	哺乳類	ウサギ キジ モズ ヒバ
爬虫類		爬虫類	シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ
両生類		両生類	ヒガシキリギリス チヨウセンカマキリ ニホヒミツバチ
昆虫類		昆虫類	



水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、泉小から半径500mの円を描くと、3か所の調整池から500mの円と重なり、イトトンボやシオカラトンボなどがやっつきやすい場所に位置していることがわかります。泉小に池をつくれれば、孤立していた調整池（A）と他の調整池の水辺がつながります。

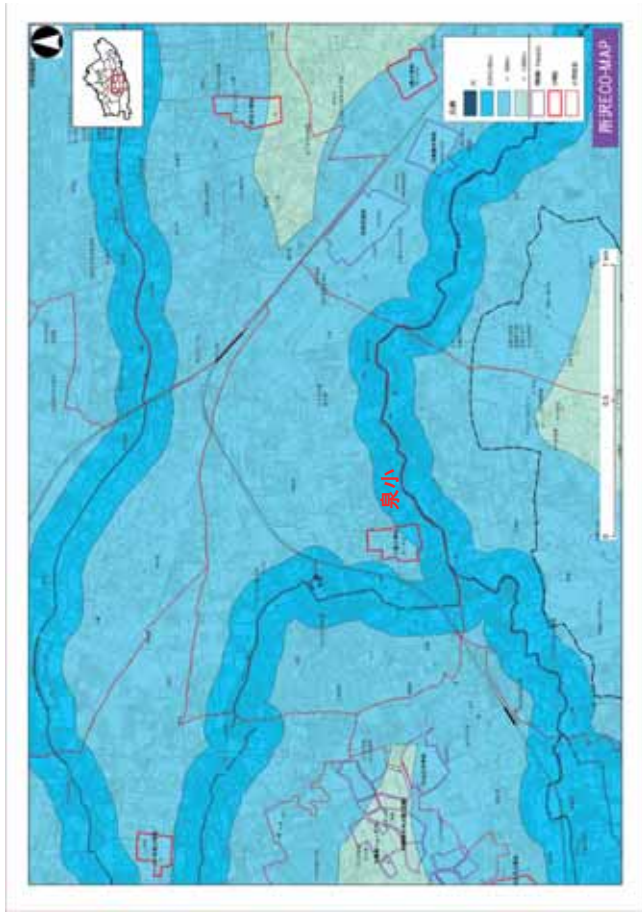


■ 学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	なかなかに見られない	備考
鳥類 カルガモ コサキ ハウセキレイ		イタチ	
両生類 アジアカゲル ニホシマカゲル アジアカゲル	水辺と草地を移動	カワセミ キセキレイ	
昆虫類 ゲンヤンマ シオガトンボ ウスハキトンボ コシアキトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	池に生息 " " " " " "	ヤマカガシ アズマヒキガエル チヨウトンボ イトトンボ オニヤンマ	水辺や草地に生息 水辺と草地、樹林地を移動 池に生息 流れに生息 流れ（渓流）に生息

水辺のつながり（川・流れ）

- 柳瀬川から100m以内にあり、ハグロトンボなどがやっつきやすい場所に位置しています。また、環境の良い池や巣づくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。





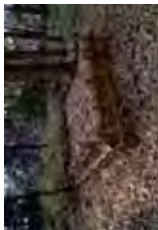
## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 校舎西側の雑木林の林内の植物育成

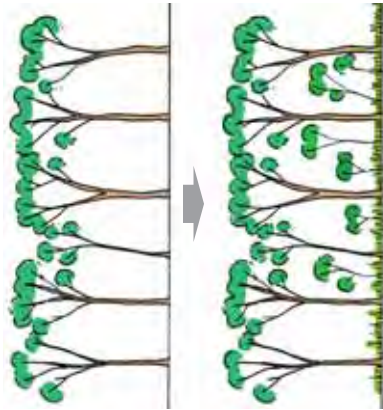
- 校舎の西側に雑木林があり、学校の中の緑としては特筆すべき場所になっています。
- 現在も雑木林の下にササなどが少し生えています。歩くルートを決めたり、土を柔らかくすることににより、さらに草や低木が生えるようになります。鳥や昆虫などの多くの生きものがすめるようになります。
- また、落ち葉も全て取り除くのではなく、そのまま残して土壌にすることで、生きものやすみやすい環境にすることが出来ます。
- 現在も落ち葉をためてカブトムシの幼虫が育つ場所にすることも出来ます。



カブトムシ



落ち葉溜め(カブトムシの幼虫)



### 2. ピオトーブの草地の計画的な管理

- 校舎の前にススキやササなどの草地があることは、他校では見られない本校だけの優れた特徴です。今後も多様な草地環境をつくることを目標に、場所によって草刈の頻度を変えるなどしていくことが望まれます。



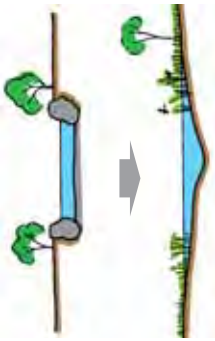
<p>草丈の低い草地 スミシ・カタバミなど 草刈年3回程度 5~6月・8月・10~11月</p>	<p>草丈のやや高い草地 チガヤなど 草刈年2回程度 5~6月・10~11月</p>	<p>草丈の高い草地 ススキなど 草刈年1回程度 10~11月</p>
--	--	---

### 水辺のつながり



### 3. ピオトーブの水辺の再生

- 校舎の前にあるピオトーブの池は、現在水がなくなっています。校舎の前には水辺のつながりの拠点になる場所になっています。再生することから、雨水を用いた給水や井戸水の供給などを検討し、再生することが望まれます。
- この池を、浅くならぬ池に改修することで、トンボ類などがやってくると思えます。また、安全性も高まり、子どもたちが水辺に近づけるようになり、観察等に活用できるようにします。



### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。





## 安松小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

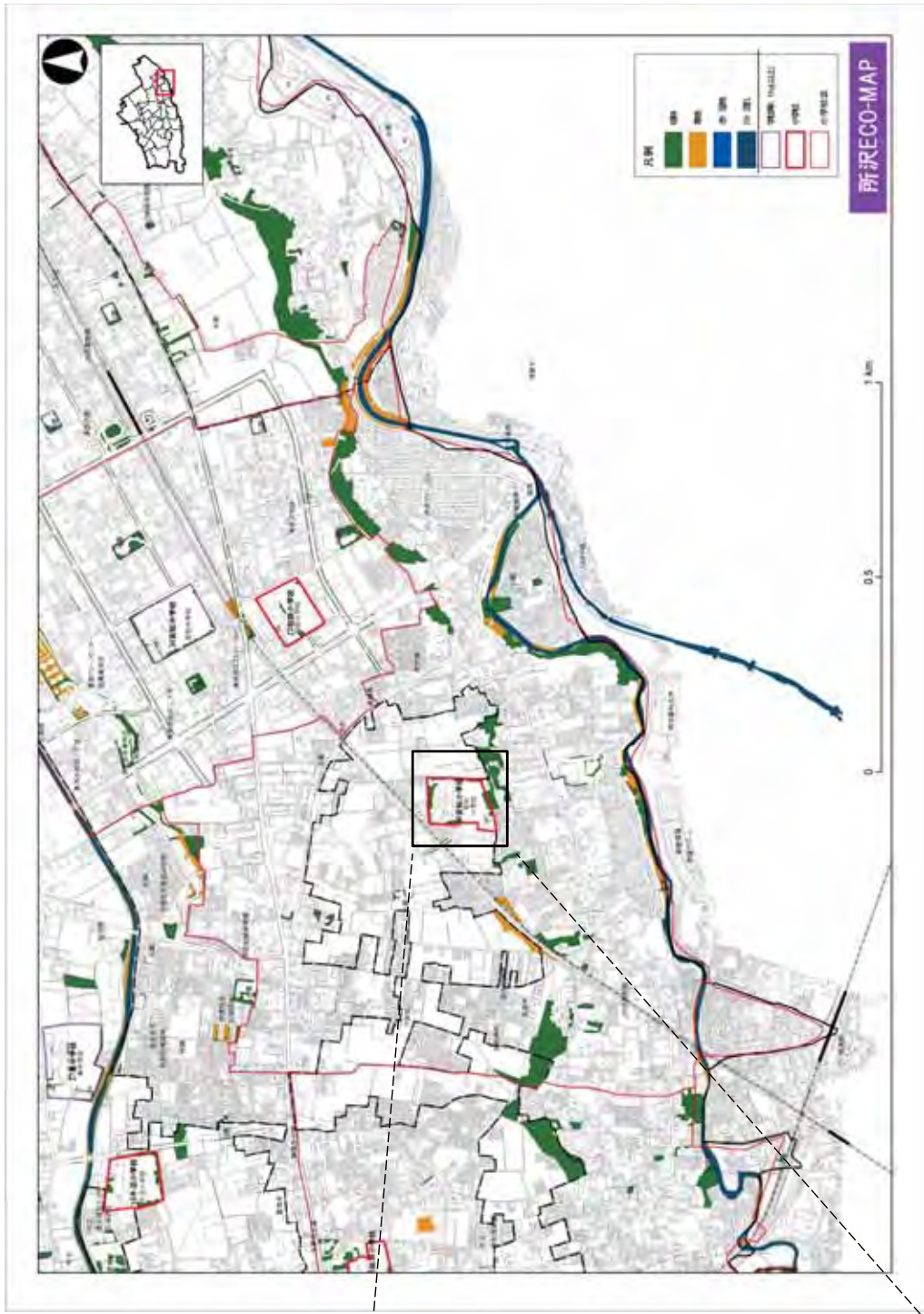
①敷地北側に隣接する樹林は、学習林として利用されています  
 ②敷地内には、ソメイヨシノ、イチヨウ等の大きな樹木が見られます

#### 草地

③敷地東側の農地との隣接地は、ツル植物が多く、生物の生息空間となっています

#### 水辺

⑤校舎の中庭には雨水を利用した水辺のビオトープがあります





■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 柳瀬川の斜面林に近く、カブトムシなどの昆虫や小鳥がやっつきやすい場所に位置しています。

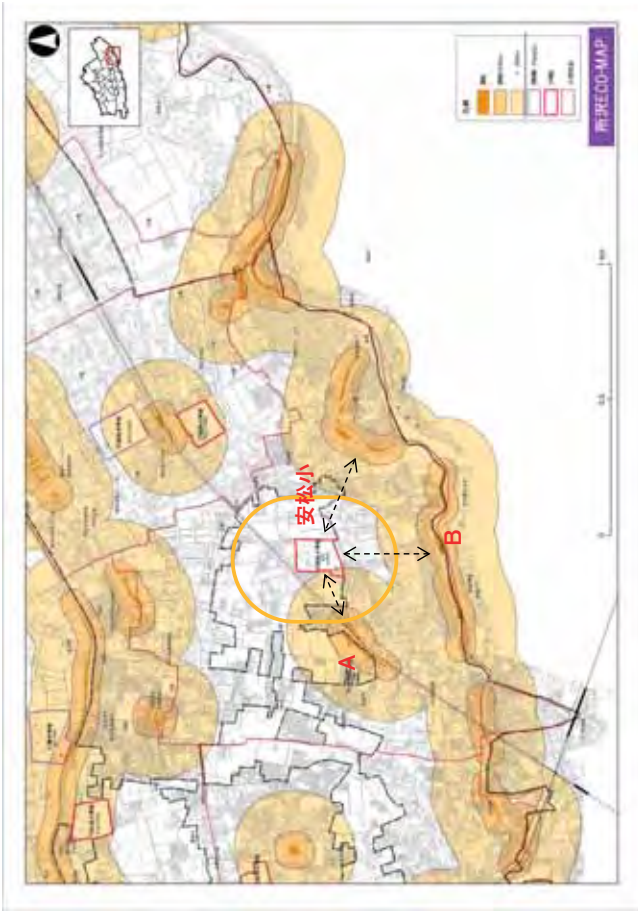


■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	なかなか見られない	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カウレヒヨ	枯れ木に穴をあけて虫をとり  ヤブを好み	鳥類 カシキ カケス ヤマガラス エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好み  多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要
昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシホウセンカ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの中の葉を食べる 幼虫はスズメの仲間の葉を食べる 幼虫はマメの仲間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する  コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	爬虫類 アオダイショウ アマガエル カマシジミ ミズイロオナガシジミ コマダラゾウ ヒゲラシ カブトムシ コクワガタ ノコギリクワガタ ハヤトマムシ ニホンミツバチ ナナフシ	幼虫はアブラムシ、等を食べる 幼虫はスズメ、ギンギシ、ノダイオウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナムシの葉を食べる  幼虫は枯れ木の中で育つ ハラノ科植物、クヌギ、コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 安松小から半径200mの円を描くと、西にある草地(A)や柳瀬川の草地(B)から200mの円に重なり、チョウなどがやってくる可能性の高い場所に位置していることがわかります。



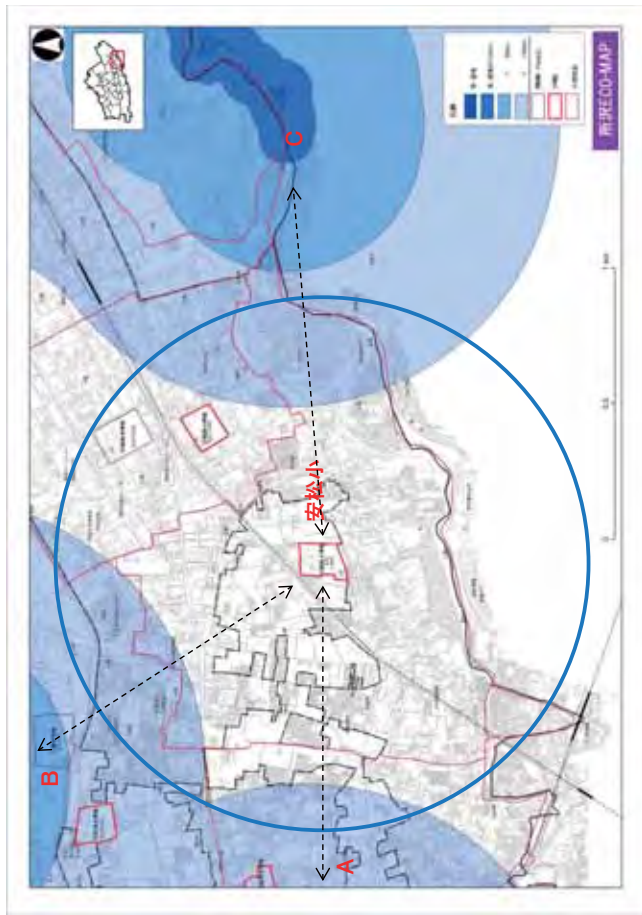
■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	なかなか見られない	備考
哺乳類 ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カウレヒヨ		哺乳類 ウサギ キジ カシ モズ ヒバリ	
爬虫類 カナヘビ		爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ	
両生類 ホトトギス アマガエル	水辺と草地を移動	両生類 アマガエル	
昆虫類 キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ トンブハツタ トヤマハツタ エンマコオロギ ツユムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテンノウ ナナホシテントウ クロオアリ	幼虫はアブラムシ、等を食べる 幼虫はスズメ、ギンギシ、ノダイオウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナムシの葉を食べる	哺乳類 ウサギ キジ カシ モズ ヒバリ  爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ  両生類 アマガエル	



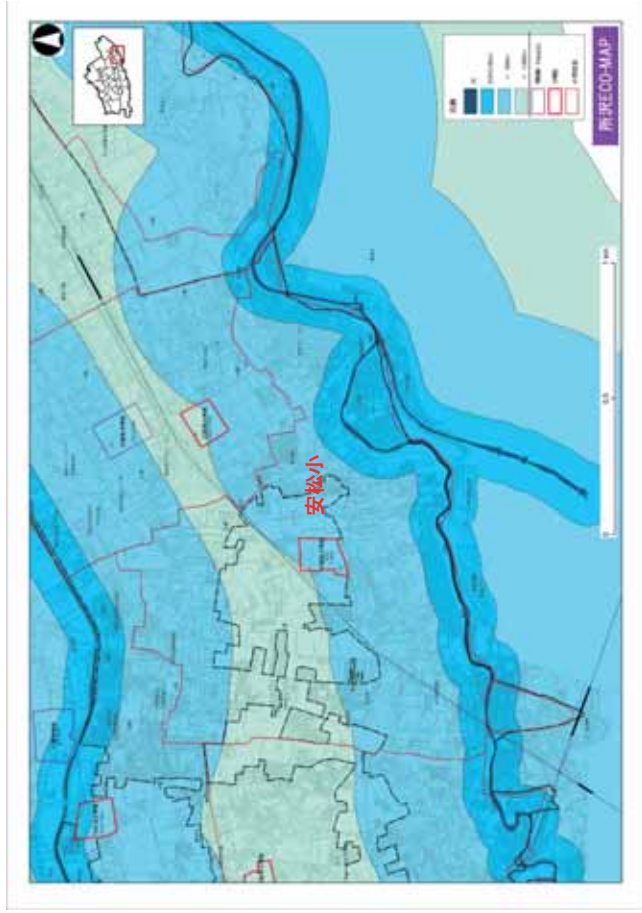
水辺のつながり (池・湿地)

- 安松川から半径 1000mの円を描くと、調整池 (A) や調節池 (B) (C) から 1000mの円と重なり、シオカラトンボなどがやっつきやすい場所に位置していることがわかります。また、安松川はこれらの池の水辺のつながりをつくる場所に位置しています。



水辺のつながり (川・流れ)

- 柳瀬川から 500m以内にあり、環境の良い池や築づくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも

鳥類	備考
カルガモ	
コサキ	
ハクセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動
アジイトンボ	池に生息
キンヤンマ	"
シオカラトンボ	"
ウスハキトンボ	"
コシアキトンボ	"
シヨウジョウトンボ	"
アキアカホ	"

★★ なかなか見られない

哺乳類	イタチ	備考
カワセミ		
キセキレイ		
ヤマカガシ		
アズマヒキガエル	水辺や草地に生息	
チョウトンボ	池に生息	
ハクシロトンボ	流れ(滞流)に生息	
オニヤンマ		



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 学校林の維持

- 本校の南にある学校林は、柳瀬川の斜面林の一部で、林のつながりから見て、多くの生きものが訪れやすい林です。
- 現在行われている管理は、生きものの生息に配慮した草刈など優れたものであることから、これを継続しておくことが望まれます。また、この実績を他校へ紹介するなどして広げていただくことを期待します。



林のつながり

水辺のつながり



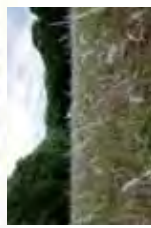
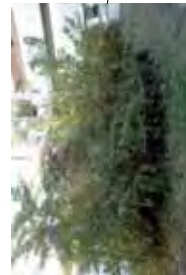
### 4. ピオトープの水辺の再生

- 中庭にあるピオトープの池は、草に覆われて水面が見えなくなっています。雨水を用いた給水や井戸水の供給などを検討し、水面を確保することが望まれます。



### 2. ピオトープの周辺の草地の保全

- 中庭にあるピオトープの周辺の草地をできるだけ広く確保し、場所によって草刈の頻度を変え、多様な草地環境をつくることが望まれます。



草丈の低い草地 スミレ・カタバミなど 草刈年3回程度 5~6月・8月・10~11月	草丈のやや高い草地 チガヤなど 草刈年2回程度 5~6月・10~11月	草丈の高い草地 ススキなど 草刈年1回程度 10~11月
--	--	---------------------------------------



ヤマトジミ



ジャマトチヨウ

### 3. 学校外周のツル植物の維持

- 敷地東側のフェンスには、多様なツル植物が見られます。これは、自然の中でマント群落やソテ群落というものに類似しており、チョウやバッタ、カマキリなどの昆虫類のすみかになることから、これを維持することが望まれます。



草地のつながり

### 5. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ゲンヤンマ

### 6. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。





## 美原小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

- ①敷地の西に雑木林に見られる木が植えられて、小さな林になっています。
- ②ソメイヨシノやクスノキ、イチヨウなどの木が大木になっており、風格を感じる緑になっています。

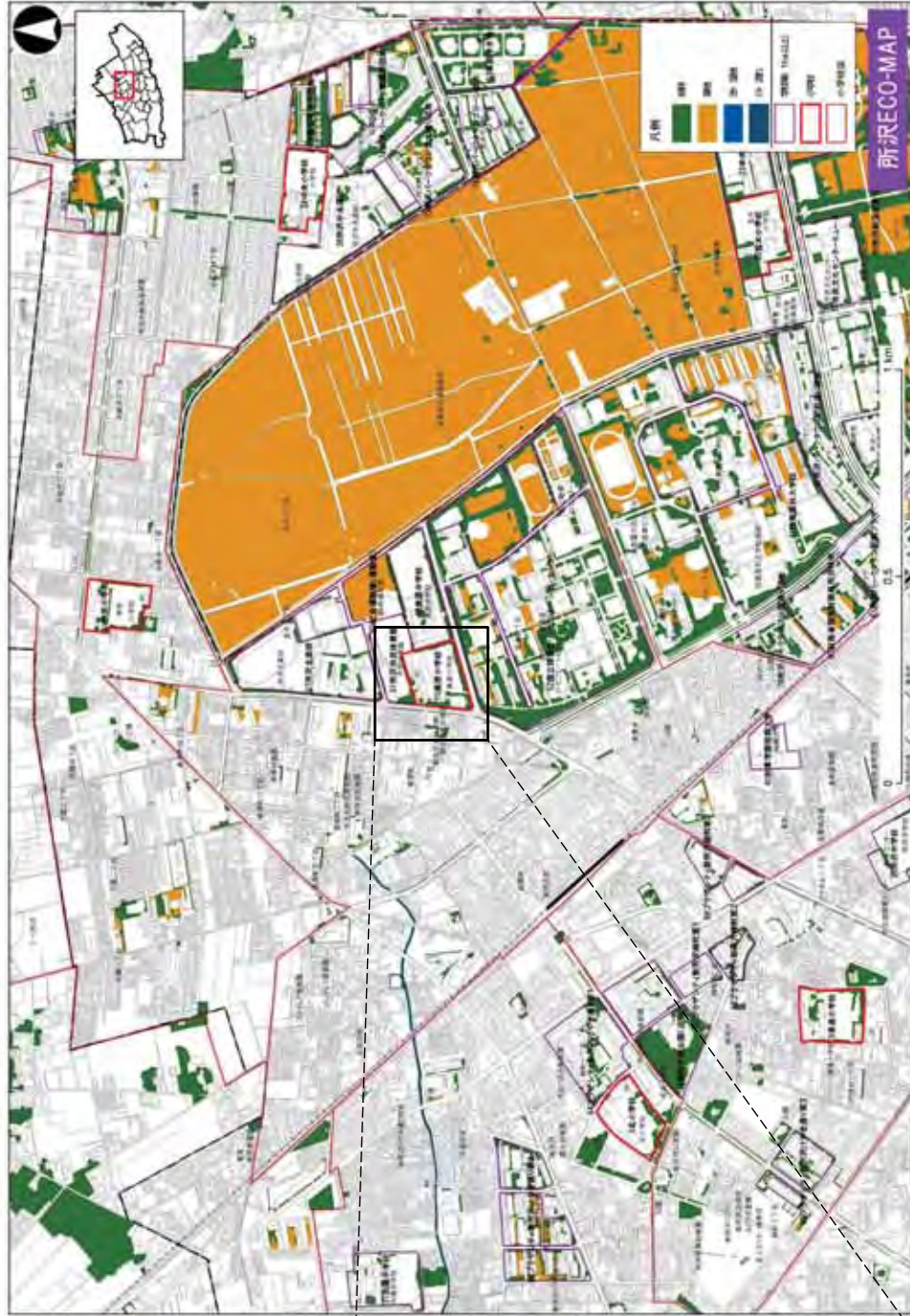
#### 草地

- ③プールの裏に草地が見られます。

- ④体育館との境界にツル植物が見られます

#### 水辺

- ⑤校舎の前に小さな池があります。



①



②



③



④



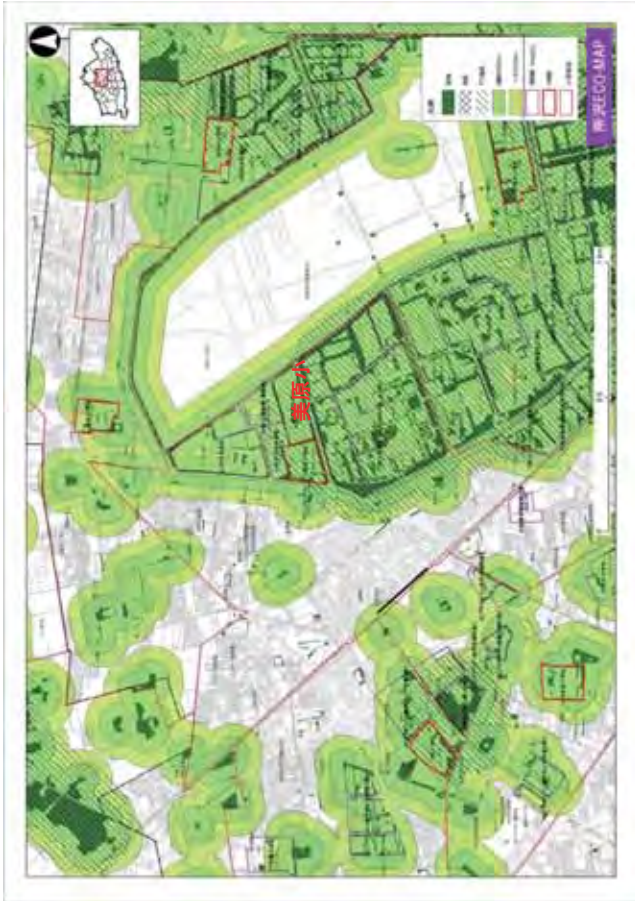
⑤



■周辺の自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に樹木が多く、まちなかの樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になります。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワラヒワ	枯れ木に穴をあけて虫をとり ヤブを好み
昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ イニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワガタ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの中間の葉を食べる 幼虫はスズメノキやアブラノキの葉を食べる 幼虫はマメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ コナラ・クヌギなどの樹液に集まる

★ 探せばいるかも

探せばいるかも	備考
哺乳類 鳥類 カキコウ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好み
爬虫類 アオダイショウ	多くの生きものがいることが必要
両生類 アズマヒキガエル	林の近くに池が必要
昆虫類 アゲハ ミズイロオナガシジミ ゴダラチヨウ ヒゲナラ カブトムシ コクワガタ	幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " "
哺乳類 鳥類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラノキの葉を食べる 幼虫はスズメ、ギンギン、ノダイオウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナムグラの葉を食べる

★ 探せばいるかも

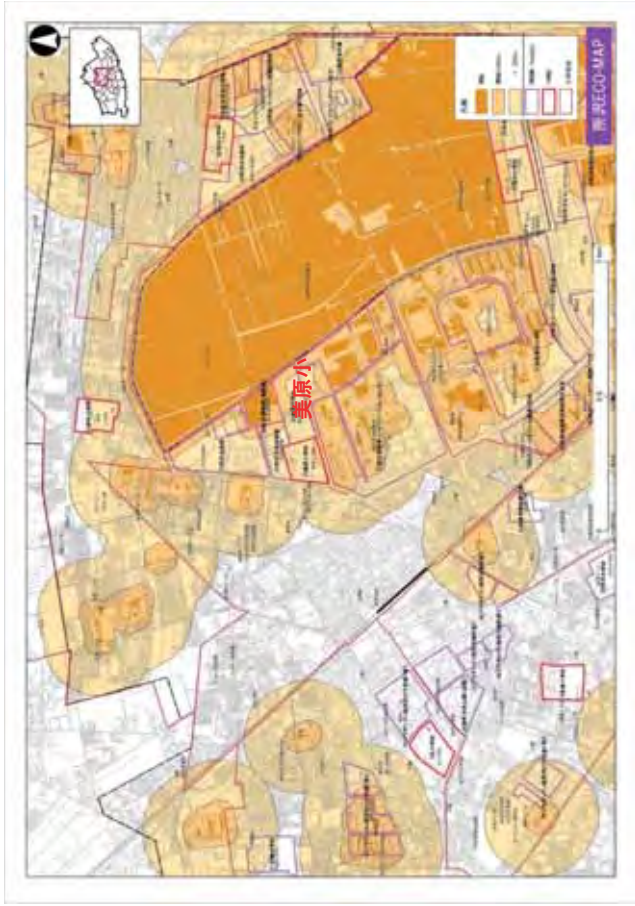
探せばいるかも	備考
哺乳類 鳥類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラノキの葉を食べる 幼虫はスズメ、ギンギン、ノダイオウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナムグラの葉を食べる
爬虫類 両生類 昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨロウハシタ トンブハシタ トナヤマハシタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラノキの葉を食べる 幼虫はスズメ、ギンギン、ノダイオウを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナムグラの葉を食べる

★ なかなか見られない

なかなか見られない	備考
哺乳類 鳥類 ウサギ キジ カキコウ モズ ヒバリ	
爬虫類 アオダイショウ ヤマカガシ	
両生類 アズマヒキガエル	
昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨロウハシタ トンブハシタ トナヤマハシタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	

草地のつながり

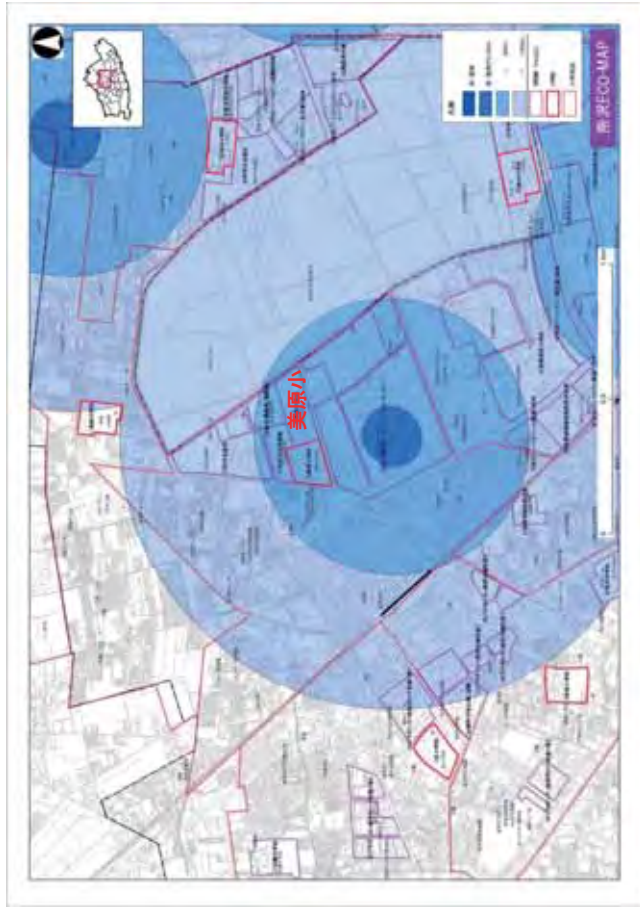
- 敷地から50m以内に草地があり、バッタ類などの昆虫や草地のチョウがやってきやすい場所に位置しています。





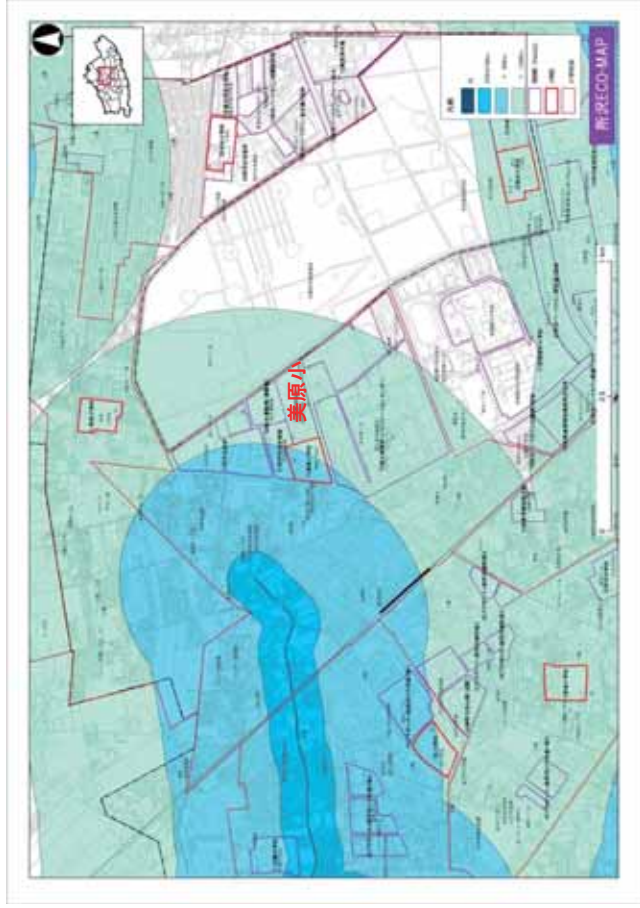
水辺のつながり（池・湿地）

- リハビリテーションセンターの池から 500m以内であり、イトトンボやシオカラトンボなどがやがてきやすい状況です。



水辺のつながり（川・流れ）

- 砂川堀から 500m以内であり、砂川堀の自然が高まりカワセミが息すれば、環境の良い池や巣づくり適した土の崖をつくることにより、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カワセミ	
ハウセキレイ		キセキレイ	
アジアカマエル	水辺と草地を移動	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
シオカラトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チョウトンボ	池に生息
シオガフトンボ	"	ハシロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ(渓流)に生息
シロアキトンボ	"		
アキアカホ	"		



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 敷地西側の雑木林の林内の植物育成

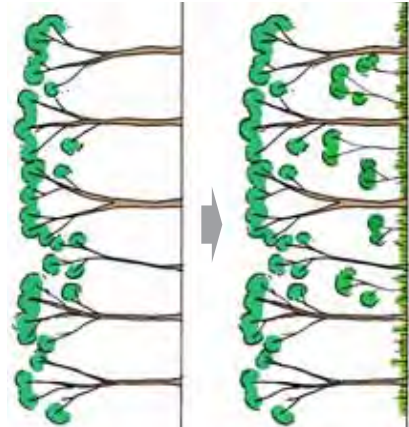
- 雑木林の下に草や低木が生えるようになります。鳥や昆虫などの多くの生きものがすめるようになります。
- また、落ち葉も全て取り除くのではなく、そのまま残して土壌にすることで、生きもののすみやすい環境にすることができます。
- 落ち葉をためて、たい肥化することによって、カブトムシの幼虫が育つ場所にすることもできます。



カブトムシ



落ち葉溜め(カブトムシの幼虫)



### 2. 外周部への草地づくり

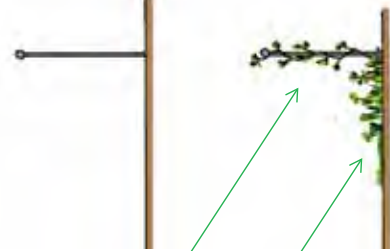
- 幅 50cm 程度でよいので敷地外周に草地をつくり、除草の回数を減らすことで、野草やチョウ、ハッタなどの観察ができるようになります。また、ツル植物などもそのまま周辺のフェンスに這わせることで、チョウなどがやってくるようになります。



キタテハ



ベニシジミ

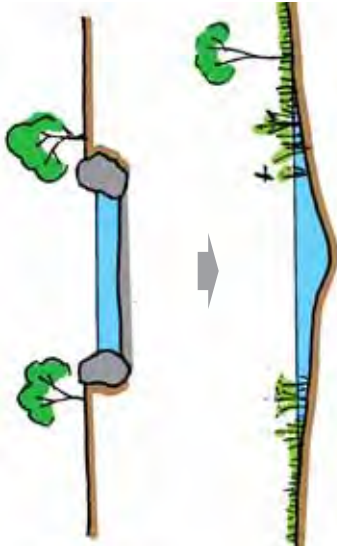


### 水辺のつながり



### 3. 池の改修

- 校舎の東側前面にある池には、外来種のおオオカナダモが生育し、鑑賞用のヒメダカやキンギョが生育しています。また安全のために、周辺がフェンスに囲まれています。
- この池を、浅くならかな池に改修することで、トンボ類などがやってくると思われれます。また、安全性も高まり、子どもたちが水辺に近づけるようになり、観察等に活用できるようになります。



### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ 20~30cm 程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



キンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 林のつながり



### 草地のつながり





## 北秋津小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

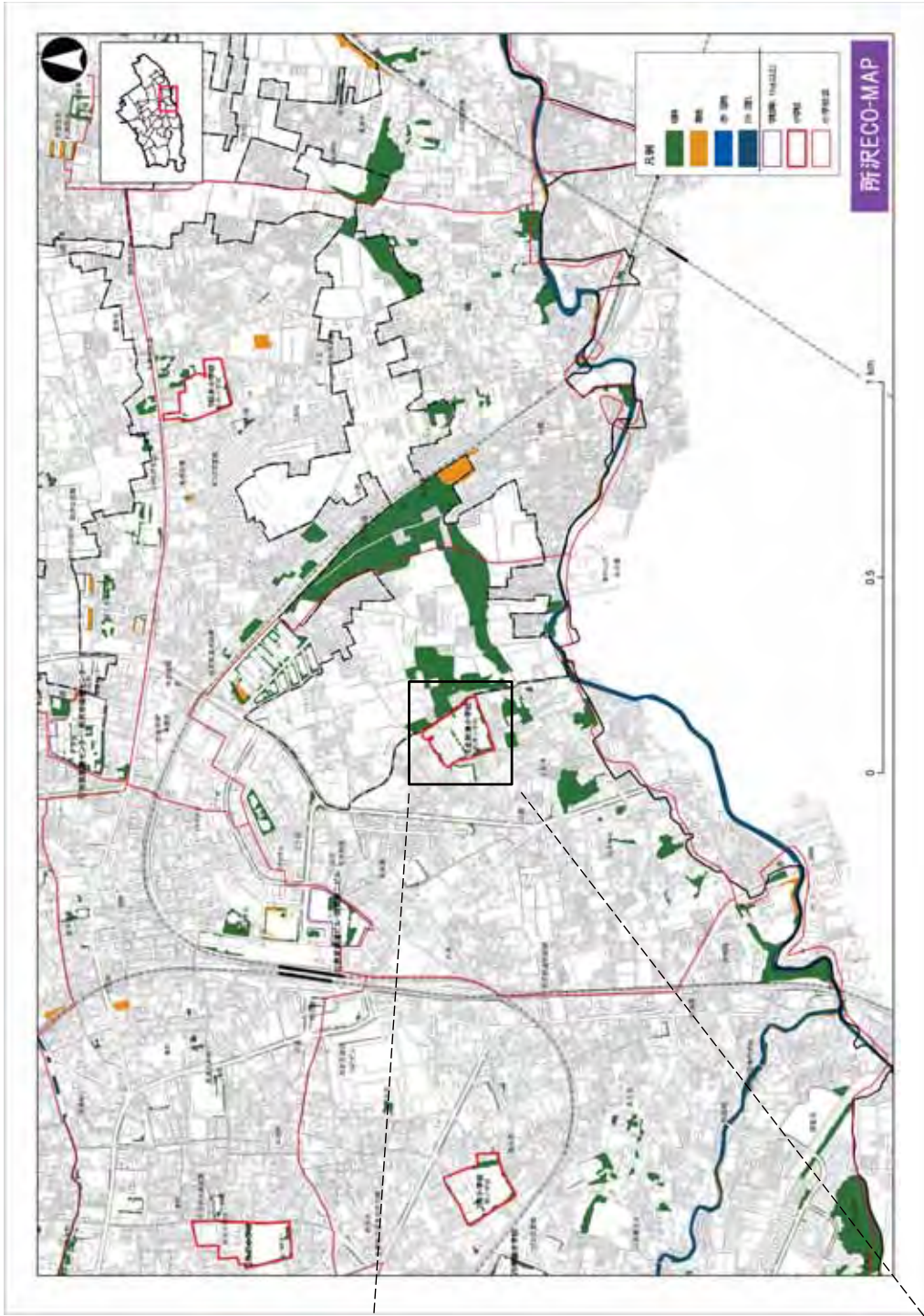
①②校庭西側の斜面に、エノキやクヌギ、マダケの生育する小規模な雑木林があります

#### 草地

③④校庭から一段上がった学校ファームの周辺が草地になります

#### 水辺

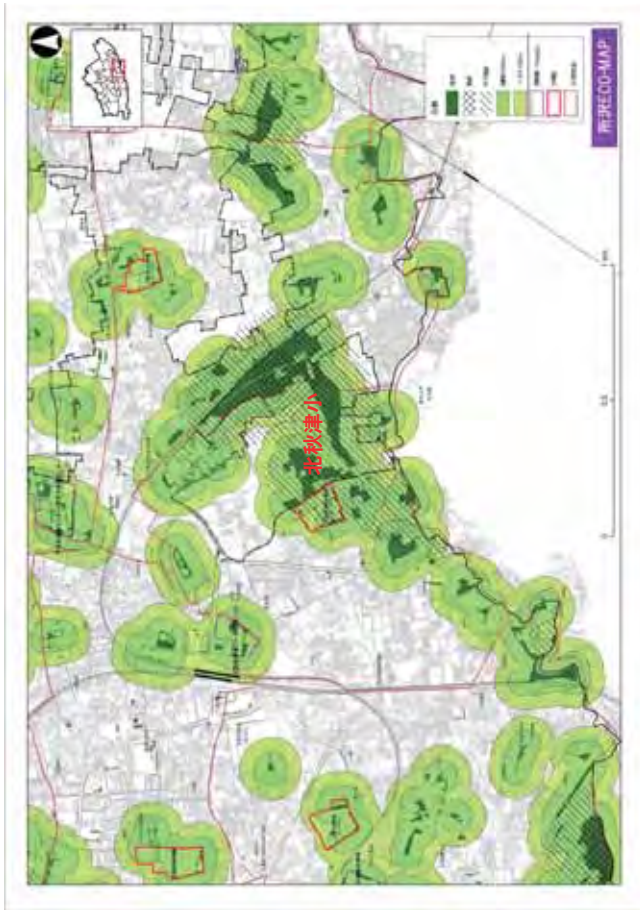
⑤校舎の前に小さな池があります。





■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 周辺に樹木が多く、樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になっています。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫を呼びやすい位置にあります。



■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	探せばいるかも	探せばいるかも
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワラヒワ	鳥類 カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	鳥類 カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ
昆虫類 アゲハ アオシジメ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	昆虫類 アゲハ アオシジメ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	昆虫類 アゲハ アオシジメ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ
哺乳類 タヌキ	哺乳類 タヌキ	哺乳類 タヌキ
両生類 アマガエル	両生類 アマガエル	両生類 アマガエル
爬虫類 アオダイショウ シヨウビタキ カワラヒワ	爬虫類 アオダイショウ シヨウビタキ カワラヒワ	爬虫類 アオダイショウ シヨウビタキ カワラヒワ
魚類 コナラ クヌギ	魚類 コナラ クヌギ	魚類 コナラ クヌギ
植物類 コナラ クヌギ	植物類 コナラ クヌギ	植物類 コナラ クヌギ
キノコ類 シロコシ アケボノ	キノコ類 シロコシ アケボノ	キノコ類 シロコシ アケボノ
その他 コナラ クヌギ	その他 コナラ クヌギ	その他 コナラ クヌギ

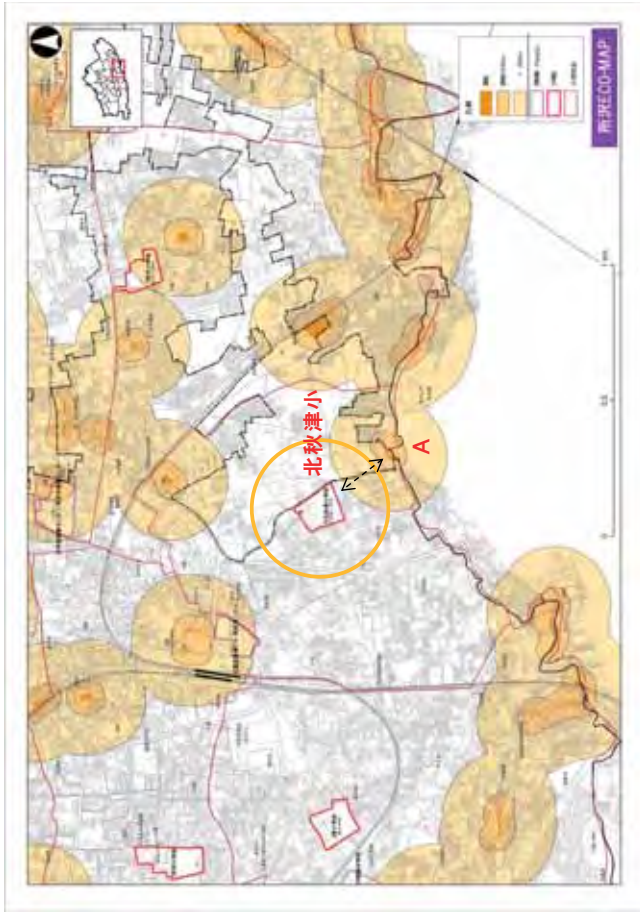
★ 探せばいるかも

★ 探せばいるかも

★ 探せばいるかも

■周辺の自然とのつながり  
草地のつながり

- 北秋津小から半径 200mの円を描くと、柳瀬川の草地（A）から 200mの円に重なり、チョウなどを呼びやすい場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	探せばいるかも	探せばいるかも
哺乳類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ	哺乳類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ	哺乳類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ
鳥類 カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	鳥類 カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	鳥類 カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ
昆虫類 アゲハ アオシジメ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	昆虫類 アゲハ アオシジメ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	昆虫類 アゲハ アオシジメ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ
哺乳類 タヌキ	哺乳類 タヌキ	哺乳類 タヌキ
両生類 アマガエル	両生類 アマガエル	両生類 アマガエル
爬虫類 アオダイショウ シヨウビタキ カワラヒワ	爬虫類 アオダイショウ シヨウビタキ カワラヒワ	爬虫類 アオダイショウ シヨウビタキ カワラヒワ
魚類 コナラ クヌギ	魚類 コナラ クヌギ	魚類 コナラ クヌギ
植物類 コナラ クヌギ	植物類 コナラ クヌギ	植物類 コナラ クヌギ
キノコ類 シロコシ アケボノ	キノコ類 シロコシ アケボノ	キノコ類 シロコシ アケボノ
その他 コナラ クヌギ	その他 コナラ クヌギ	その他 コナラ クヌギ

★ 探せばいるかも

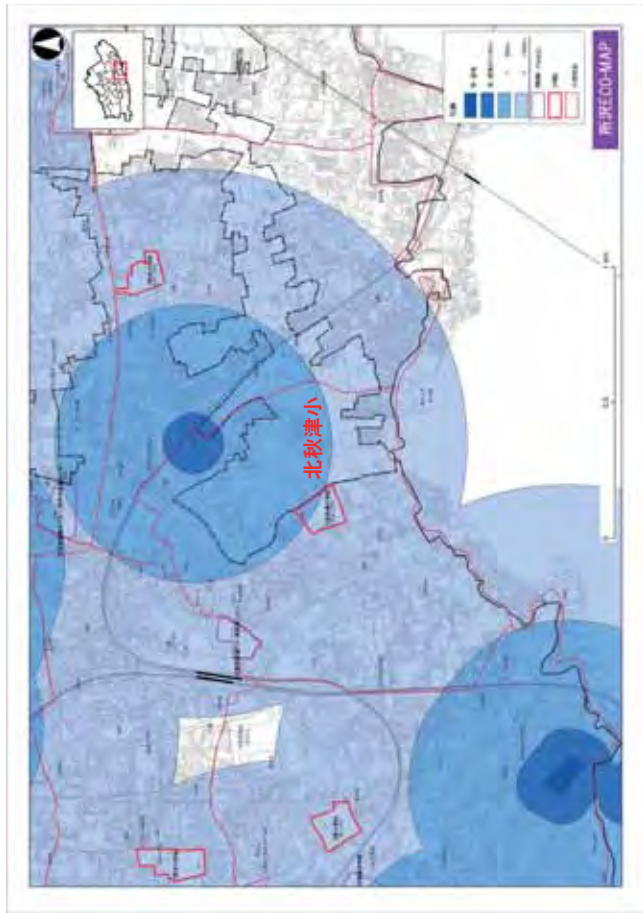
★ 探せばいるかも

★ 探せばいるかも



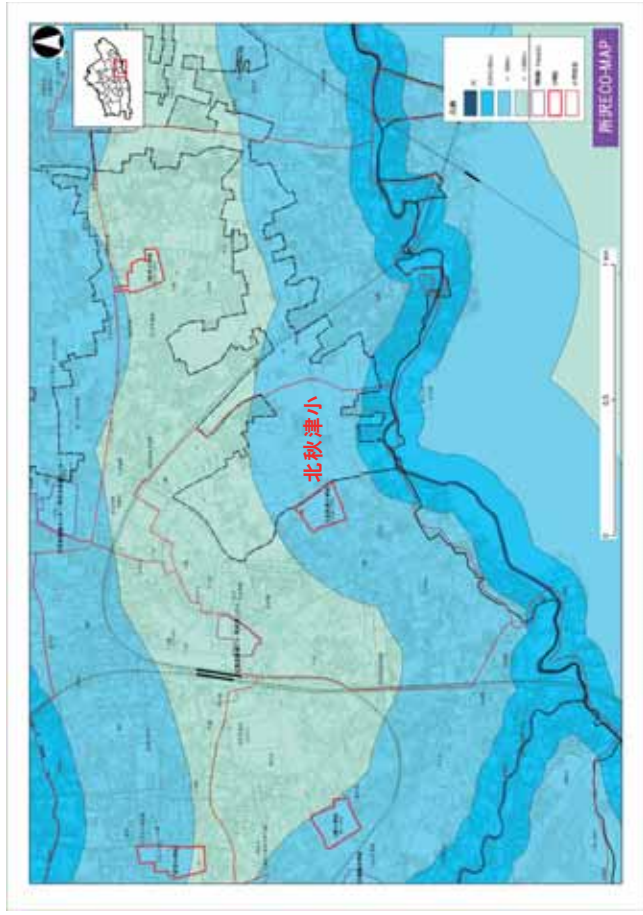
水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、調節池（A）から500m以内にあり、イトトンボやシオカトラトンボなどを呼びやすい場所に位置しています。



水辺のつながり（川・流れ）

- 柳瀬川から500m以内にあり、環境の良い池や巣づくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。川からシオカトラトンボなどを呼びやすい場所に位置しています。



■ 学校に呼びたい生きもの

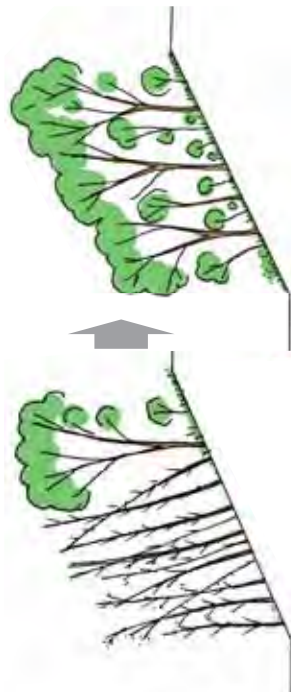
★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	カルガモ コサキ ハクセキレイ ニホンアマガエル アジアカラスカ キンヤンマ シオカトラトンボ ウスハキトンボ シオカトラトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	鳥類	イタチ カワセミ キセキレイ ヤマカガシ アズマヒキガエル チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ
両生類	ニホンアマガエル アジアカラスカ 池に生息	両生類	アズマヒキガエル 水辺や草地に生息 水辺と草地、樹林地を移動 池に生息
昆虫類	イトトンボ シオカトラトンボ ウスハキトンボ シオカトラトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	昆虫類	イトトンボ カワセミ キセキレイ ヤマカガシ アズマヒキガエル チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ
魚類	カルガモ コサキ ハクセキレイ ニホンアマガエル アジアカラスカ キンヤンマ シオカトラトンボ ウスハキトンボ シオカトラトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	魚類	イタチ カワセミ キセキレイ ヤマカガシ アズマヒキガエル チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ
植物類	カルガモ コサキ ハクセキレイ ニホンアマガエル アジアカラスカ キンヤンマ シオカトラトンボ ウスハキトンボ シオカトラトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	植物類	イタチ カワセミ キセキレイ ヤマカガシ アズマヒキガエル チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ
動物類	カルガモ コサキ ハクセキレイ ニホンアマガエル アジアカラスカ キンヤンマ シオカトラトンボ ウスハキトンボ シオカトラトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	動物類	イタチ カワセミ キセキレイ ヤマカガシ アズマヒキガエル チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ
その他	カルガモ コサキ ハクセキレイ ニホンアマガエル アジアカラスカ キンヤンマ シオカトラトンボ ウスハキトンボ シオカトラトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	その他	イタチ カワセミ キセキレイ ヤマカガシ アズマヒキガエル チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 校庭の林の管理

- 本校の校庭の西側にある林は、竹を伐採して、付近の雑木林からとってきたドングリから苗木を育てて、植えることによって、生きものが来やすい林にすることが出来ます。
- 竹を無くすためには、年2回程度（春、竹が伸びきった後数回）の伐採を数年続ける必要がありますが、これも身近な自然を知るための体験になると思われれます。



### 2. 一段上がった場所での様々な草地づくり

- 敷地南西角の一段上がった場所にある草地を育成します。場所によって草刈の回数などを変えたり、ススキやチガヤなどの種を撒いたりして、異なる草丈の草地をつくりまします。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



ヤマドリジミ

草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



ジャノメチヨウ

草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月



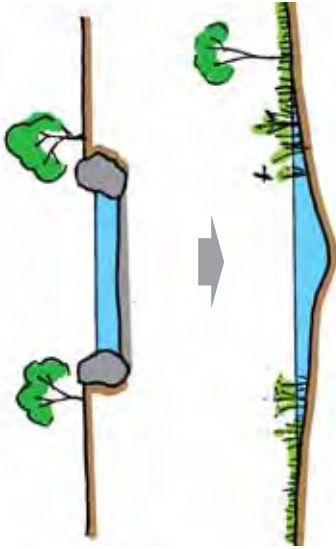
草地のつなかり

水辺のつなかり



### 3. 池の改修

- 校舎の北側にあるコンクリートの池をなだらかな土の岸辺の池に改修することで、トンボがやってくると考えられます。ただし、この池は日当たりのあまり良くない場所にあり、植物の生育などがあまり期待できないことから、実施の優先順位は低いものです。



### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ゲンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことが出来るようになります。





## 上新井小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

①②ソメイヨシノ、ケヤキなどが大きく成長し、風格のある緑になっています

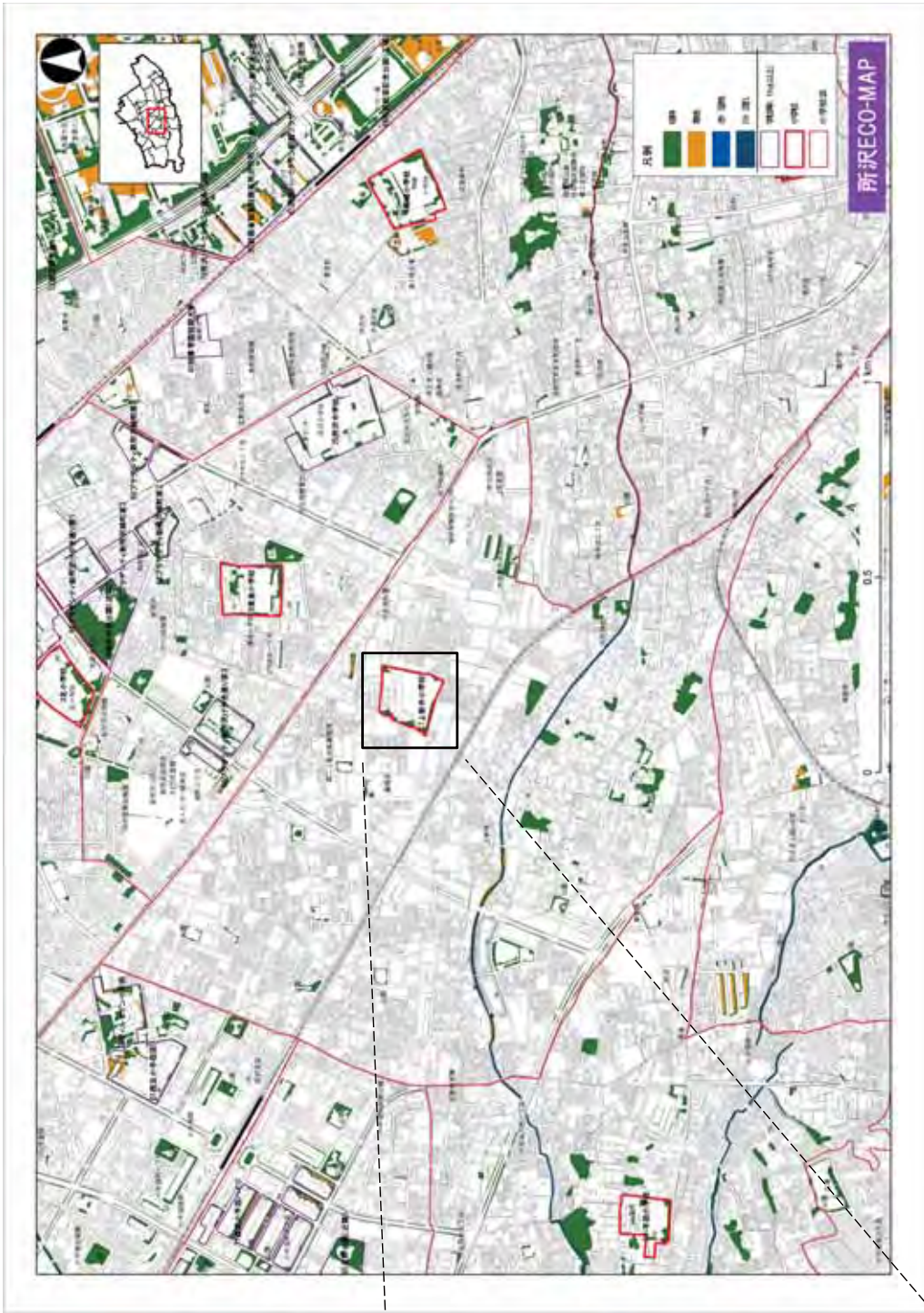
#### 草地

③立派なみどりのカーテンがつくられています

④校庭の一面に樹木の下に野草が生育する広場があります

#### 水辺

⑤校舎の前に小さな池があります。

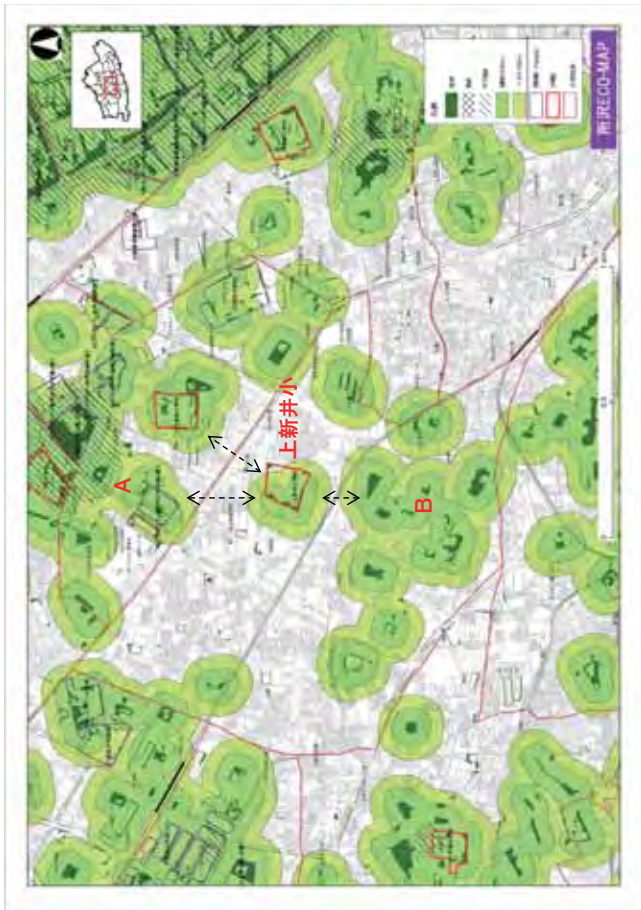




■ 周辺の自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に林が多く、小鳥などがやがてきやすい場所に位置しています。また、北の林のつながり（A）と南の林のつながり（B）の間に位置しています。

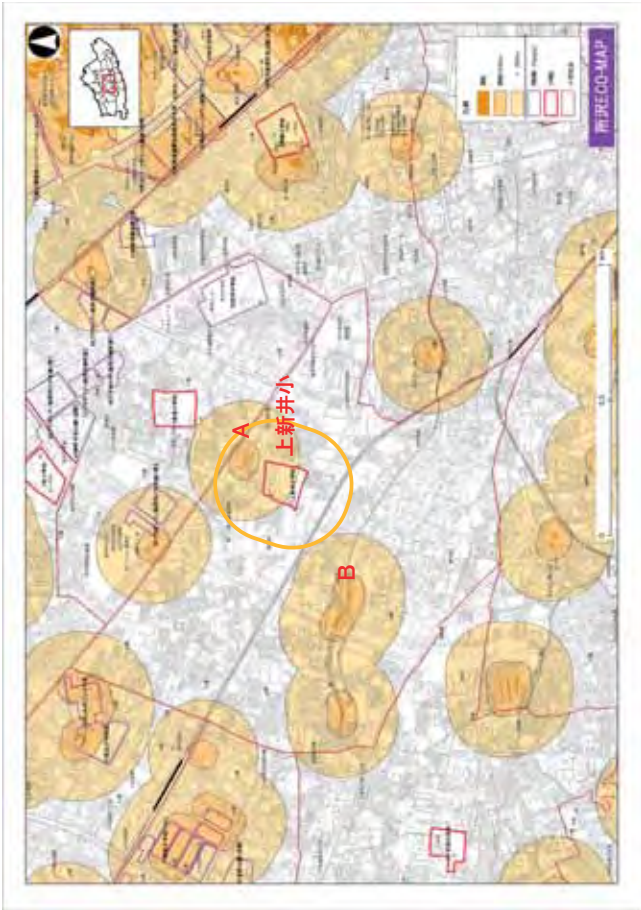


■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
哺乳類	鳥類	哺乳類	鳥類
キジバト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワホト	枯れ木に穴をあけて虫をとり ヤブ愛好む	カシノキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
アゲハ アオシジリアゲハ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの仲間の葉を食べる 幼虫はスズメの仲間の葉を食べる 幼虫はマメの仲間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	アオダイショウ アサマヒキガエル アマガエル ミズイロナガシジミ コマダラショウ ヒゲラン コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトタムシ ニホンミツバチ ナナフシ	多くの生きものが入ることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラノ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 周辺に草地が少ない状況ですが、上新井小から半径 200mの円を描くと、草地（A）や草地（B）から 200mの円に重なり、チョウなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、草地のつながりを高める場所に位置しています。



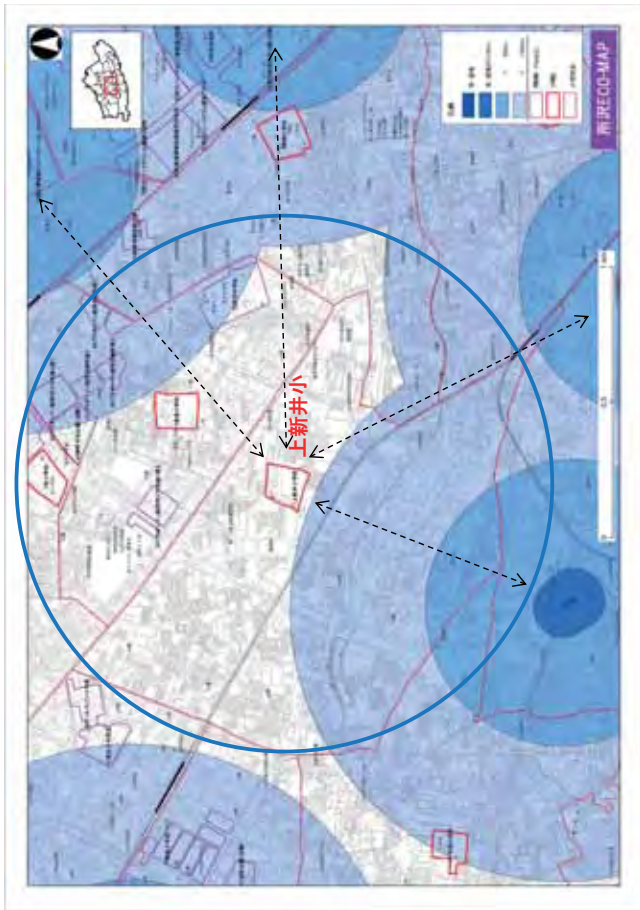
■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
哺乳類	鳥類	哺乳類	鳥類
アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワホト	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワホト	キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ キタテハ シヨロウハト トノサマハト エンマコオロキ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラノミを食べる 幼虫はスズメ、ギンギン、ノドグサを食べる 幼虫はカタハミを食べる 幼虫はカナメグサの葉を食べる
爬虫類 両生類 昆虫類	カサネ ホトトギス アマガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ キタテハ シヨロウハト トノサマハト エンマコオロキ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	ウサギ キジ モズ ヒバリ シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ ヒヨウゼンキリ ヤマキリ ニホンミツバチ	備考



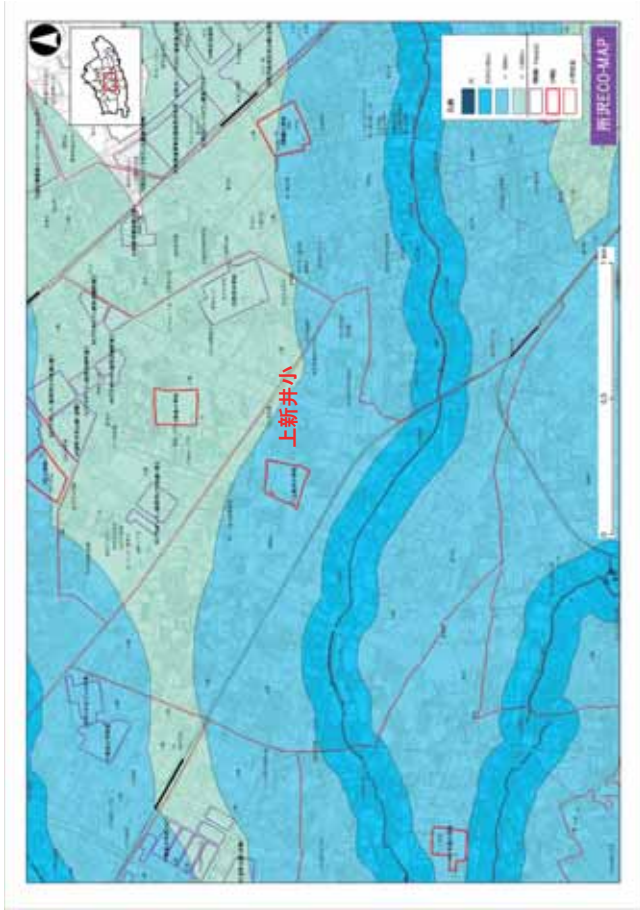
水辺のつながり（池・湿地）

- 周辺に池や湿地は少ないですが、上新井小から半径 1000mの円を描くと、周辺の池から 1000mの円と重なり、シオカラトンボなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、上新井小に池をつくと、水辺のつながりが強くなります（図中矢印）。



水辺のつながり（川・流れ）

- 東川から 500m以内であり、環境の良い池や巣づくりに適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

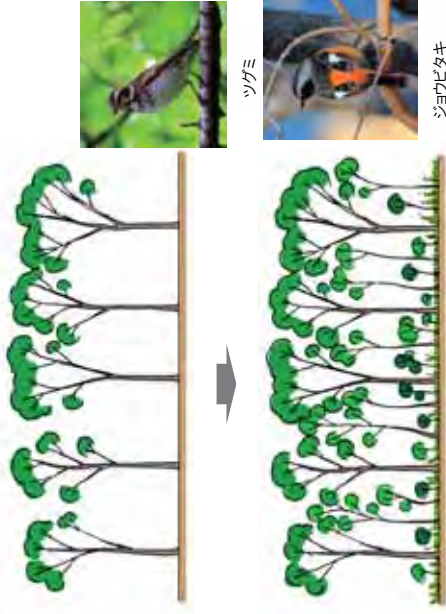
★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カワセミ	
ハウセキレイ		キセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動	ヤマガシ	水辺や草地に生息
アジアイトトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チョウトンボ	池に生息
シオガフトンボ	"	ハシロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ(渓流)に生息
コシアキトンボ	"		
シヨウジョウトンボ	"		
アキアカボ	"		



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の奥のなる低木を植栽することで、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



ツグミ

ジョウビタキ

### 2. みんなのひろばの竹の管理

- 体育館の横にある「みんなの広場」には竹（モウソウチク）が生えていますが、放置すると範囲が拡大して生きものがすみにくい環境になる可能性があります。竹林の範囲が広がるようであれば、竹を伐採し、クヌギ・コナラなどの雑木林を植栽することが望まれます。
- 竹を無くすためには、年2回程度（春、竹が伸びきった後数回）の伐採を数年続ける必要がありますが、これも身近な自然を知るための体験になると思われます。

### 草地のつながり

### 3. みんなのひろばの草地の管理

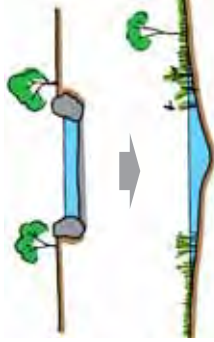
- 体育館の横にある「みんなの広場」には、様々な野草が見られることから、現在と同じ程度の管理を継続して、これを維持していくことが望まれます。

### 水辺のつながり



### 5. 池の改修

- 校門付近にあるコンクリートの池をだらかな土の岸辺の池に改修することで、トンボなどの水辺の生きものがやってくるかと考えられます。また、安全性も高まり、子どもたちが水辺に近づけるようになります。



### 6. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ 20～30cm 程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ゲンヤンマ

### 7. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。

### 4. 外周部への草地づくり

- 幅 50cm 程度でよいので、敷地外周に草地をつくることで、野草やチョウ、ハッタなどが観察できるようになります。また、ツル植物などもそのままフェンスに這わせることで、チョウなどがやってくるようにすることができます。



キタテハ



ヘニシジミ





## 林小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

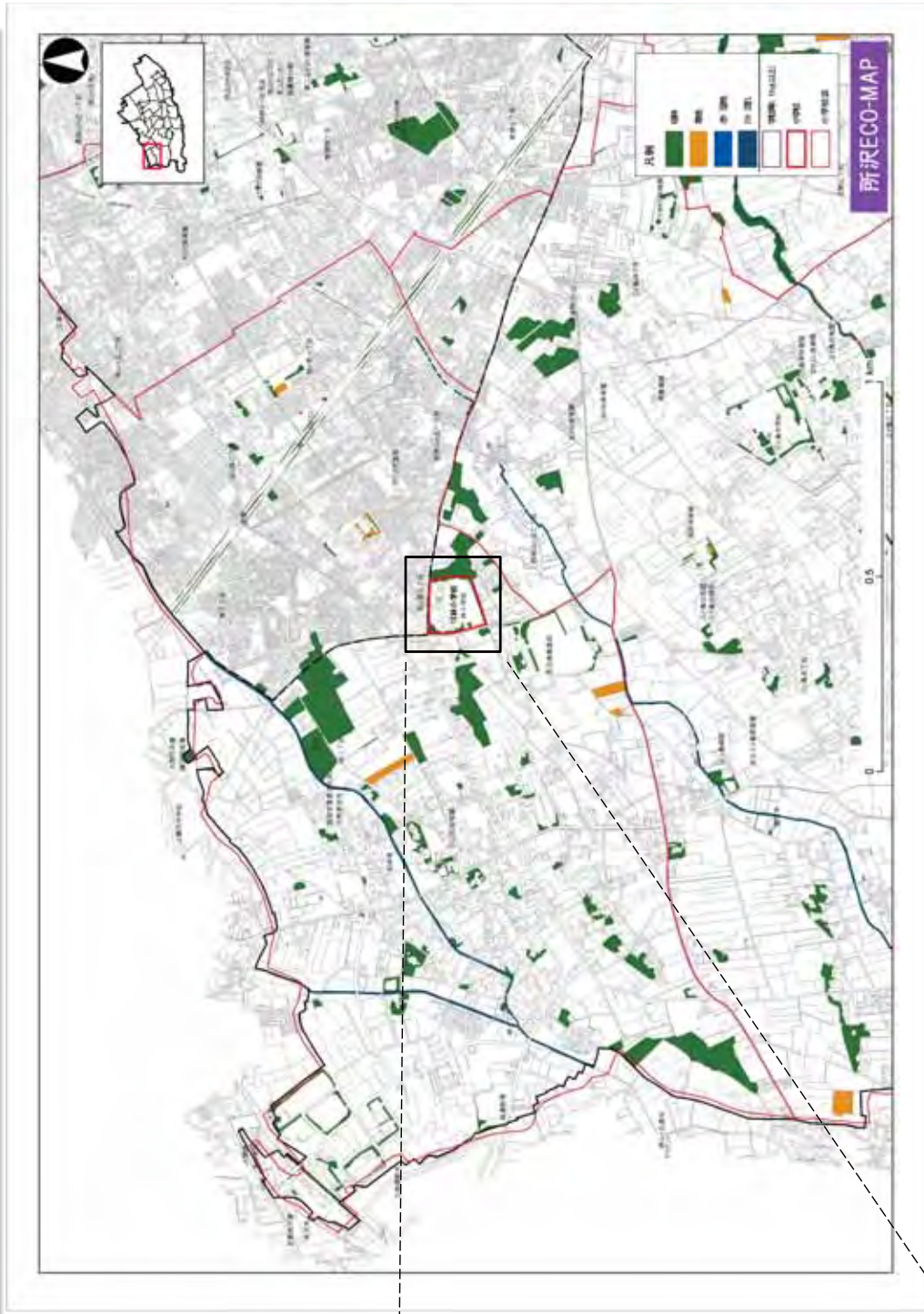
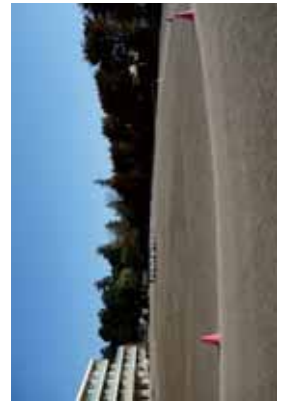
- ①敷地内にケヤキやメイヨシノ等の大きな木が見られます
- ②③敷地東側隣接地にまとまった樹林があります

#### 草地

- ④学校ファームの中央周辺にまとまった草地があります

#### 水辺

- ⑤学校ファームのミニ水田は、水が張られ、トンボなどがやってくると思われ





■ 周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 周辺に樹木が多く、樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になっています。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。

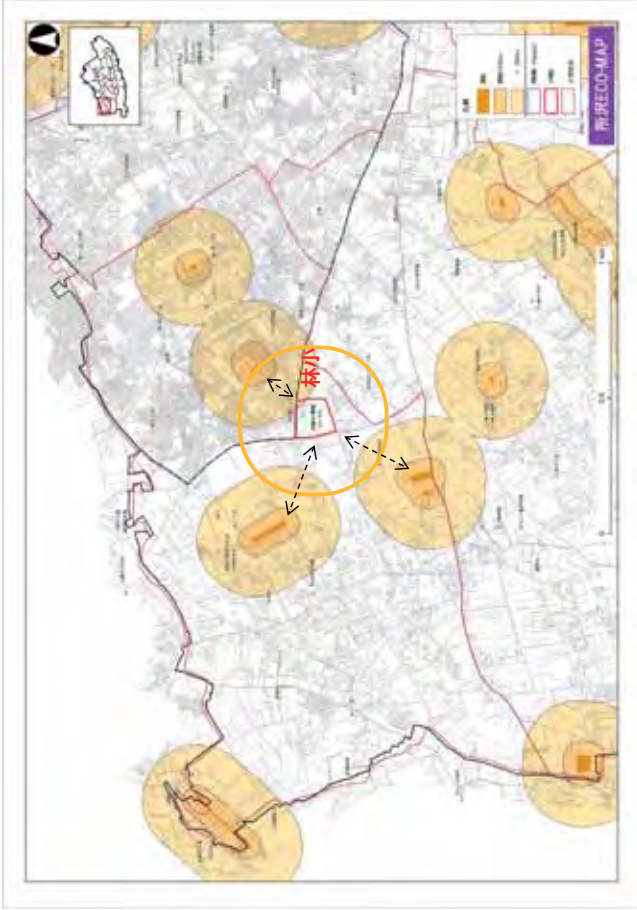


■ 学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ツグミ メジロ カワラヒワ	枯れ木に穴をあけて虫をとり  ヤブ愛好む	鳥類 カシキ ヤマコウ ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシホウシ ハラヒロガマキリ カナブン ジョロウグモ	幼虫はミカンの仲間の葉を食べる 幼虫はスズメノキやアブラノキの葉を食べる ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシホウシ ハラヒロガマキリ カナブン ジョロウグモ	爬虫類 アオダイショウ アスズメガエル アマガエル カマンジミ ミスイロオナガシジミ コマダラヤブ ヒョウラン カブトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトタムシ ナナフシ	多くの生きものが多いことが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

■ 草地のつながり

- 林小から半径 200mの円を描くと、周辺の草地から 200mの円に重なり、チョウウなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、草地のつながりがわかります。



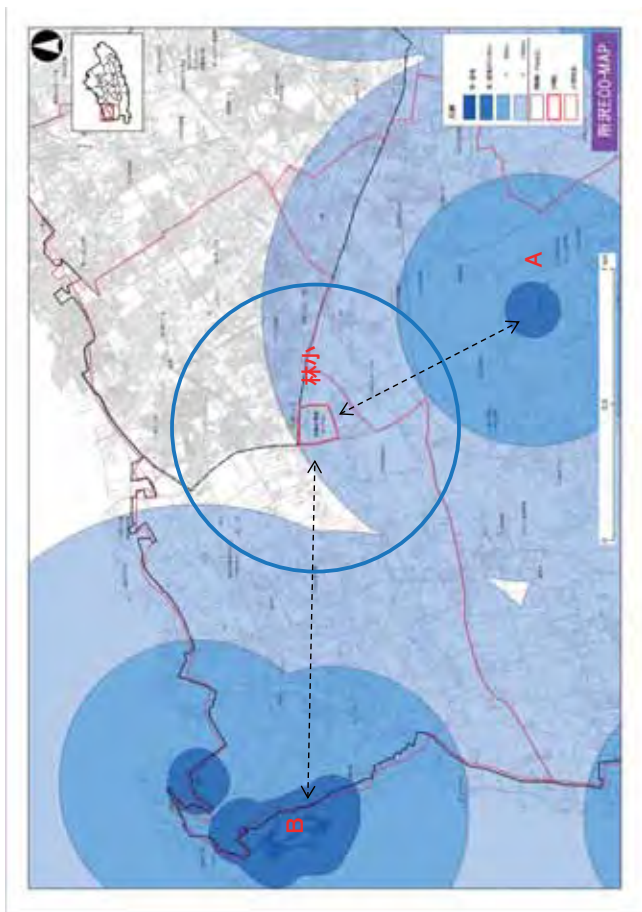
■ 学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
鳥類 アスズメガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒロ		哺乳類 アスズメガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒロ	
爬虫類 カナヘビ		爬虫類 カナヘビ	
両生類 ホシアカマダガエル		両生類 ホシアカマダガエル	
昆虫類 キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハバタ トンブハバタ ノナヤマハバタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラノキの葉を食べる 幼虫はスズメ、ギンギン、ノダノキの葉を食べる 幼虫はカタハシを食べる 幼虫はカナムシの葉を食べる	哺乳類 ウサギ キジ カシ モズ ヒバ	
爬虫類 アオダイショウ ヤマカガシ		爬虫類 アオダイショウ ヤマカガシ	
両生類 ヒガシキリギリス ニホヒキリギリス		両生類 ヒガシキリギリス ニホヒキリギリス	



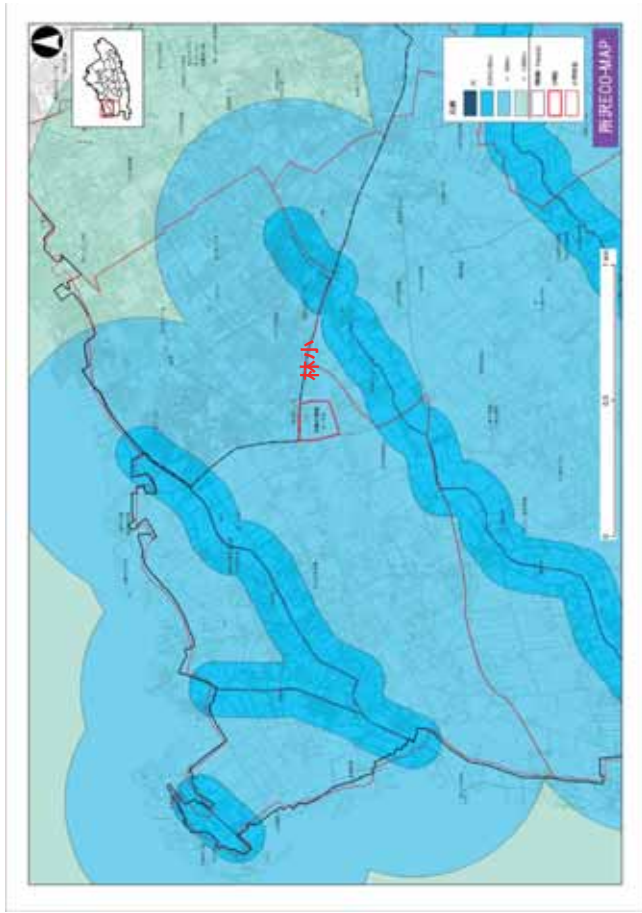
水辺のつながり（池・湿地）

- 林小から半径 500m の円を描くと、三ヶ島小学校の池（A）から 500m の円と重なり、イトトンボやシオカトンボなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、入間市の調節池からシオカトンボなどが飛んできやすい場所に位置しています。



水辺のつながり（川・流れ）

- 林川や樽井戸川から 500m 以内にある、環境の良い池や巣づくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

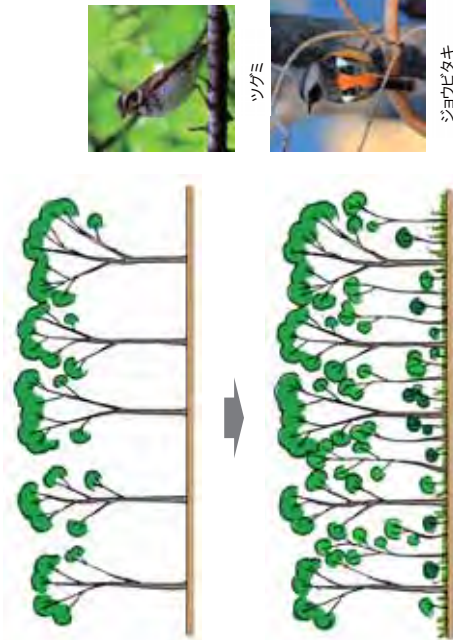
★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	備考	鳥類	備考
カルガモ		イタチ	
コサキ		カワセミ	
ハウセキレイ		キセキレイ	
ニホニアマガエル	水辺と草地を移動	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アジアイトトンボ	池に生息	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
ギンヤンマ	"	チョウトンボ	池に生息
シオガトンボ	"	ハシロトンボ	流れに生息
ウスハキトンボ	"	オニヤンマ	流れ(渓流)に生息
シシアキトンボ	"		
シヨウジョウトンボ	"		
アキアカボ	"		



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の奥の低木を植栽することで、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



ツグミ



ジヨウビタキ

### 2. 外周部への草地づくり

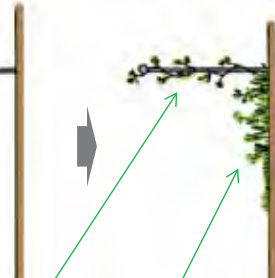
- 幅 50cm 程度でよいので、敷地外周に草地をつくることで、野草やチョウ、バッタなどが観察できるようになります。また、ツル植物などもそのままフェンスに這わせることで、チョウなどがやってくるようになります。



カタテハ



ベニシジミ



水辺のつながり



### 3. ミニ水田での生きものに配慮した管理

- 学校ファームの中のミニ水田において、トンボが産卵、ふ化できるように春から夏にかけて水があるようにします。



### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ 20〜30cm 程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



草地のつながり





## 牛沼小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

- ①校庭に大木のケヤキなどが多く、森の中で遊ぶような雰囲気があります
- ②北側には多くの種類の樹木が見られます

#### 草地

- ③④校舎の北側の学校ファームや野草園の周辺に草地があります

#### 水辺

- ⑤校舎の北側に小さな池があります。



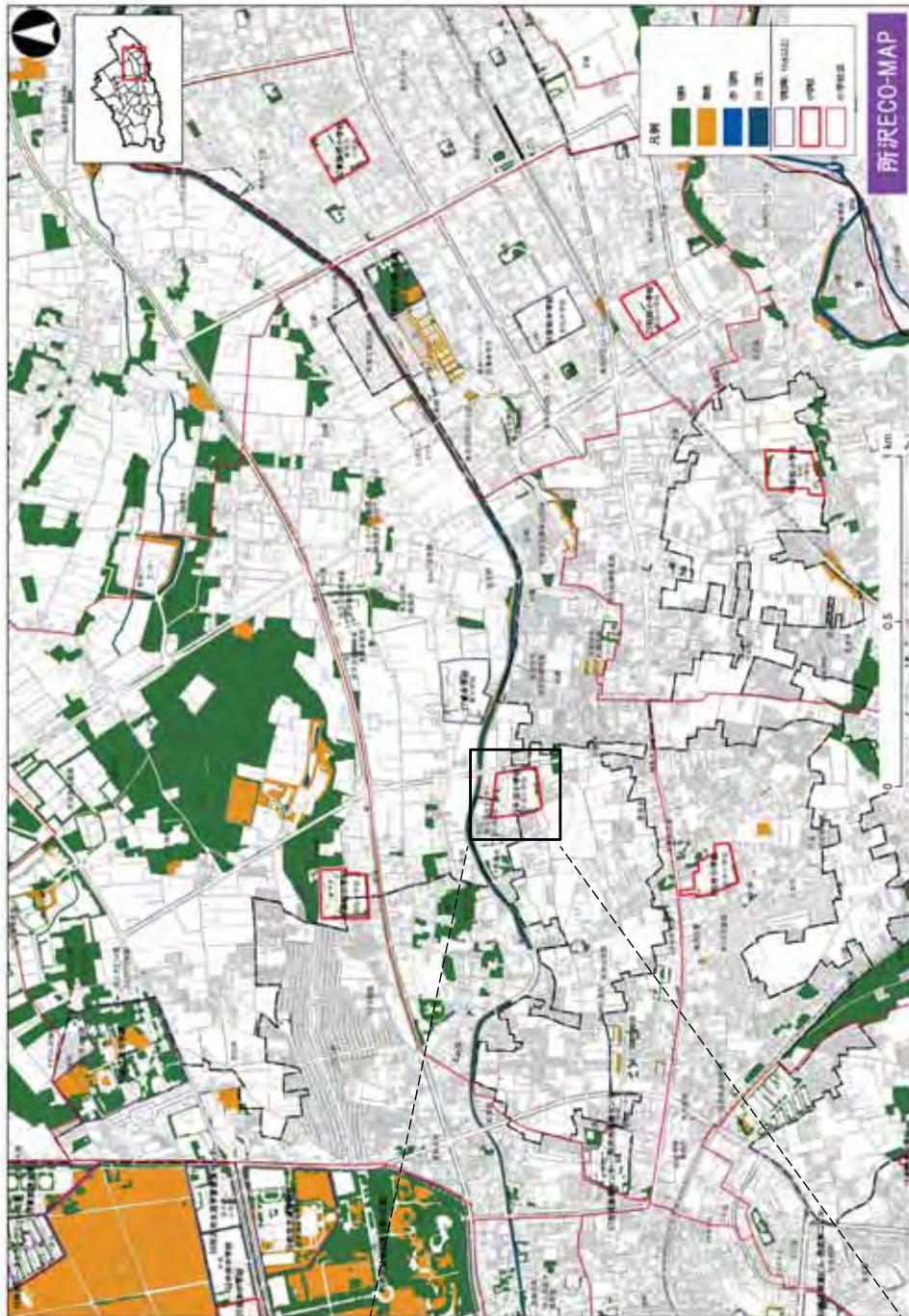
①

②

③

④

⑤





■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- まちなかの樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）となっている牛沼市民の森周辺（A）とつながっており、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	探せばいるかも	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワヒト	枯れ木に穴をあけて虫をえる ヤブを好み	鳥類 カシキ カケス ヤマガラス エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好み 多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要
昆虫類 アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミノゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの中間の葉を食べる 幼虫はスズメノキやアブラノキの葉を食べる ニイイゼミはマメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	爬虫類 アオダイショウ アマガエル ホトトギス ヘビ	多くの生きものがいることが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラヒロガマキリなどの葉を食べる

★ 探せばいるかも

探せばいるかも	備考
哺乳類 鳥類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ
爬虫類 両生類 昆虫類 高生類	カナヘビ ホトトギス アマガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨロウハハツタ トンブハツタ トノサマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ

★ 探せばいるかも

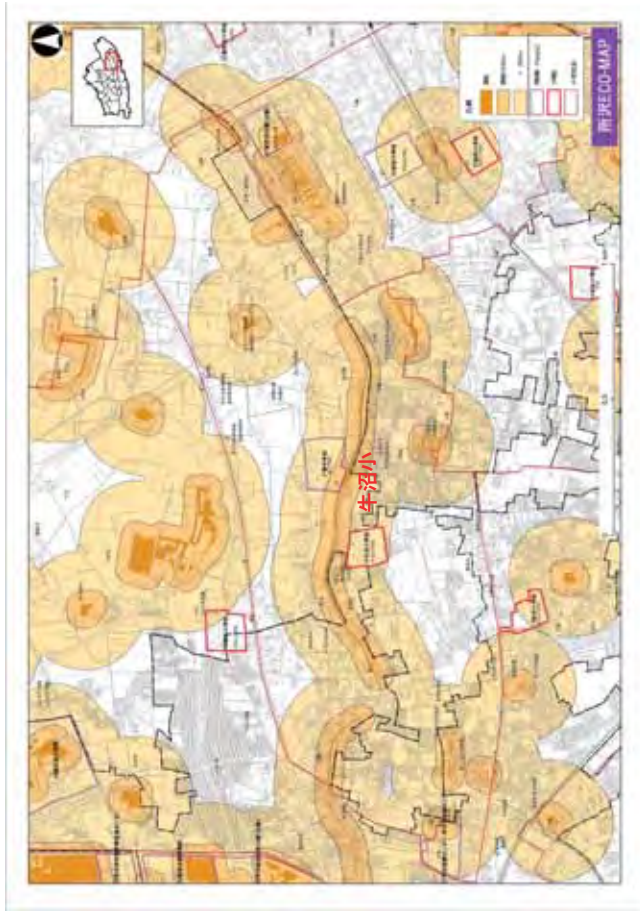
探せばいるかも	備考
哺乳類 鳥類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ
爬虫類 両生類 昆虫類 高生類	カナヘビ ホトトギス アマガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨロウハハツタ トンブハツタ トノサマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ

★ ★ なかなか見られない

探せばいるかも	備考
哺乳類 鳥類 アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワセミ
爬虫類 両生類 昆虫類 高生類	カナヘビ ホトトギス アマガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨロウハハツタ トンブハツタ トノサマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオアリ

草地のつながり

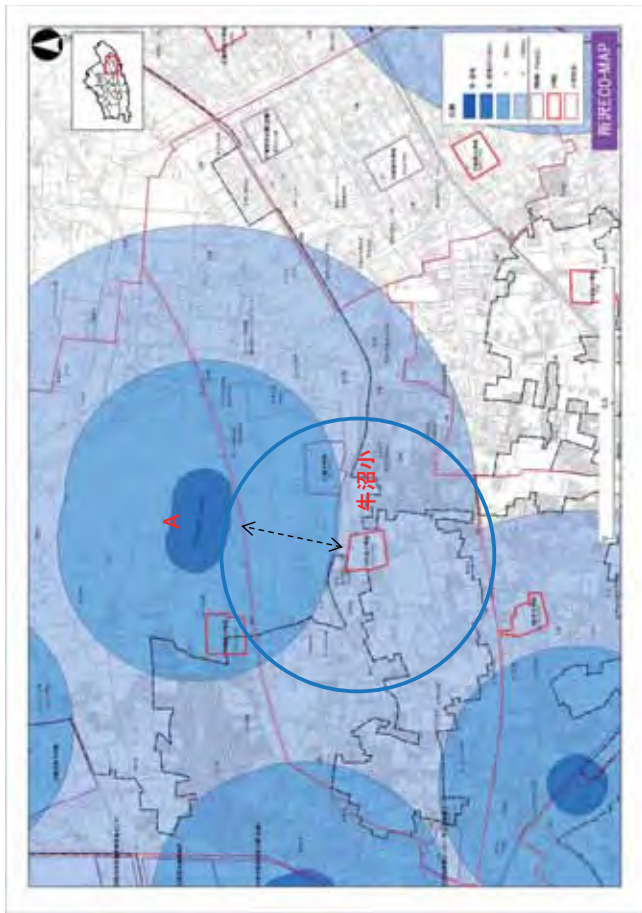
- 東川の草地（A）から 200mの範囲にあり、チョウなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。





水辺のつながり（池・湿地）

- 牛沼小から半径 500mの円を描くと、調節池（A）の円と重なり、イトトンボやシオカラトンボなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。



■ 学校に呼びたい生きもの

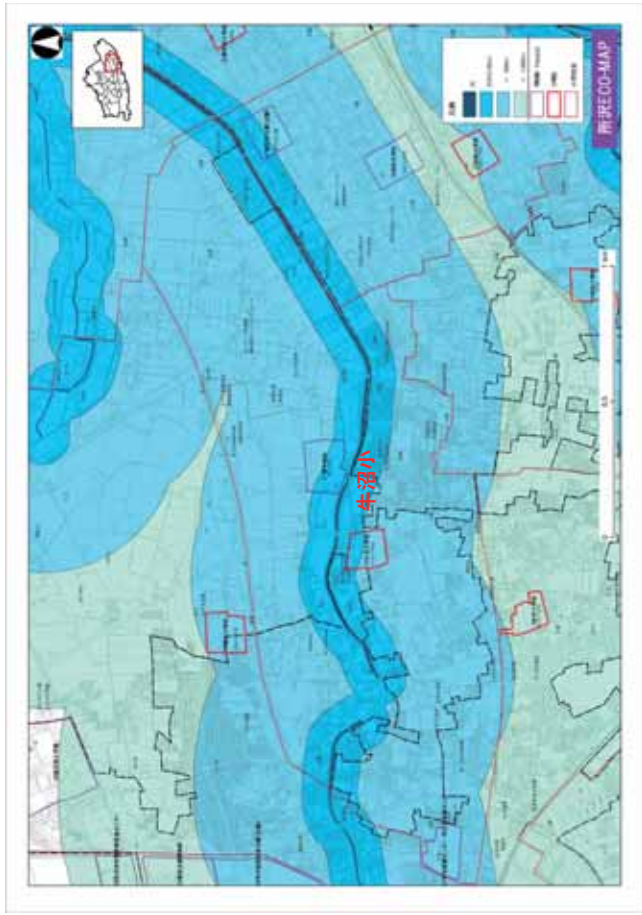
★ 探せばいるかも

鳥獣類	イタチ	備考
カワセミ		
キセキレイ		
農鳥類	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
両生類	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
昆虫類	シオウトンボ	池に生息
	ハクログトンボ	流れに生息
	オニヤンマ	流れ（深流）に生息

鳥獣類	備考
カルガモ	
コサキ	
ハクセキレイ	
両生類	ニホンアマガエル
昆虫類	アジアイトトンボ
	ギンヤンマ
	シオガフトンボ
	ウスハキトトンボ
	コシアキトトンボ
	シヨウジョウトンボ
	アキアカホ

水辺のつながり（川・流れ）

- 東川から 100m以内であり、ハクログトンボなど呼びやすい場所に位置しています。また、環境の良い池や巣づくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。

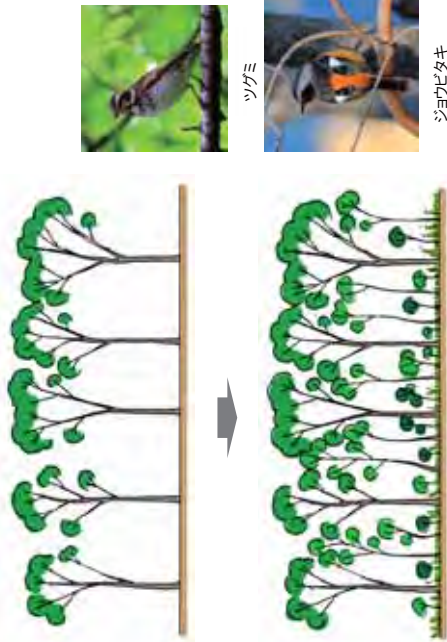




## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に空いた植栽スペースに、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の奥の低木を植栽することで、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



ツグミ



ジヨウビタキ

### 2. 外周部への草地づくり

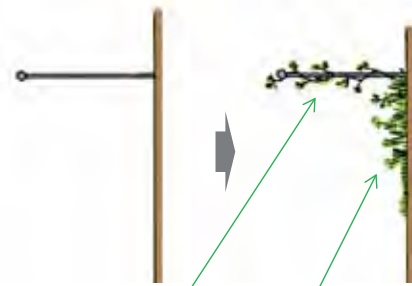
- 幅 50cm 程度でよいので、敷地外周に草地をつくることで、野草やチョウ、バッタなどが観察できるようになります。また、ツル植物などもそのままフェンスに這わせることで、チョウなどがやってくるようになります。



キタテハ



ベニシジミ

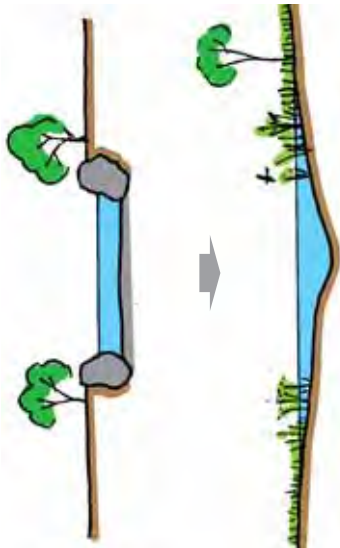


### 水辺のつながり



### 3. 池の改修

- 校舎の北側にあるコンクリートの池をなだらかな土の岸辺の池に改修することで、トンボがやってくると考えられます。ただし、この池は日当たりのあまり良くない場所にあり、植物の生育などがあまり期待できないことから、実施の優先順位は低いものです。



### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ 20～30cm 程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 草地のつながり





## 並木小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

- ①校内に雑木林があり、林の生きものすみかになっています
- ②入り口付近にはソメイヨシノ、ケヤキ、イチヨウの大木がみられます

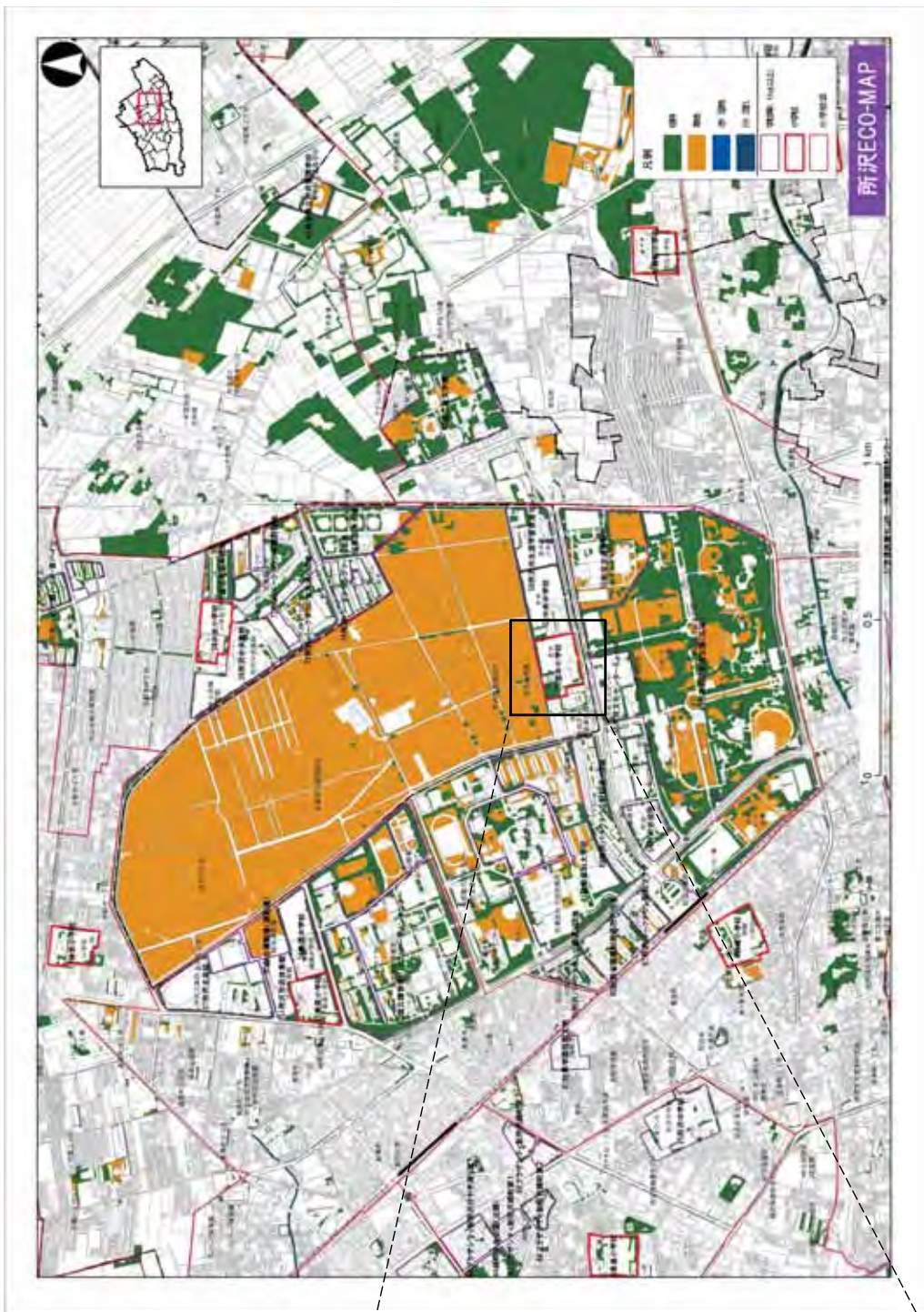
#### 草地

- ③雑木林の手前には草場が広がり、生きものすみやすい環境となっています。

#### ④道路沿いに草場が見られます

#### 水辺

- ⑥コンクリート製ですが、小さな池があります



①



②



③



④



⑤



■周辺の自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に樹木が多く、まちなかの樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になります。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの昆虫がやってきやすい場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

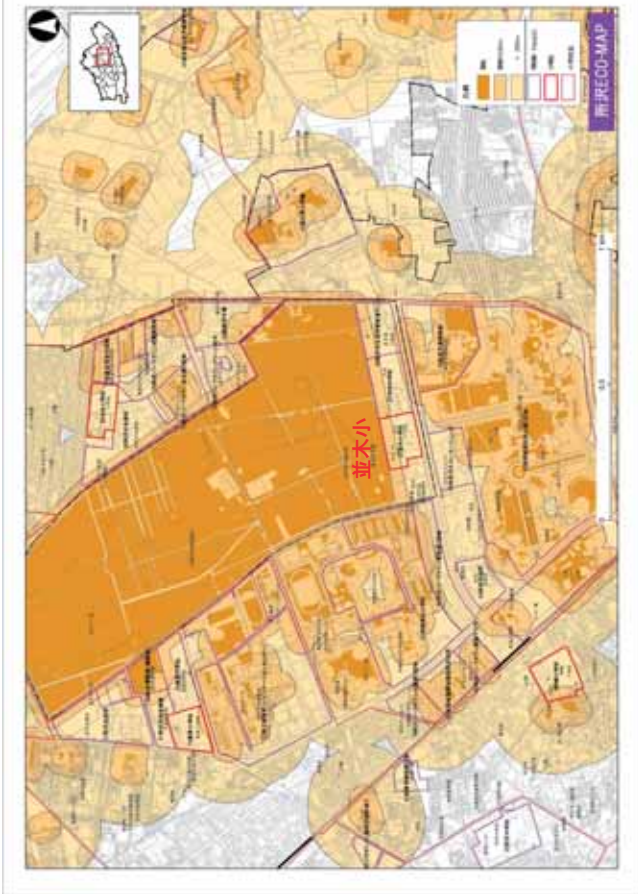
探せばいるかも	備考	探せばいるかも	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ツグミ メジロ シヨウビタキ カワラヒワ	枯れ木に穴をあけて虫をえる ヤブを好む	哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ
鳥類 アオスジアヒカ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの中間の葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する	哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ
鳥類 アオスジアヒカ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	枯れ木に穴をあけて虫をえる ヤブを好む	哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ

★ なかなか見られない

探せばいるかも	備考	探せばいるかも	備考
哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ

草地のつながり

- 敷地から50m以内に草地があり、バッタ類などの昆虫や草地のチョウがやってきやすい場所に位置しています。



■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	探せばいるかも	備考
哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ
哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ

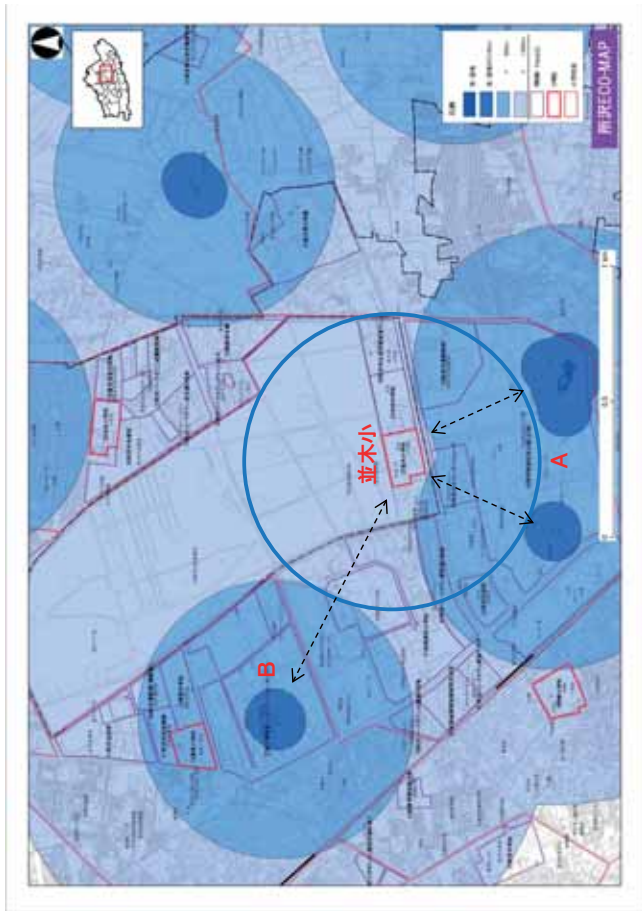
★ ★ なかなか見られない

探せばいるかも	備考	探せばいるかも	備考
哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	哺乳類 鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オナブハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ



水辺のつながり（池・湿地）

- 並木小から半径 500mの円を描くと、航空記念公園の池（A）やリハビリセンターの池（B）から 500mの円と重なり、イトトンボやシオカトラトンボなど呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、並木小に池をつくれれば、水辺のつながりを高めることにもつながります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも

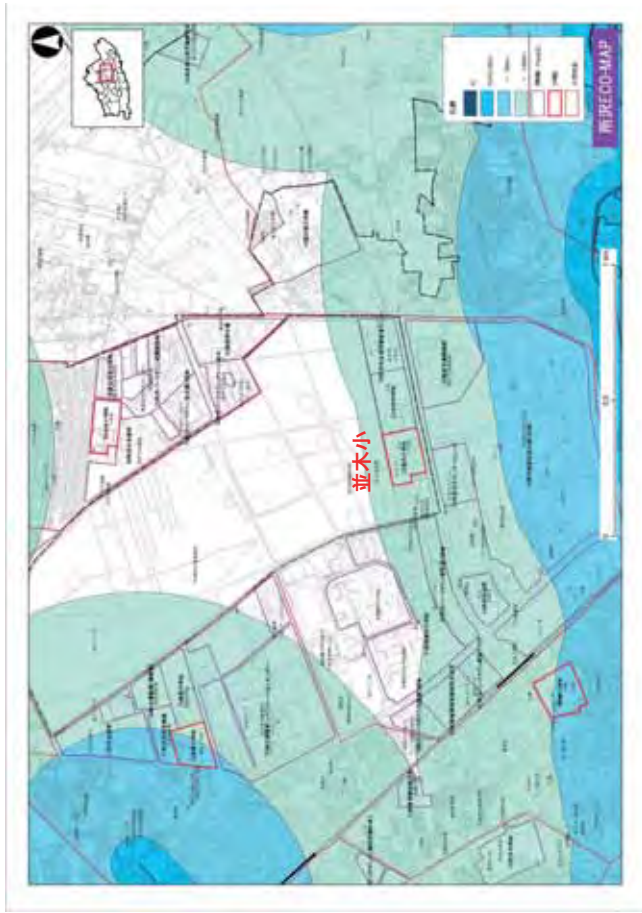
種類	イタチ	備考
鳥類	カウセミ キセキレイ	
爬虫類	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
両生類	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
昆虫類	チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ	池に生息 流れに生息 流れ（渾流）に生息

★★ なかなか見られない

種類	備考
鳥類	カルガモ コサキ ハクセキレイ
両生類	ニホシアマガエル
昆虫類	アジアイトトンボ
両生類	ゲンヤンマ
鳥類	シオガトトンボ
両生類	ウスバキトンボ
鳥類	シヨウキトンボ
両生類	アキアカボ

水辺のつながり（川・流れ）

- 東川から 1,000m以内であり、池をつくと川からシオカトラトンボなどのトンボ類がやってくる可能性があります。

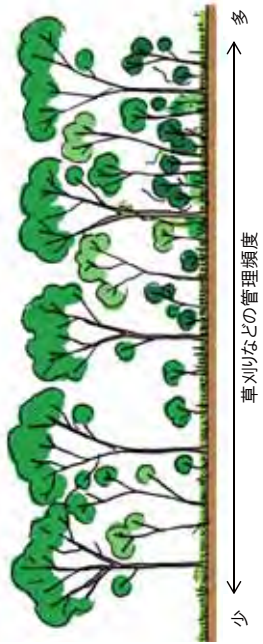




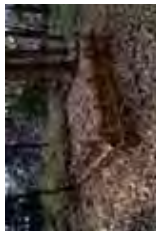
## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 学校林（むさしの林）の管理

- 学校内に雑木林を持つ学校は少なく、中でも自然が豊かな本校の雑木林は生きものと触れ合う場所として魅力的な存在です。
- 学校林の中に生育している低木やササは、鳥や昆虫などの多くの生きものがすむために重要であることから維持します。キャンパスなどで利用する場所と、下草を刈る場所、ブッシュにしておく場所などを決めて計画的に管理や利用を行うことが望まれます。
- 落ち葉を溜めてたい肥化することによってカブトムシの幼虫が育つ場所にすることもできます。



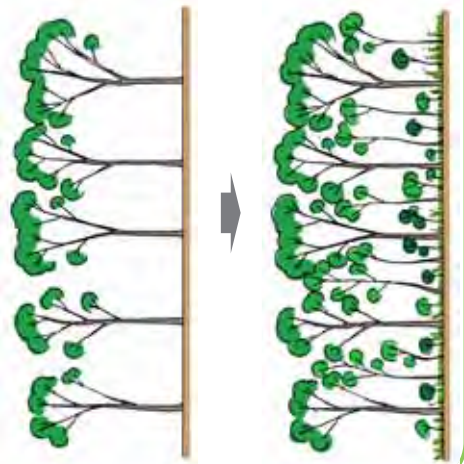
カブトムシ



落ち葉溜め(カブトムシの幼虫)

### 2. 低木の植栽

- 学校林の中や、道沿いの植栽地などに、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の実のなる低木を植栽することで、さらに鳥や昆虫などがやってくるようになります。



ツグミ



シヨウビタキ

### 草地のつながり



### 3. 学校林前の草地の育成

- 学校林の前にある草地は、場所によって草刈の回数を変えて、異なる草丈の草地を育成し、様々な生きものがやってくるようになります。



草丈の低い草地  
スミレ・カタハミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



ヤマトジジミ



草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



ジャンボチヨウ

草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月

### 4. 池の改修

- 校舎の北側にあるコンクリートの池をただらがな土の岸辺の池に改修することで、トンボがやってくるようになります。



### 水辺のつながり

- プールのヤゴの救出  
• 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。  
• 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



キンヤンマ

### 6. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。





## 椿峰小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

①ケヤキやマテバシライなどの樹木が多く、生きものがやってきていると考えられます

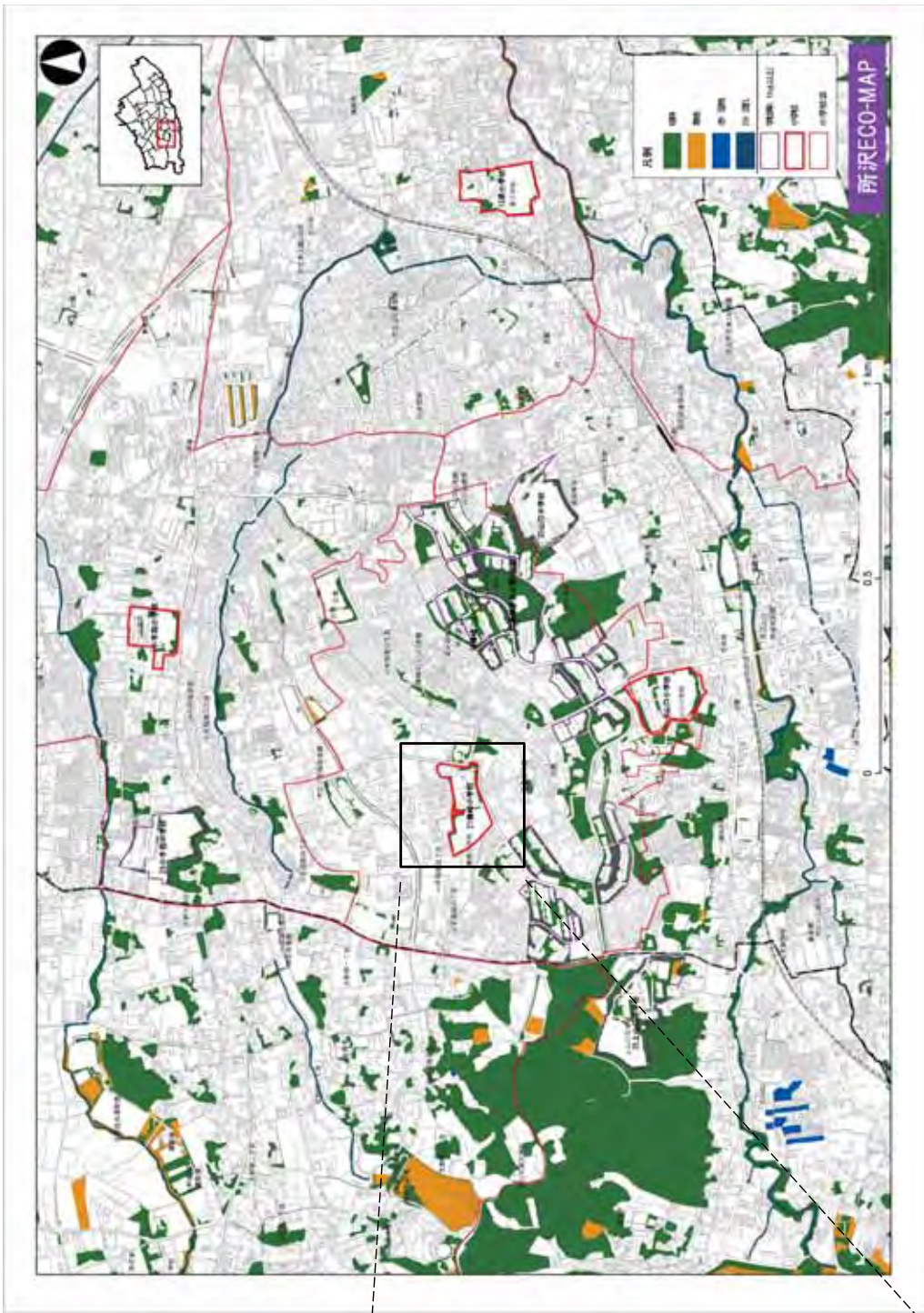
#### 草地

②校舎の脇やプールの裏などに草地が見られます

③校庭外周の緑化ブロックにも、野草が生えています

#### 水辺

④⑤コンクリート製ですが、入口付近に池があります。おそろく循環設備も備えています





■ 周辺の自然とのつながり

林のつながり

- 周辺に樹木が多く、周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの様々な生きものがやっけてやすい場所に位置しています。



■ 学校に呼びたい生きもの

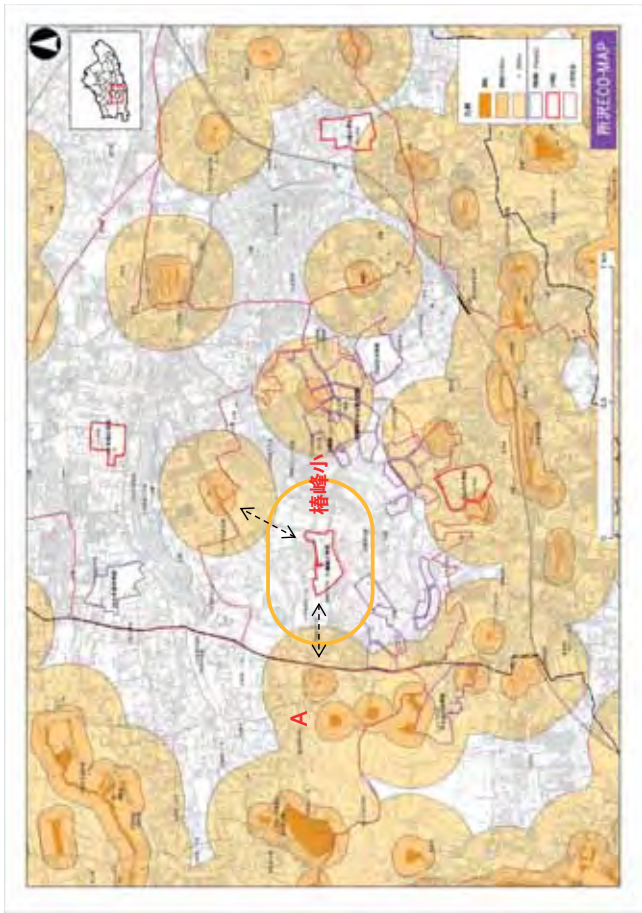
鳥類	探せばいるかも	備考
キジバト コウラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ツグミ メジロ ジョウビタキ カワホトトギス	枯れ木に穴をあけて虫を食む ヤブを好む	
アゲハ アオスジアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ シミンガゼミ ツクツクホウソウ ハラビロカマキリ カナブン ナミテントウ ジョロウグモ	幼虫はミカンの中の葉を食べる 幼虫はクヌギやヤマブキの葉を食べる 幼虫はマメの中間の草や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	

★ なかなか見られない

哺乳類 鳥類	探せばいるかも	備考
タヌキ カコウ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む	
アオダイショウ アサギ カササギ アマガエル ミズイロナガシジミ ヒメタテハ コノチドリ コノチドリ	多くの生きものが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ	
アマガエル ニホンミミズ ナナフシ	ハナ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる	

草地のつながり

- 樺峰小から半径 200mの円を描くと、狭山丘陵の草地 (A) から 200mの円に重なり、チョウなどを呼ぶやすい場所に位置しています。



■ 学校に呼びたい生きもの

哺乳類 鳥類	探せばいるかも	備考
アスマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワウ	アスマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワウ	
カササギ アマガエル キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマドリ キタテハ シヨウリウハツタ オムシバ トヤマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオカマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナフシ クロオアリ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラムシを食べる 幼虫はスズメバチ、ギンギン、ノドグサを食べる 幼虫はカタハシを食べる 幼虫はカナムグラの葉を食べる	

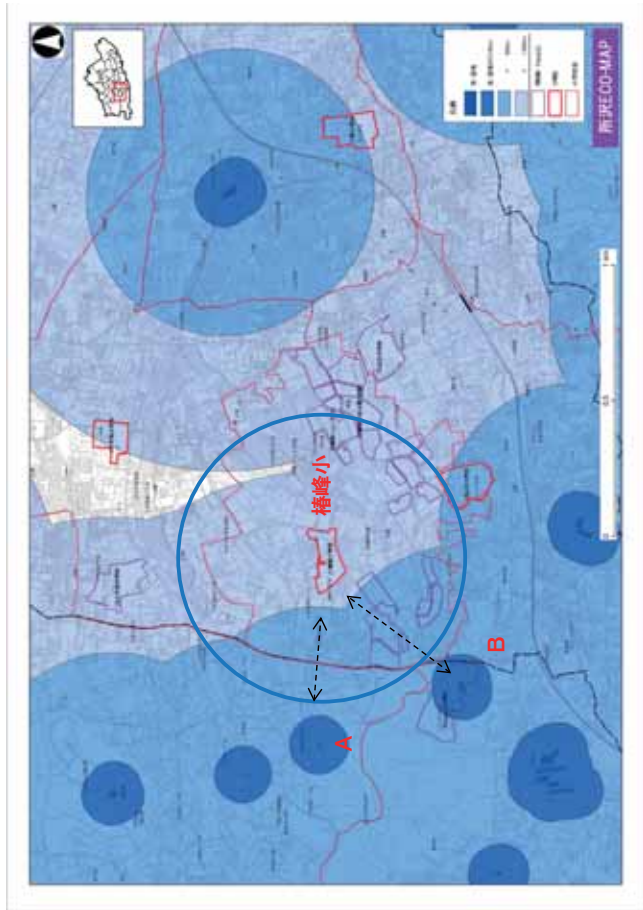
★ なかなか見られない

哺乳類 鳥類	探せばいるかも	備考
ウサギ キジ カコウ モズ ヒバリ	ウサギ キジ カコウ モズ ヒバリ	
アマガエル アオダイショウ アサギ ニホンミミズ	アマガエル アオダイショウ アサギ ニホンミミズ	



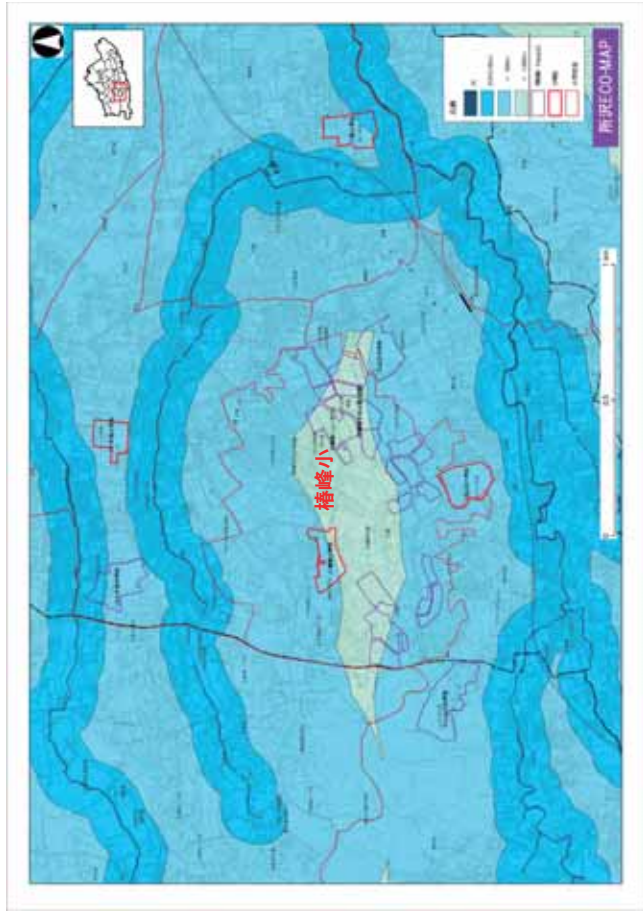
水辺のつながり（池・湿地）

- 榎峰小から半径 500mの円を描くと、狭山丘陵の池（A）から 500mの円と重なり、イトトンボやシオオカラトンボなど呼びやすい場所に位置していることがわかります。



水辺のつながり（川・流れ）

- ハツ家川から 500m以内であり、環境の良い池や巣づくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

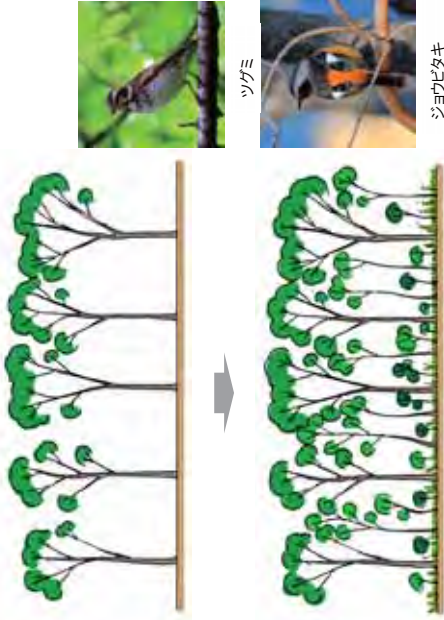
生きもの	呼びたい理由	呼びたい場所	呼びたい時期	呼びたい理由
鳥類	カルガモ コサキ ハクセキレイ			
両生類	アジアカゲル シオガトンボ ウスハキトンボ シオアキトンボ アキアカボ	水辺と草地を移動 池に生息 " " " " "		
昆虫類	イタチ カワセミ キセキレイ ヤマカガシ アズマヒキガエル チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ			なかなか見られない 備考 水辺や草地に生息 水辺と草地、樹林地を移動 池に生息 流れ（栗流）に生息



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 低木の植栽

- 高木と高木の間に間や空いた植栽スペースに、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の奥の奥の低木を植栽することで、鳥や昆虫などがやってくるようになります。



ジョウビタキ

### 2. 外周部への草地づくり

- 幅 50cm 程度でよいので、敷地外周に草地をつくることで、野草やチョウ、バッタなどが観察できるようになります。また、ツル植物などもそのままフェンスに這わせることで、チョウなどがやってくるようにすることができます。
- 緑化ブロック内について、空いた場所にチョウの植樹となる低木を植栽したり、野草を残すことによって、チョウなどがやってくるようになります。



キタテハ



ベニシジミ

### 水辺のつながり

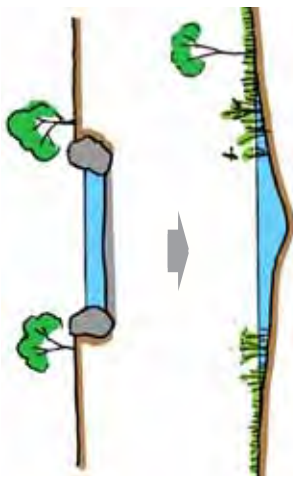


### 林のつながり



### 3. 池の改修

- 既存の給水設備などを活かして、入口にあるコンクリートの2つの池をできるだけ土の岸辺の池に改修することで、トンボがやってくることを考えられます。



### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ 20～30cm 程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ゲンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



### 草地のつながり





## 東所沢小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

①敷地の北の角に雑木林があり、林の生きものが来ていると考えられます

#### 草地

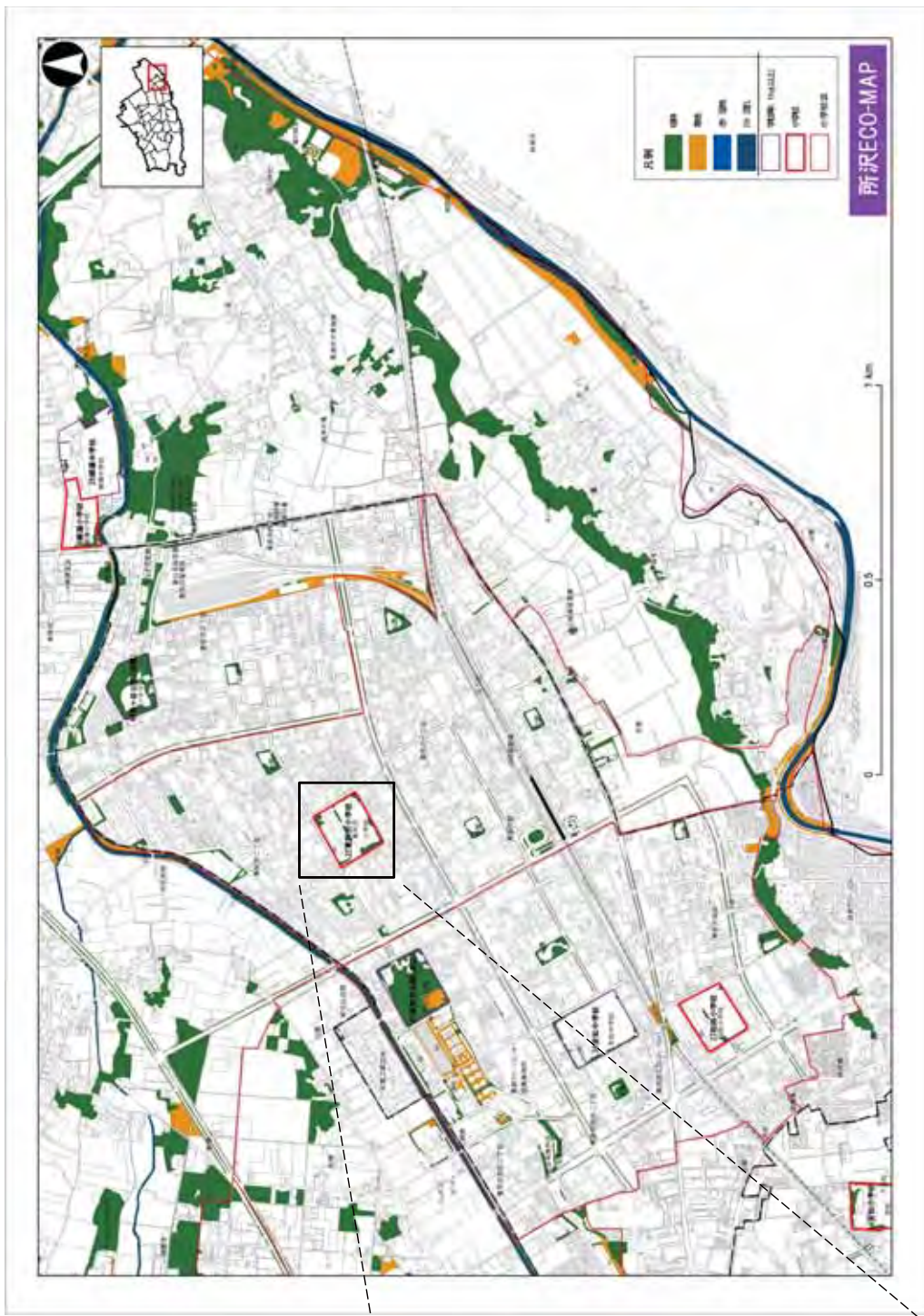
②敷地の西側の草地は、自然と触れ合える場所になっています

③④木の下の小さな草地やフェンスのツル植物も生きものすみかになります

⑤立派な緑のカーテンがあります

#### 水辺

○水辺はありません



①



②



③



④



⑤



■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- サブ拠点(多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所)である東所沢公園(A)や亀ヶ谷公園(B)から、小鳥やカブトムシ等の生きものがやってくる場所が位置しています。

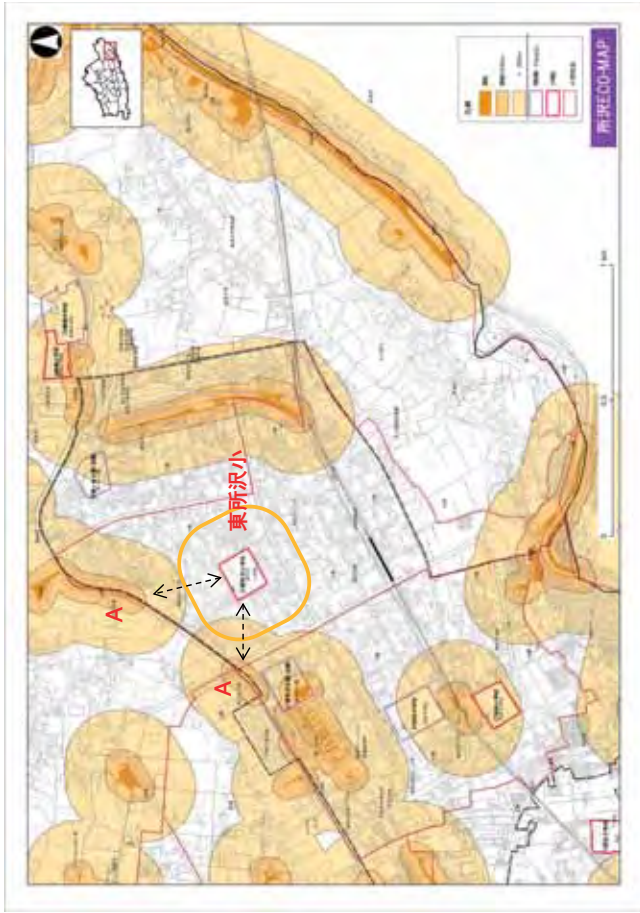


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	哺乳類	鳥類	哺乳類
キジバト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワラヒワ	枯れ木に穴をあけて虫をとり ヤブを好み 幼虫はミカンの仲間の葉を食べる 幼虫はスズメの仲間の葉を食べる ニイイビ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	カクゴウ ヤマガラ エナガ イカル アオジ アオダイショウ アサマモシキガエル アカンジミ ミスズイロオナガシジミ コマダラアオウ ヒゲラシ カブトムシ コクワガタ ノキリクワガタ ヤマトマムシ ニホンミツバチ ナナフシ	森の中のヤブを好み 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

■草地のつながり

- 東所沢小から半径200mの円を描くと、東川沿いの草地(A)から200mの範囲に重なり、チョウなど呼びやすい場所に位置していることがわかります。



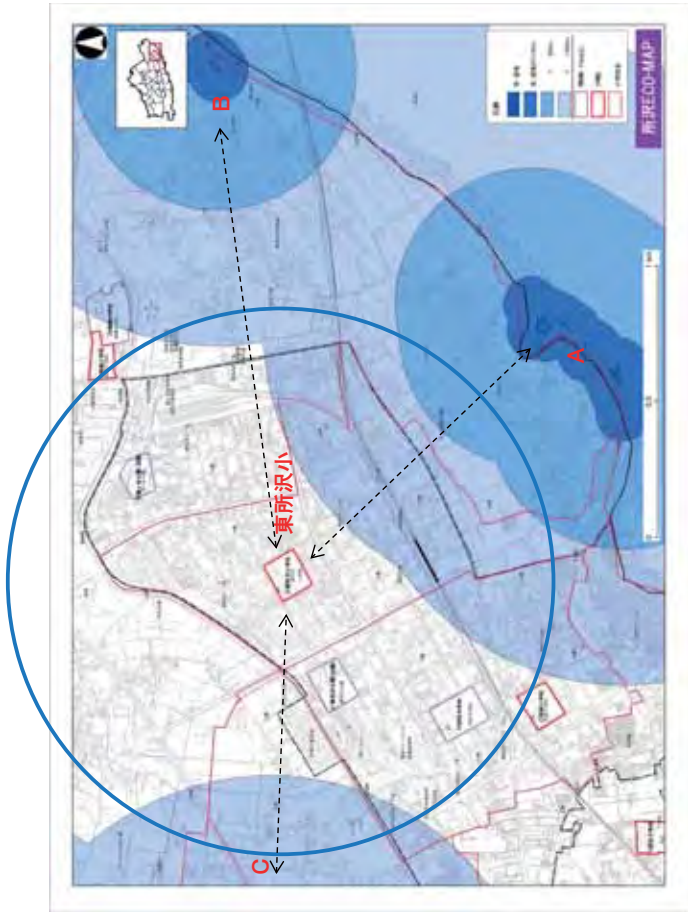
■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
鳥類	哺乳類	鳥類	哺乳類
ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ	アサマモシガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ	アサマモシガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ	アサマモシガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ
アサマモシガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ	アサマモシガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ	アサマモシガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ	アサマモシガラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒロ



水辺のつながり (池・湿地)

- 東所沢小から半径 1000m の円を描くと、清瀬金山緑地公園の池 (A) や、滝の城址公園の池 (B)、調節池 (C) から 1000m の円と重なり、シオカラトンボなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、東所沢小に池をつくれれば、水辺のつながりが高まります。



■ 学校に呼びたい生きもの

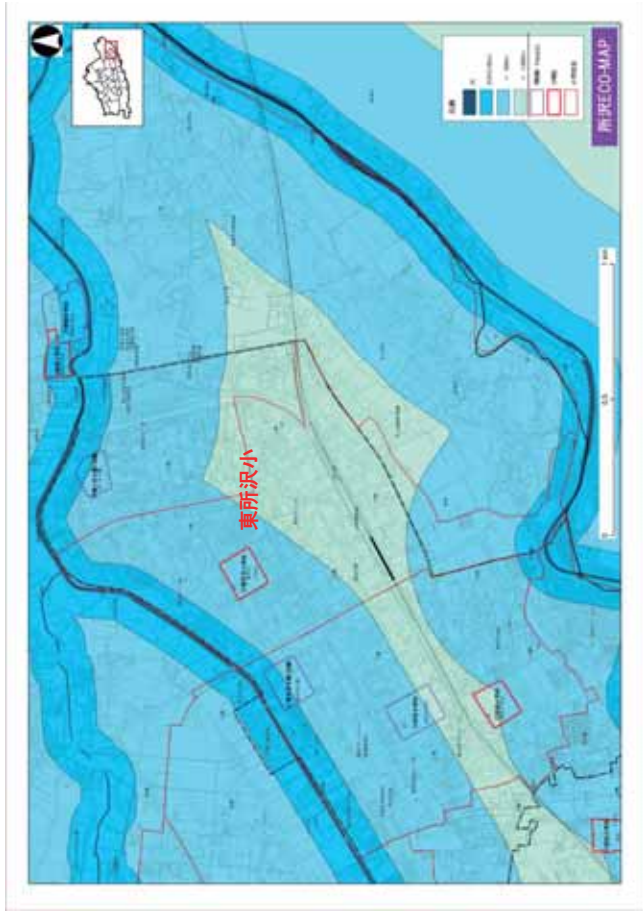
鳥類	備考
カルガモ	
コサキ	
ハクセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動
アジアイトトンボ	池に生息
ギンヤンマ	"
シオカラトンボ	"
ウスハキトンボ	"
シシアキトンボ	"
シヨウジョウトンボ	"
アキアカホ	"

★★ なかなか見られない

鳥類	備考
イタドリ	
カワセミ	
キセキレイ	
ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
チョウトンボ	池に生息
ハシロトンボ	流れに生息
オニヤンマ	流れ(渓流)に生息

水辺のつながり (川・流れ)

- 東川から 500m 以内であり、環境の良い池や巣づくりに適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性があります。

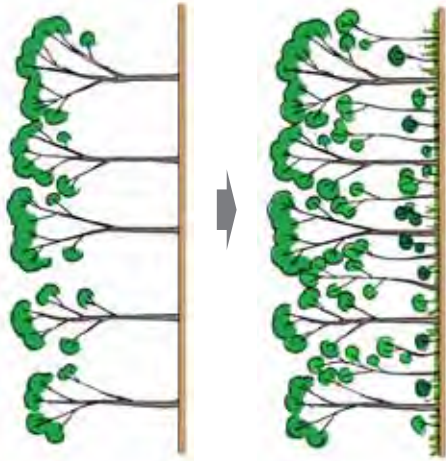




## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 雑木林への低木の植栽

- 敷地の北の角にある雑木林の下に、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の実のなる低木を植栽するとともに、土を柔らかくし草を育てることで、鳥や昆虫などがやってくるようになります。
- 落ち葉を溜めて、たい肥化することによって、カブトムシの幼虫が育つ場所にすることもできます。



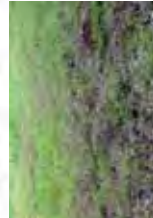
ツグミ



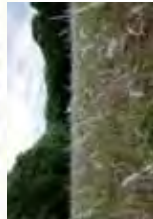
ジヨゴビタキ

### 2. 今ある草地やフェンスのツル植物の保全

- 敷地西側の広い草地や、樹木の下草地について、草丈の高い草地や低い草地など、多様な草地として維持されるように、また、ツル植物などもそのままフェンスに這わせることで、チョウなどがやってくるようになります。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



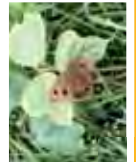
草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月



ヤマトシジミ



ジャノメチヨウ

### 林のつながり



カブトムシ



落ち葉溜め(カブトムシの幼虫)



### 水辺のつながり



ゼンヤンマ

### 3. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。

### 4. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。



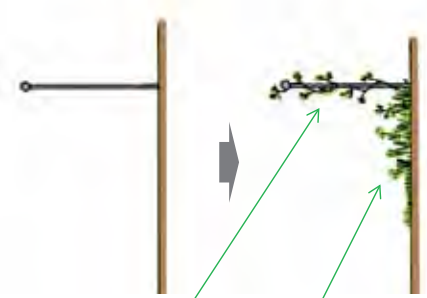
### 草地のつながり



キタテハ



ベニシジミ





## 和田小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内辺の自然

#### 樹林

①敷地北側の角にソメイヨシノなどの高木がまっています

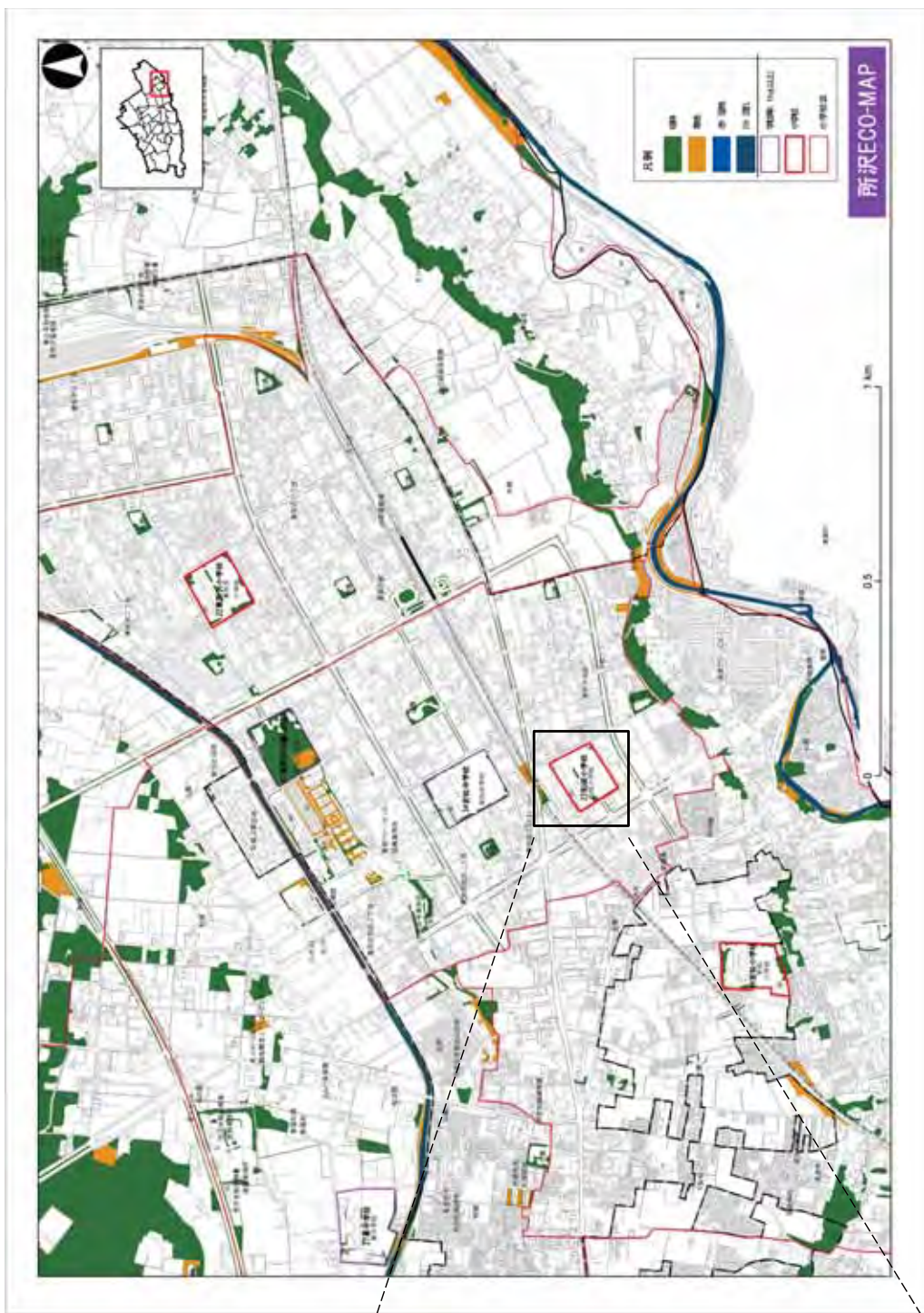
②校舎の間に「日陰の植物園」があります

#### 草地

③④フェンスの外側に主に観賞用の草花が植えられています

#### 水辺

○水辺はありません



①



②



③



④

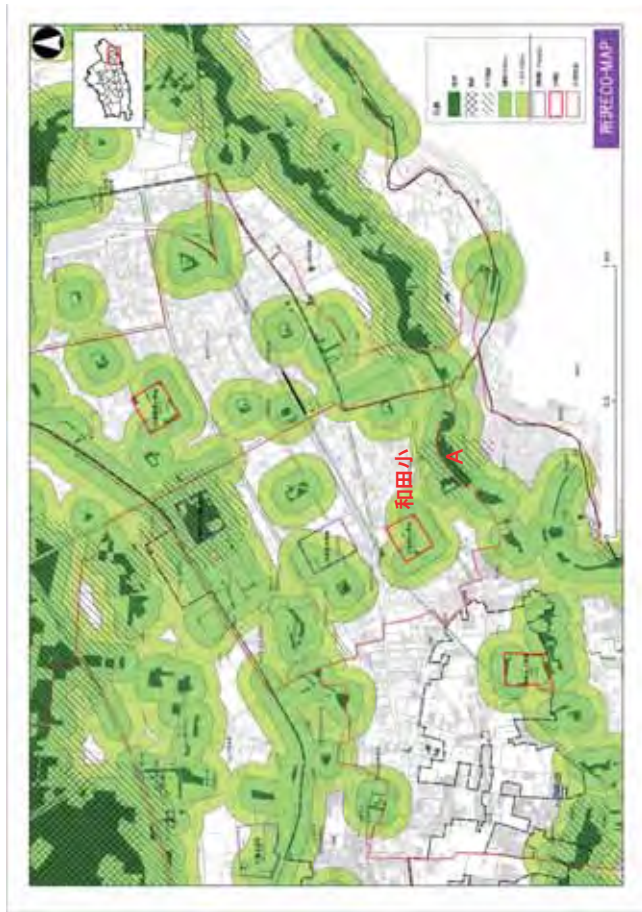


⑤



■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- ・柳瀬川斜面林の樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）（A）から、小鳥やカブトムシなどの多くの生きものを呼びやすい場所に位置しています。

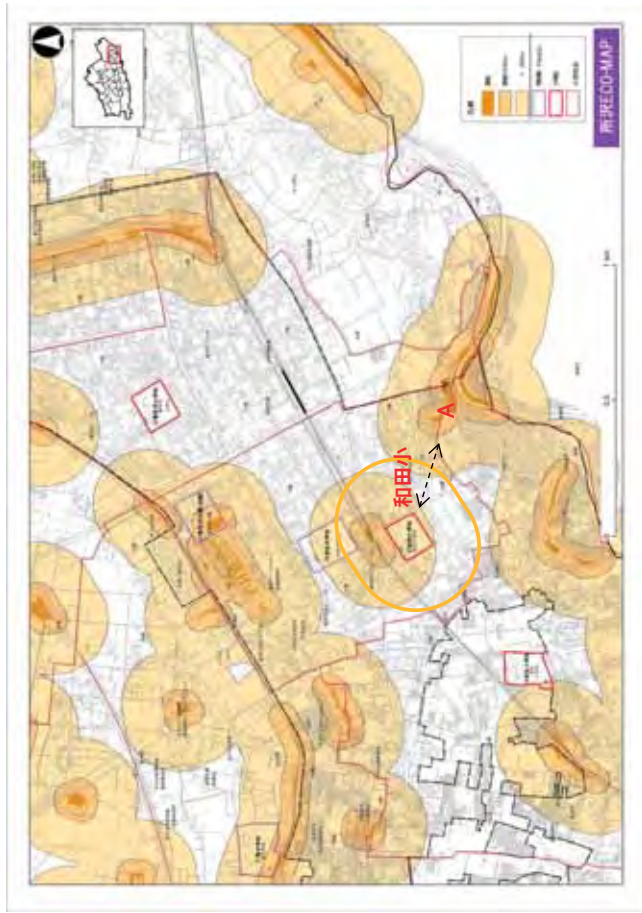


■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
哺乳類 鳥類	備考	哺乳類 鳥類	備考
キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ シヨウビタキ カワラヒワ	枯れ木に穴をあけて虫をとり  ヤブ愛好む	カシキ カシゴウ ヤマガラ エナガ イカル アオジ アオダイショウ アズマヒキガエル アカシジミ ミスズイロオナガシジミ コマダラオウ ヒケラン カブトムシ コクワガタ ノコギリクワガタ ヤマトマムシ ニホンミツバチ ナナフシ	森の中のヤブを好む  多くの生きものが入ることが必要 林の近くに池が重要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハナ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる
アサギ オオシロアゲハ キタキチョウ ニイニイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツククワボウシ ハラヒロガマキリ カナブン シヨロウグモ	幼虫はミカンの仲間の葉を食べる 幼虫はスズメの仲間の葉を食べる 幼虫はマメの仲間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する  コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オノノハツタ トノサマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オノノハツタ トノサマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ

■草地のつながり

- ・和田小から半径 200mの円を描くと、柳瀬川沿いの草地（A）から 200mの円に重なり、チョウなど呼びやすい場所に位置しています。



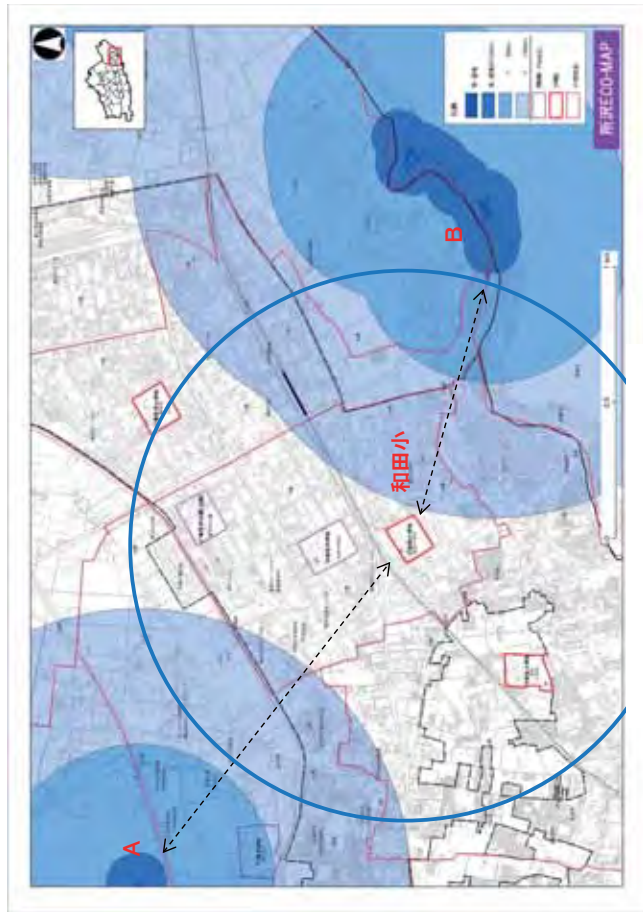
■学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも		★★ なかなか見られない	
哺乳類 鳥類	備考	哺乳類 鳥類	備考
アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オノノハツタ トノサマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ ハウセキレイ カワラヒワ カナヘビ ホトトギス キタキチョウ モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ キタテハ シヨウリウハツタ オノノハツタ トノサマハツタ エンマコオロギ ツクムシ クビキリギス オオガマキリ コガマキリ コアオハナムグリ ナミテントウ ナナホシテントウ クロオオアリ	ウサギ キジ モズ ヒバリ シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ ヒガンシキリギリス チウセンカマキリ ニホミツバチ	ウサギ キジ モズ ヒバリ シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ ヒガンシキリギリス チウセンカマキリ ニホミツバチ



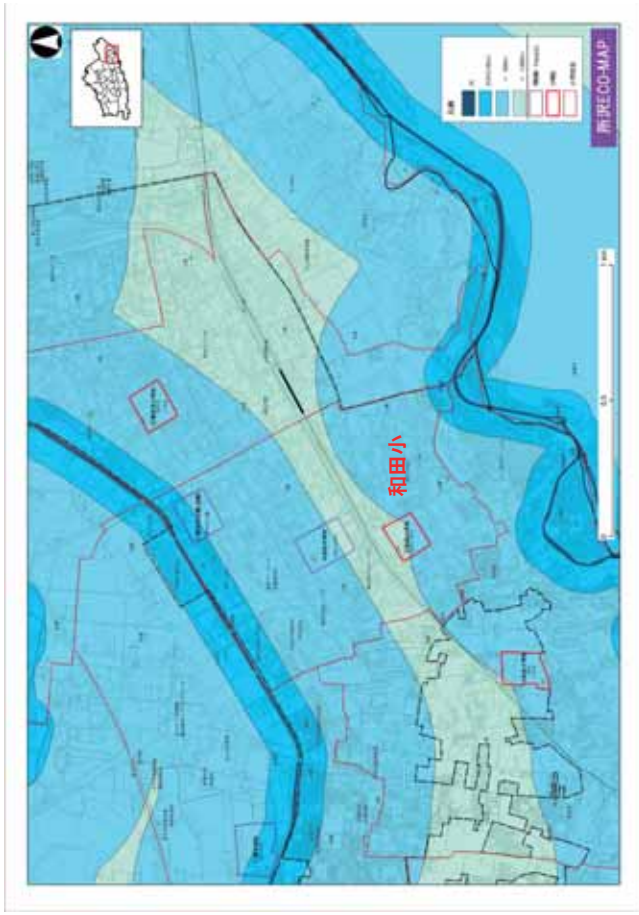
水辺のつながり（池・湿地）

- 和田小から半径 1000mの円を描くと、調節池（A）清瀬金山緑地公園の池（B）から 1000mの円と重なり、シオカラトンボなど呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、和田小に池をつくれば、水辺のつながりが高まります。



水辺のつながり（川・流れ）

- 柳瀬川から 500m以内にあり、環境の良い池や築づくり適した土の崖があれば、カワセミが飛んでくる可能性もあります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも

鳥類	備考
カルガモ	
コサキ	
ハクセキレイ	
ニホンアマガエル	水辺と草地を移動
アジアイトトンボ	池に生息
ギンヤンマ	"
シオガトンボ	"
ウスハキトンボ	"
コシアキトンボ	"
シヨウジョウトンボ	"
アキアカネ	"

★★ なかなか見られない

鳥類	備考
イタチ	
カワセミ	
キセキレイ	
ヤマカガシ	水辺や草地に生息
アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
チョウトンボ	池に生息
ハシロトンボ	流れに生息
オニヤンマ	流れ(渓流)に生息



## 生きものを呼ぶ方法

### 1. 校舎前の植栽スペースへの高木の育成

- 近くの樹林でクヌギやコナラなどのドングリや、ガマズミやヤマシキブ等の種を拾ってきて苗木を育て、校舎前の植栽スペースに植栽し、ミニ雑木林をつくります。



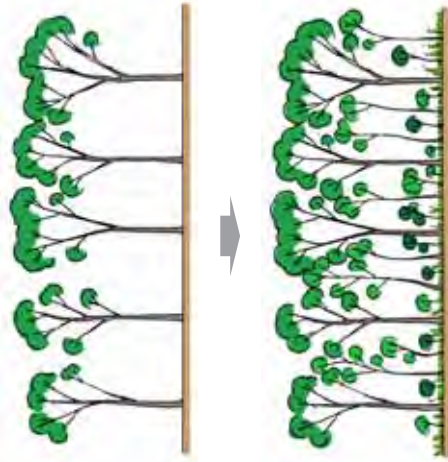
種から苗木を育てる



苗木を植える

### 2. 実のなる低木の植栽

- 空いたスペースに、ヒサカキ、ナンテン、ガマズミ、ムラサキシキブ等の実のなる低木を植栽することによって、鳥や昆虫などがやってくるようになります



ツグミ



ジョウビタキ

### 車地のつながり



### 3. フェンスでのツル植物の育成

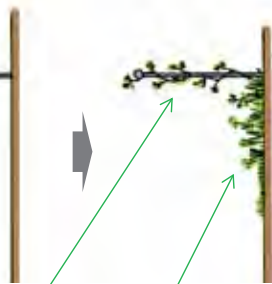
- 敷地外周のフェンスにツル植物を育て、チョウやバタなどかやってくるようにします。本校の植栽は、敷地外に開かれています。周囲住民からの理解を得るために、解説板などを設置します。



キタテハ



ベニジミ



### 水辺のつながり

### 4. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しづつ抜いて深さ 20~30cm 程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

### 5. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。





## 中央小学校に生きものを呼ぼう

### ■敷地内の自然

#### 樹林

- ①クヌギの下にアスナササが生育する雑木林があります
- ②外周は背の低いエノキ、カマズミ等の複数の樹木が生育し、生きものがやっつきやすい状況です

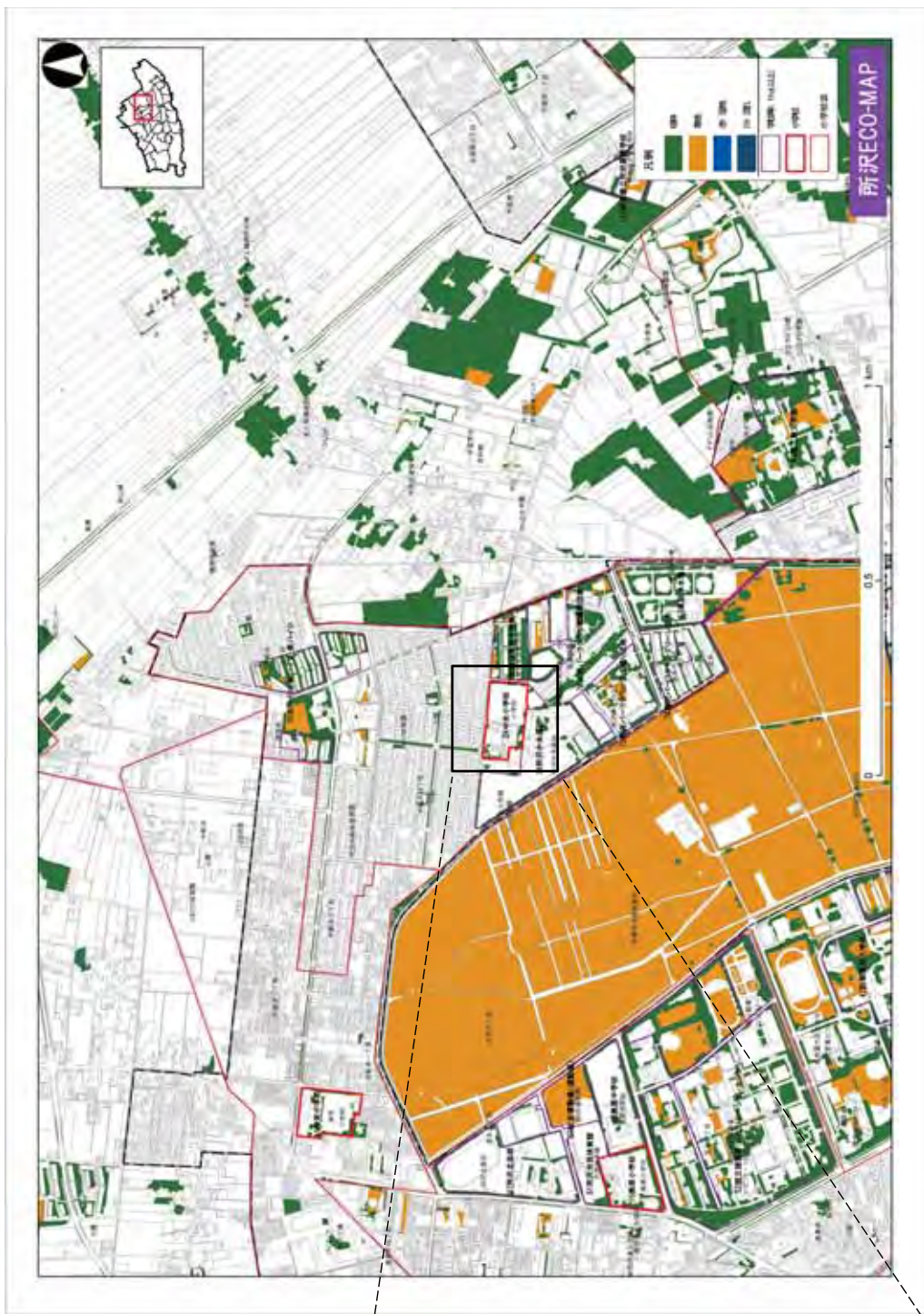
#### 草地

- ③外周のフェンスにツル植物が多いことも生きものによって良いポイントです。

- ④比較的に広い草地があります。

#### 水辺

- ⑥コンクリート製ですが、池があります



①



②



③



④



⑤



■周辺の自然とのつながり  
林のつながり

- 周辺に樹木が多く、まちなかの樹林のサブ拠点（多くの小鳥や昆虫がすむ可能性が高い場所）になります。
- 周辺の樹林から、小鳥やカブトムシなどの多くの生きものを呼びやすい場所に位置しています。

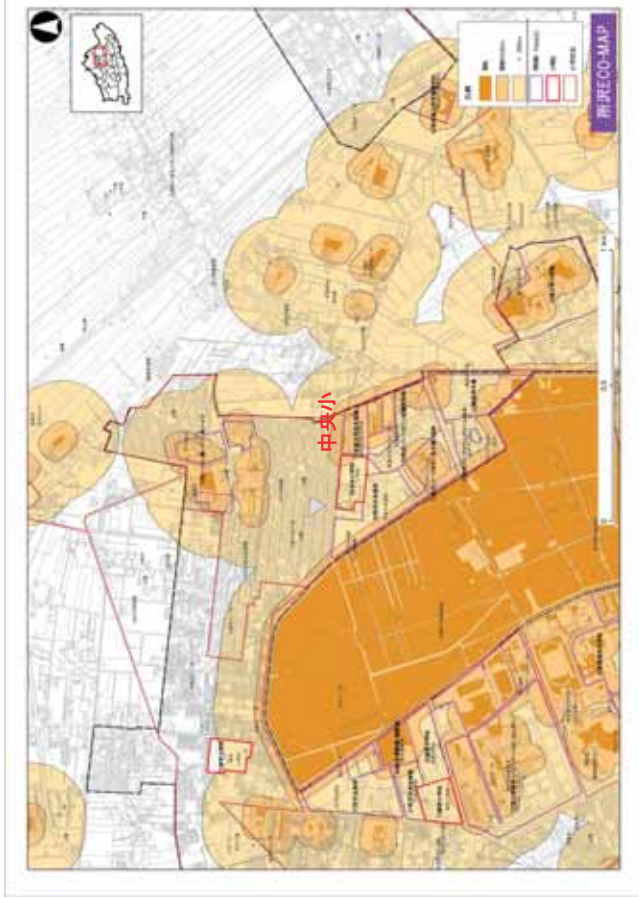


■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
鳥類 キジハト コナラ オナガ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ ジョウビタキ カワセミ	枯れ木に穴をあけて虫をとり  ヤブ愛好む	鳥類 カシキ カケス ヤマガラ エナガ イカル アオジ	森の中のヤブを好む
昆虫類 アゲハ アオシジリアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシホウセン ハラヒロカマキリ カナブン ジョロウグモ	幼虫はミカンの中間の葉を食べる 幼虫はスズメの中間の葉を食べる 幼虫はマメの中間の葉や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する  コナラ・クヌギなどの樹液に集まる	爬虫類 アオダイショウ アマガエル カマキリ ヘビ コナラ クヌギ	多くの生きものが多いことが必要 林の近くに池が必要 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる " " 幼虫は枯れ木の中で育つ ハナ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる

草地のつながり

- 敷地から50m以内に草地があり、バッタ類などの昆虫やチョウを呼びやすい場所に位置しています。



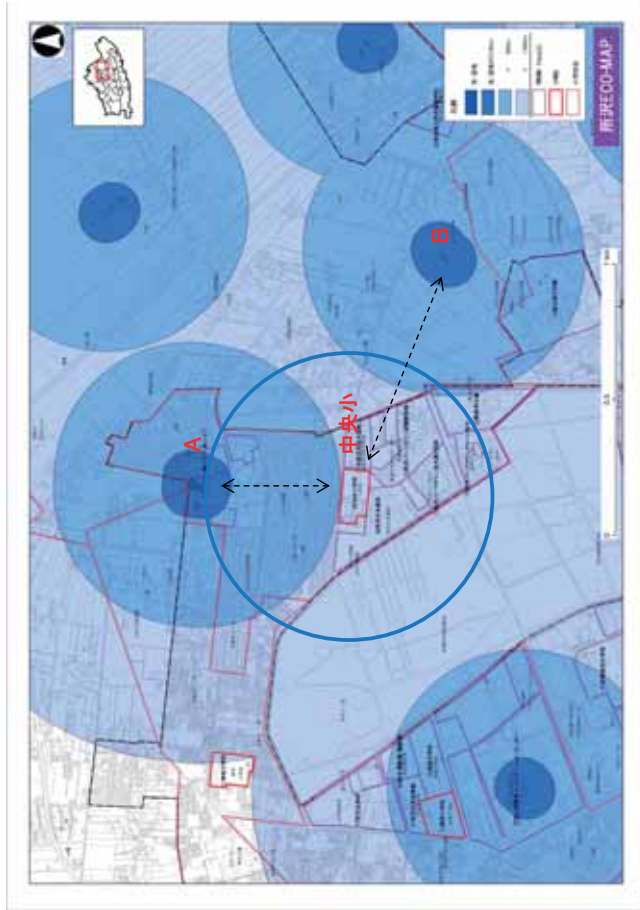
■学校に呼びたい生きもの

探せばいるかも	備考	★★ なかなか見られない	備考
哺乳類 ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ カワセミ カワセミ	アズマモグラ ツバメ ムクドリ ツグミ スズメ カワセミ	鳥類 キジ カシキ モズ ヒバリ	
爬虫類 カナヘビ ホトトギス カマキリ ヘビ コナラ クヌギ	カナヘビ ホトトギス カマキリ ヘビ コナラ クヌギ	爬虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ	水辺と草地を移動 幼虫はアブラムシを食べる 幼虫はスズメ、キジを食べる 幼虫はカタハシを食べる 幼虫はカナムグラの葉を食べる
昆虫類 アゲハ アオシジリアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシホウセン ハラヒロカマキリ カナブン ジョロウグモ	アゲハ アオシジリアゲハ キタキチョウ ニイイゼミ アブラゼミ ミンミンゼミ ツクシホウセン ハラヒロカマキリ カナブン ジョロウグモ	昆虫類 シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ ヒガンシキリギリス ゾウセンカマキリ ニホミツハチ	



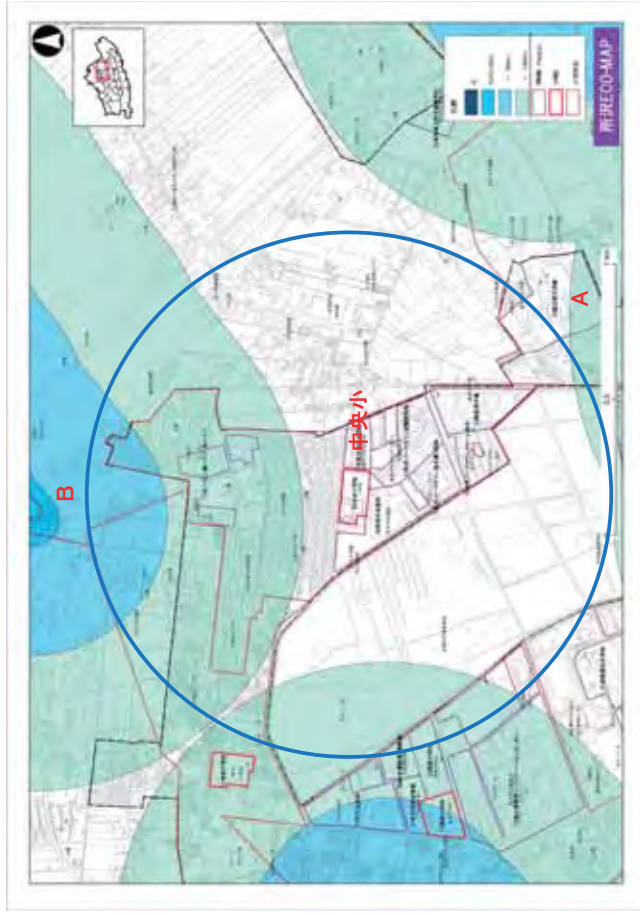
水辺のつながり（池・湿地）

- 中央小から500mの範囲を描くと、北側の調節池（A）や南東の調整池（B）から500mの範囲と重なり、イトトンボやシオカトラトンボなどを呼びやすい場所に位置していることがわかります。また、中央小に池をつくれれば、水辺のつながりが充実します。



水辺のつながり（川・流れ）

- 中央小から1000mの範囲を描くと、東川（A）、砂川堀（B）から1,000mの範囲と重なり、シオカトラトンボなどのトンボ類を呼びやすい場所に位置していることがわかります。



■ 学校に呼びたい生きもの

★ 探せばいるかも

鳥類	備考
カルガモ コサキ ハクセキレイ	
アジアイトトンボ キンヤンマ シオカトラトンボ ウスハキトンボ コシアキトンボ シヨウジョウトンボ アキアカホ	水辺と草地を移動 池に生息 " " " " " "

★★ なかなか見られない

哺乳類	イタチ	備考
カワセミ キセキレイ		
爬虫類	ヤマカガシ	水辺や草地に生息
両生類	アズマヒキガエル	水辺と草地、樹林地を移動
昆虫類	チョウトンボ ハシロトンボ オニヤンマ	池に生息 流れ（溪流）に生息



## 中央小に生きものを呼ぶ方法

### 1. 校舎南側への樹木の植栽

- 校舎南側のクヌギ等の雑木が生育している付近に、近くの樹林でクヌギやコナラなどのドングリや、ガマズミやムラサキシキブ等の種を拾ってきて苗木を育て、校舎前の植栽スペースに植栽し、ミニ雑木林をつくります。



種から苗木を育てる



苗木を植える

### 林のつながり

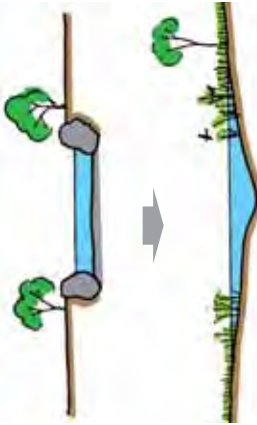


### 水辺のつながり



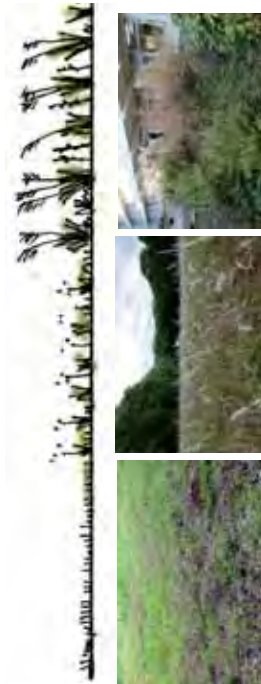
### 4. 池の改修

- 既存の給水設備などを活かして、コンクリートの池をならかな土の岸辺の池に改修することで、トンボなどの水辺の生きものがやってくると考えられます。岸辺をならかにすることで、子どもたちの安全性も高まります。



### 2. 校舎南側の草地の育成

- 校舎南側の草地は、場所によって草刈の回数を変えて、異なる草丈の草地を育成し、チョウやバッタなど様々な生きものがやってくるようにします。また、可能であれば園芸種のツツジやカイツカイブキは除去し、草地を拡大することが望まれます。



草丈の低い草地  
スミレ・カタバミなど  
草刈年3回程度  
5~6月・8月・10~11月



ヤマトシジミ

草丈のやや高い草地  
チガヤなど  
草刈年2回程度  
5~6月・10~11月



ジャノメチョウ

草丈の高い草地  
ススキなど  
草刈年1回程度  
10~11月

### 草地のつながり



### 5. プールのヤゴの救出

- 6月下旬から5月中旬のプール清掃前に、水を少しずつ抜いて深さ20~30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。
- 捕まえたヤゴは、教室の水槽などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



キンヤンマ

### 6. 樹木への名札かけ

- 在来種と園芸種、外来種を色分けすることで、ふるさと所沢の自然について意識をしながら、生きものへの興味を育むことができます。

### 3. 外周フェンスのツル植物の育成

- 外周フェンスに生育しているツル植物は、チョウやバッタなどの生息地になっていることから、そのまま残すようにします。



キタテハ



ベニシジミ



平成27年度 集約型都市形成のための計画的な緑地環境形成実証調査  
「地域協働による都市における生態系ネットワーク拠点保全・創出実証調査」  
(所沢市自然共生連絡会)

報 告 書

---

平成28年3月 作成

発 注 国土交通省 都市局

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL : 03-5253-8111 FAX : 03-5253-1593

受 注 所沢市自然共生連絡会

〒359-8501 埼玉県所沢市並木1丁目1番地の1

TEL : 04-2998-9373 FAX : 04-2998-9195

---